

2025

# Aichi-Startup 戦略

〔2025年改定版〕

あいちスタートアップ・エコシステムの形成に向けて

愛知県・Aichi-Startup 推進ネットワーク会議

# はじめに

## あいちスタートアップ・エコシステムの形成に向けて

我が国の経済を取り巻く環境は、グローバル化はもとより、IOT や生成 AI の出現を伴ったデジタル化、また SDGs の社会的要請など、激しく変化しております。

引き続き、この地域が日本の成長エンジンとして、我が国の発展を強力にリードしていくためには、こうした大変革への確に対応し、革新的ビジネスモデルや最先端技術を有し、新しい社会システム構築へ果敢に挑戦するスタートアップを起爆剤としてイノベーションを巻き起こしていかなければなりません。

この地域は、2018年4月にAichi-Startup推進ネットワーク会議を立ち上げ、同年10月にはこのAichi-Startup戦略を策定し、ローリングプランとして、毎年度、内容をブラッシュアップしております。会員機関それぞれが本戦略に沿って同じ方向性を持ち施策を着実に進めており、この地域でのスタートアップを取り巻く機運は格段に高まっております。

国においては、2022年をスタートアップ創出元年と位置づけると宣言され、同年11月には、我が国の今後のスタートアップ支援指針である「スタートアップ育成5か年計画」を策定いたしました。

本県では、PFI法に基づき整備・運営事業を担うソフトバンク株式会社が設立したSTATION Ai株式会社と連携し、2021年から整備を進めていた日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」が2024年10月にオープンしました。

また、将来のリニア中央新幹線の開業を見据え、2024年12月、東京都とスタートアップ・イノベーションを始めとした包括的な連携協定を締結するとともに、2025年2月には、地球の未来を拓くテクノロジーの祭典「TechGALA <sup>テックガラ</sup> <sub>ジャパン</sub>」を開催いたしました。加えて、本県を取り巻く様々な環境変化に対応するため、フランスの経済学者であるジャック・アタリ氏に、本県のイノベーション・アドバイザーとして就任いただき、ダイバーシティに重きを置いたアドバイスを得るなど、本県独自のスタートアップ・エコシステムの形成に向け日々邁進しております。

STATION Ai オープンを機に、今後は、スタートアップ支援の取組をより一層強化し、スタートアップの創出・展開・育成・誘致を推進するとともに、県が有する、9カ国22の先進的スタートアップ支援機関・大学とのネットワークを大いに活用することで、STATION Ai がアジアのイノベーションハブとなることを目指してまいります。

2025年3月19日

愛知県知事 大村秀章

# 目次

## はじめに

<b>第1章</b>	<b>あいちスタートアップ・エコシステム形成の考え方</b>	<b>3</b>
第1項	スタートアップの創出・育成・展開・誘致の施策アプローチ	3
第2項	環境分析と戦略の方向性	7
第3項	戦略の展開方向	16
<b>第2章</b>	<b>STATION Ai プロジェクト</b>	<b>20</b>
第1項	STATION Ai プロジェクトについて	20
第2項	STATION Ai	22
第3項	愛知県・STATION Ai のスタートアップ支援事業	28
第4項	国内（県内外）パートナー・エコシステム	39
第5項	海外スタートアップ支援機関・大学との連携	41
第6項	ソーシャルイノベーションの創出	52
第7項	今後の展開	57
<b>第3章</b>	<b>愛知県内のスタートアップ個別事業</b>	<b>59</b>
第1項	個別事業の展開の考え方	59
第2項	施策の展開方向	59
<b>第4章</b>	<b>進捗管理</b>	<b>131</b>
第1項	進捗管理体制	131
第2項	Aichi-Startup 推進ネットワーク会議の運営	131

## おわりに

# 第1章

## あいちスタートアップ・エコシステム形成の考え方

### 第1項 スタートアップの創出・育成・展開・誘致の施策アプローチ

スタートアップとは、IoT、AIなどの最先端の技術を活用し、新しい革新的なビジネスモデルを用いて急成長を目指す企業（ソーシャル・スタートアップを含む）であり、また、エコシステムとは、本来は生態系を意味するものの、経済分野においては、地域資源が有機的に結び付き、循環する中で、自立的に成長、発展していく成り立ちを意味する。本戦略においては、起業希望者に対して、企業や弁護士等の専門家、地域資源などを有機的に結び付け、循環させながら、スタートアップの創出を地域で戦略的にバックアップしていく仕組みと定義する。

世界的にみると、こうしたスタートアップのエコシステムが形成されている地域としては、Apple や Google などのハイテク企業が立地するシリコンバレーや、新エネルギー車中国最大手の BYD などの企業が立地する深圳、そのほか、シンガポール、オースティン、パリなどの知名度が高くなっている。

また、国が毎年度調査を行っている、グローバル・アントレプレナーシップ・モニター<sup>1</sup>（以下、「GEM」という。）の研究では、『経済発展の段階が低い経済では企業への就職機会が少ないために起業する傾向が強いが（生計確立型起業）、経済発展に伴い起業活動が低下する。これは、開発が進むにつれて企業による雇用創出が増える結果と考えられる。そしてさらに経済が発展すると生活のためというよりも事業機会を活かすために起業する傾向が強くなる（事業機会型起業）。』との指摘がある。

これを愛知県に当てはめてみると、全国的にみて圧倒的な産業集積と活発な経済活動がある状況において、本県は、生計確立型起業が行われる可能性もそれほど高いものとは考えられない。実際に、起業に係る有識者に対して行ったヒアリング調査でも、愛知県は、起業に向いていないのではないかといった発言が多かった。

---

<sup>1</sup> グローバル・アントレプレナーシップ・モニター (Global Entrepreneurship Monitor) は、起業活動が国家経済に及ぼす影響について、各国家のデータを用いて実証研究を行い、各国の政策担当者に提供しているもの。GEM 調査は、1999 年に日本を含めた 10 か国からスタートし、2016 年には 66 か国の国際比較研究へと拡大。研究目的は、ベンチャー企業の成長プロセスを解明し、起業活動を活発にする要因を理解し、その上で国家の経済成長や競争力、雇用などへの影響を定量的に測定すること。

一方、IMF<sup>2</sup>によると1993年から2023年までの30年間で、米国のGDPは6兆8,586億ドルから27兆7,207億ドルと4.0倍へ、中国のGDPは6,174億ドルから17兆7,581億ドルと29倍へと増加する一方で、日本は横ばいでドルベースではむしろ4兆5,369億ドルから4兆2,120億ドルへと7%下がっている<sup>3</sup>。

そうした中で、愛知県の都道府県別GDPは1992年度から2022年度までの30年間で31.8兆円から43.1兆円と1.4倍へと増加している。また、都道府県別GDPの順位も1992年度から2022年度で全国第3位から全国第2位となっており、世界で日本の位置づけが低下していく中で、愛知県の存在感は向上しているといえる。

こうした中、地域の経済構造はもとより、地域構造を一変させるプロジェクトの実現が視野に入ってきた。「リニア中央新幹線」である。現在、東海旅客鉄道株式会社により整備が進められており、愛知県としても本地域に着実にインパクトを起こすべく、名古屋駅周辺のエリア整備を始めとした準備がすでに行われている。

このプロジェクトが実現すると、東京-名古屋間が約40分で結ばれることとなる。これは首都圏と中京圏が同じ都市圏となり、世界に類例のないスーパーメガリージョンが誕生することを意味する。我々はあらためて本プロジェクトを日本が世界をリードするための根幹的な存在であると位置付け、東京都との連携も進めつつ、国際イノベーション創出都市の実現を圧倒的な推進力で遂行していくこととした。

一方で、本県の主要産業である自動車産業のCASE<sup>4</sup>、MaaS<sup>5</sup>にはじまる100年に一度の大変革期とされる、IoT、AIなどのデジタル技術の急伸を伴った地域産業経済構造の歴史的転換期の中で、本県が引き続き世界での競争力を維持していくためには、ビジネスフロンティアを獲得し、柔軟性を持った新しい事業領域への

---

<sup>2</sup> IMFとは国際通貨基金(International Monetary Fund)のこと。国際金融、並びに、為替相場の安定化を目的として設立された国際連合の専門機関である。国際通貨制度の安定を維持し、危機を防止するために、IMFは各加盟国の政策や、国・地域、そして世界的な経済・金融の状況を、サーベイランス(政策監視)と呼ばれる制度を通じてモニタリングしている。

<sup>3</sup> IMF「World Economic Outlook Database」による。

<sup>4</sup> CASEとは、コネクテッド、自動運転、シェアリング、EV化の自動車産業を取り巻く著し環境変化を表すキーワード。

<sup>5</sup> MaaSとは、Mobility-as-a-Serviceの略語。サービスとしてのモビリティを意味する。トヨタ自動車株式会社は、2018年1月に米国ネバダ州ラスベガスで開催の2018 CESにおいて、移動、物流、物販など多目的に活用できるモビリティサービス(MaaS)専用次世代電気自動車(EV)、“e-Palette Concept”を出展・発表している(トヨタ自動車発表資料から)。

転換が不可欠と考える。この点、前述の GEM 調査が指摘する、『さらに経済が発展すると生活のためというよりも事業機会を活かすために起業する傾向が強くなる』事業機会型起業を生み出す方向性を持って、施策を構築、展開していくことも有効であると考ええる。

そこで愛知県が着目したのが、スタートアップである。

スタートアップ・エコシステムの形成に伴って、都市、地域が急成長、急発展していく世界的潮流の中で、本県産業経済が歴史的転換期を迎えている現状でこの地域が、新たなビジネスチャンスを獲得し、新事業領域へと転換していくため、絶え間ないイノベーションの創出が絶対的な条件であると考ええる。そこでスタートアップを起爆剤とするイノベーションの創出を目指すこととし、さらに、この創出の流れを自立的、自然的な成り行きとしていくために、エコシステムを組成し、新しい地域の社会システムとして形成していくこととした。

これが、愛知県の新しい産業振興の柱となる施策としての「あいちスタートアップ・エコシステム形成」の基本的考え方である。

地域の社会システムとして組成させるあいちスタートアップ・エコシステムの形成に向けて、行政体である愛知県のみが施策を展開し取り組むだけでは、実現は困難である。この点、地域の産業界、経済界、金融界、大学はじめ研究教育機関、各種支援機関など、全ての関係者、協力者が一丸となって、このスタートアップ・エコシステムの形成を図っていくことが求められる。そのために、Aichi-Startup 戦略は、愛知県の戦略ではなく、「あいち」という地域の戦略<sup>6</sup>として総合性を持って取りまとめ、推進していく<sup>7</sup>。

あいちスタートアップ・エコシステム形成の取組を、世界の他の地域に類例のないモデルとしていくために、世界的にみても優位性の高い本県のモノづくり企業とスタートアップとを双方向から有機的に結び付け、オープンイノベーションを基本コンセプトとして、愛知県独自のエコシステムの形成を目指していく。

こうした中で、本県モノづくり企業の最先端技術とスタートアップの新たなアイデア・ビジネスモデルを融合させ、革新的サービスや新しい市場を生み出す、イノベーション創出の土壌を形成していく。

---

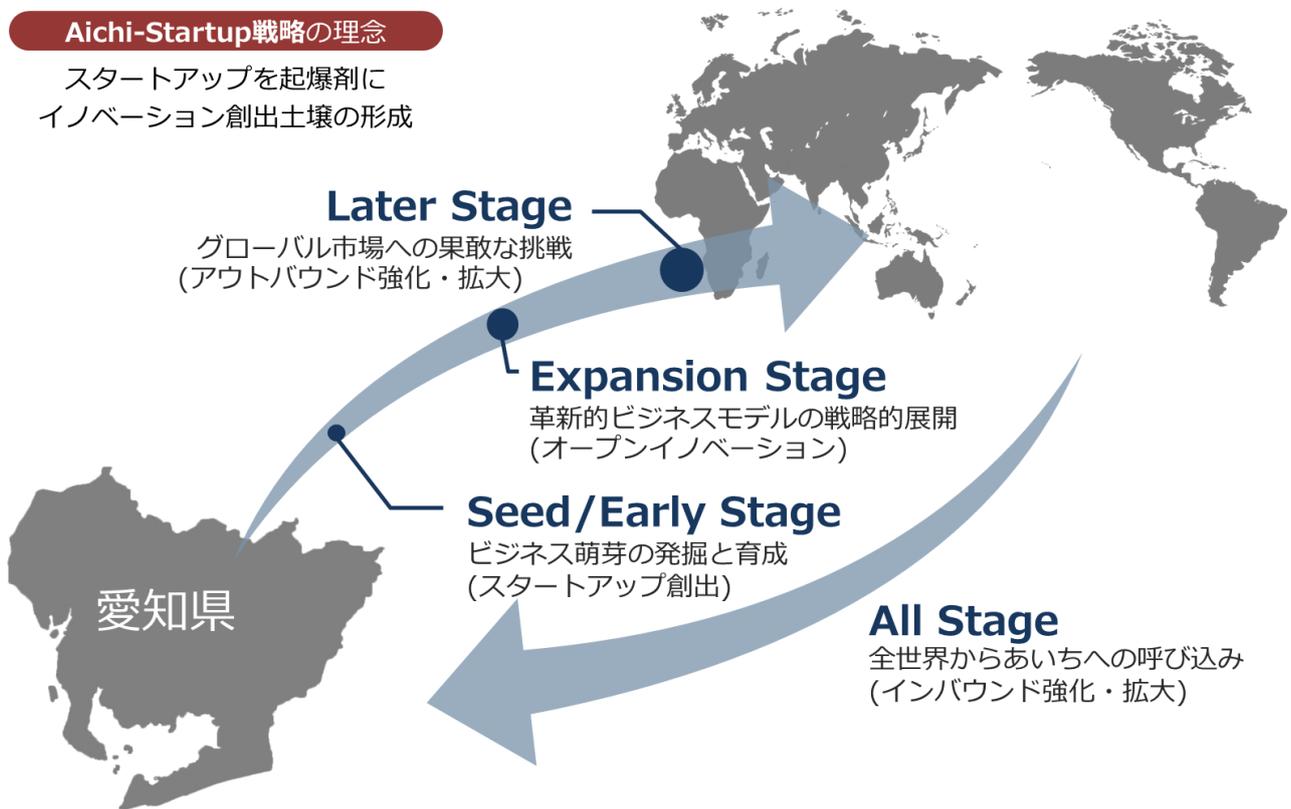
<sup>6</sup>Aichi-Startup 推進ネットワーク会議のメンバーが展開するスタートアップの創出・誘致のための事業を取りまとめた戦略としていく。各個別事業は、本会議を中心に連携・機能分担、全体としてベクトルの方向性確保を図っていくこととし、事業の実施は各主体の責任において行うこととする。

<sup>7</sup>関係者、協力者は必要に応じて、連携協定を締結する。

また、あいちスタートアップ・エコシステム形成に向けては、スタートアップを、この地域から創出、育成、展開、世界進出させていく施策の流れと、優秀かつ成功している有カスタートアップを世界からこの地域に誘引する施策の流れの、両面から展開していく。

### Aichi-Startup戦略の理念

スタートアップを起爆剤に  
イノベーション創出土壤の形成



## 第2項 環境分析と戦略の方向性

### (1) 愛知県による環境分析

あいちスタートアップ・エコシステム形成の施策の展開方向を見出していくために、スタートアップを取り巻く内外の環境を、クロス SWOT 分析<sup>8</sup>で評価していく。

なお、以下の評価・分析は、愛知県のあいちスタートアップ・エコシステム形成の取組に賛同いただき、Aichi-Startup 推進ネットワーク会議<sup>9</sup>等に参画しているメンバー中心に行ったヒアリング調査などの主な意見等を、「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」の4つの区分で整理<sup>10</sup>したものである。

#### ① クロス SWOT 分析結果

あいちスタートアップ・エコシステムの関係者の発言を、以下のとおり、強み、弱み、機会、脅威で分類、整理した。

##### ア 強み (Strength)

- ・ 世界でも最先端の技術・ノウハウ等を保有するモノづくり企業の存在  
(高度な要素・基盤技術の存在)
- ・ 自動運転、ロボットなどの最新モノづくり企業を中心とするネットワークの存在
- ・ ロケット、自動車などのモノづくりを支えるサプライチェーンの存在
- ・ 国土の中心に位置するといった地理的優位性
- ・ 歴史的にみてもベンチャースピリット<sup>11</sup>を持った人材が豊富
- ・ 日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」の新設

<sup>8</sup>クロス SWOT 分析とは、この地域の内部的な環境を(S)強み、(W)弱みと、この地域の外部的な環境を(O)機会、(T)脅威の4つの評価で整理していくもの。強みはより強化していくこと、弱みは克服していくこと、機会は活かしていくこと、脅威は回避していくことを基本とする考えのもと、強み×機会、強み×脅威、機会×弱み、脅威×弱みを組み合わせることにより、4つの事象で戦略の方向性を示すことが可能となる。

<sup>9</sup>Aichi-Startup 推進ネットワーク会議とは、あいちスタートアップ・エコシステムの推進母体として、2018年4月に愛知県が主導して立ち上げた。メンバーは、大学、金融機関、経営支援機関、アクセラレート企業、スタートアップ、行政機関(国、県、市町村)などのスタートアップ関連機関・団体。事務局は、愛知県経済産業局革新事業創造部スタートアップ推進課。

<sup>10</sup>ヒアリング結果を整理したもので、内容は必ずしも定量的に実証されたものではない。

<sup>11</sup>この地域は、豊田佐吉、盛田昭夫、安井正義などベンチャーから世界的企業に成長させた人材を多く輩出している。

## イ 弱み (Weakness)

- ・ QCD<sup>12</sup>重視の経営体質（新事業挑戦のインセンティブが低い）
- ・ 安定・地元志向の就業環境の存在（リスクへの挑戦意欲が低い）
- ・ 経営者の高齢化に伴う事業承継の要請

## ウ 機会 (Opportunity)

- ・ スタートアップ創出と CVC<sup>13</sup>、VC の活発化
- ・ 自動車産業をベースとする本県産業構造の転換要請（CASE、MaaS の流れの中で、中小製造業の業種業態転換意識の出現）
- ・アントレプレナー活動の活発化
- ・ ソーシャル・スタートアップの台頭（SDGs、カーボンニュートラルなどの新たな社会的要請の拡大）
- ・ 経年的なスタートアップ支援プログラムの拡充・強化
- ・ 事業会社の『働き方改革』や『休み方改革』を進める中で兼業・副業が進行（新たなスタートアップ創出予備軍の出現）
- ・ 事業会社のオープンイノベーション戦略への転換
- ・ 将来の、愛知県と東京都が同一都市圏となるスーパーメガリージョンの誕生（ビジネスフロンティアの出現）

## エ 脅威 (Threat)

- ・ 国際的な地政学リスクの発生
- ・ 海外の保護主義政策に伴う影響の可能性
- ・ 日本国内における人口減少の進行

---

<sup>12</sup>QCD とは、生産管理の分野で重要な要素である品質 (Quality)、コスト (Cost)、納期 (Delivery) を言う。

<sup>13</sup>CVC とは、コーポレートベンチャーキャピタルを言う。事業会社が社内にベンチャーファンドを組成し、アーリー段階のスタートアップに対して直接投資を行う。VC (ベンチャーキャピタル) との相違は、投資による財務リターンのみならず、事業会社の事業とのシナジー効果が期待されること。

## ② クロス SWOT 分析から導き出される戦略の展開方向

有識者ヒアリング等の際に発言のあった、愛知県のスタートアップを取り巻く環境の中から、強み、弱み、機会、脅威を抽出し、今後、あいちスタートアップ・エコシステム形成を図っていくための SWOT 分析を行った。

さらに、この分析結果をもとに、戦略の展開方向を導くために、加えて、クロス分析も行った。その結果は、下図の「あいちスタートアップ・エコシステム形成のクロス SWOT 分析結果」のとおりとなった。

### <あいちスタートアップ・エコシステム形成のクロス SWOT 分析結果>

		強み	内部環境	弱み
<p>《 基本コンセプト 》</p> <p>国内外との連携による 愛知県独自のグローバル・ スタートアップ・エコシステムの形成</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界最先端技術・ノウハウの存在（高度な要素技術/基盤技術）</li> <li>● 自動運転、ロボット等最新モノづくり企業中心のネットワーク</li> <li>● ロケット、自動車などのモノづくりを支えるサプライチェーンの存在</li> <li>● 国土の中心となる地理的優位性</li> <li>● ベンチャースピリットを持った人材が豊富</li> <li>● 日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」の新設</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● QCD重視の経営体質（新事業挑戦のインセンティブが低い）</li> <li>● 安定・地元志向の就業環境</li> <li>● 経営者の高齢化に伴う事業承継の要請</li> </ul>
機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スタートアップ創出とCVC、VCの活発化</li> <li>● CASE、MaaSからの県産業構造転換要請</li> <li>●アントレプレナー活動の活発化</li> <li>● ソーシャル・スタートアップの台頭</li> <li>● メタバース等、新しいビジネス機会の創出</li> <li>● 経年的な支援プログラムの拡充・強化</li> <li>● 事業会社のオープンイノベーション戦略への転換</li> <li>● 新たなスタートアップ創出予備軍の出現</li> <li>● 将来、愛知県と東京都が同一都市圏となるスーパーメガリージョンが誕生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ものづくり融合型の愛知県独自のスタートアップ・エコシステムの形成</li> <li>◆ 社会的課題解決と地域活性化に向けたイノベーション・プロジェクトの推進</li> <li>◆ グローバルイノベーション拠点の形成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 事業承継・第二創業等を機会とする新ビジネス展開の促進</li> </ul>
外部環境				
脅威	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際的な地政学リスクの発生</li> <li>● 海外の保護主義政策に伴う影響の可能性</li> <li>● 人口減少の進行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 東京都と愛知県との連携・役割分担による、大規模で世界に類例のないスタートアップ・エコシステムの形成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域を挙げたオープンイノベーションの推進</li> <li>◆ スモールビジネスからスタートアップビジネスへの転換（新事業領域への転換と新産業創出）</li> </ul>

このクロス SWOT 分析から、以下の 5 つの施策の展開方向が導かれた。  
本戦略は、この展開方向を持って、具体的事業を構築していくこととする。

### 《戦略の展開方向》

- ① オープンイノベーション推進による現行産業の付加価値創造
- ② スタートアップのグロースによる新産業の創出・育成
- ③ 革新事業の創造による社会課題の解決と地域の活性化
- ④ 事業承継・第二創業等を機会とする新ビジネス展開の促進
- ⑤ グローバル・エコシステム形成の推進

## (2) テキサス大学オースティン校から見た愛知県の分析

愛知県は、2019 年 2 月からスタートアップ支援の先進的な取組をしているアメリカ合衆国テキサス州のテキサス大学オースティン校との連携プログラムを実施している<sup>14</sup>。2019 年 2 月 25 日から 2019 年 3 月 1 日まで同校 IC スクエア研究所と国際事業化グループのスタッフが来県、支援機関 45 機関との面談を実施し、本県の強みやポテンシャル等の調査・分析を行った。

<ヒアリング対象機関>

行政、関係機関	10 機関
大学	5 大学
インキュベーター、アクセラレーター、支援機関	13 機関
大企業、中小企業、スタートアップ	12 社
投資家、ベンチャーキャピタル、金融機関	5 機関

この分析結果等を踏まえ、これまで米国内外で多数のスタートアップ・エコシステムに関する分析・評価やロードマップの提供を行ってきた実績をもとに、本県のスタートアップ・エコシステムの充実を目的に同校から以下のとおりロードマップが提言された。

- ・ スタートアップ、技術移転、キャパシティ・ビルディング（組織的な能力・基礎体力の形成・構築）の現状を測定するため主要業績評価指標を設定すべきである。

<sup>14</sup> テキサス大学オースティン校と本県との連携プロジェクト「A2 (Aichi-Austin) Innovation kick-start Program (あいち・オースティン・イノベーション・キックスタート・プログラム)」のことを指す。

- 愛知県の産業の強みは、①高度な製造技術、②高度な素材、③モビリティである。これらの要因は、スタートアップ・エコシステム構築の基本的なプラットフォームとして機能し、スタートアップのシーズと大企業のニーズのマッチングを最終目標にするのではなく、それ以前に各プレイヤーがエコシステムとして機能していれば自然にそのような役割分担になるので、そうした戦略をとるべきである。
- 大企業と大学との間のようにスタートアップと大学との間で共同研究や連携を可能とする政策が必要である。
- スタートアップ・エコシステムの形成は、技術を持つ大学の卒業生を大企業への就職ではなく、起業に導く機会となるので、県として積極的に取り組むべきである。
- 地域の人材が、（最初から大企業に吸収されないように、）就職に代わるキャリアパスへ導くために、大企業が抱えているニーズや課題を、技術開発や新事業開発に結び付ける戦略的なスタートアップ人材供給プログラムが必要である。
- 女性起業家をより重点的に支援すべきである。
- 愛知県の企業が得意とする産業分野では、製品を開発してから市場に投入するまでの期間が長いという特性があり、これに合ったスタートアップ向けの資金調達メニューを用意する必要がある。
- 成功したスタートアップにリスクを負って投資した地域の投資会社の社員に報いるような、社内的な報酬システムをつくる必要がある。
- 愛知におけるスタートアップ・コミュニティのためのワンストップ・センターとして、全てのステークホルダー（スタートアップ、投資家、大企業、メンター、大学）に価値を提供できるような、名古屋に技術の事業化のための拠点と、サテライトオフィスを設置されたい。
- 愛知県は、様々なステークホルダーの「コネクター・ファシリテーター」として、非常に重要な役割を担っている。県が彼らと連携し、県内の主要な課題とチャンス、優先事項をきちんと理解し、開示することで、彼らがその課題を解決して、スタートアップが創出されることが期待できる。

### (3) STATION F からの知見共有

愛知県は、2021 年度から STATION Ai の事業化に向け、STATION Ai がモデルとするフランスの世界最大級のスタートアップ支援拠点「STATION F」と連携して、同拠点が有する知見を活用することを目的とした「STATION F アドバイザリープログラム」を実施している。その結果の概要などを以下のとおり整理する。

アドバイザリープログラムは、STATION F 側から知見を提供する「ワークショップ」と、その内容に基づき、STATION F を交えてディスカッションを行う「ワーキングセッション」から構成される。

テーマ	ワークショップ	ワーキングセッション
パートナー企業との強力なネットワーク構築	パートナーの重要性や STATION F におけるパートナーとの連携手法を学習	「パートナー」、「グローバル」、「コラボレーション」をキーワードに、何をすべきかを議論
スタートアップ支援に関するベストプラクティス	STATION F 入居スタートアップ間のコミュニティ形成手法や、多様性の大切さについて学習	STATION Ai 会員スタートアップについて、事業分野、成熟度、チーム構成などから議論
インキュベーション施設運営のノウハウ	収益モデル/コスト構造や施設のメンテナンス、また人事、法務面からの支援について学習	広報活動や、建物のデザイン、エリア分けなどについて学ぶとともに、入居費用について議論

こうしたプログラムから、下記の 4 点を始めとする数々の知見が得られた。

#### ①「意図的なセレンディピティ」

予期せぬ幸運な出会いから、新たなアイデアや予想外のものを発見すること。

#### ②「ファウンダーズプログラム」

STATION F では、STATION F 自身が実施する独自のスタートアップ向け基幹支援プログラムが存在する。

#### ③「ギルド」

入居するスタートアップが直面する様々な課題について助け合うため、異なる経歴を持ち、異なるプロジェクトに取り組む入居スタートアップを「ギルド」と呼ばれる 10 社程度からなるサブグループに分け、創業者が互いにサポートする体制を構築している。

#### ④「ダイバーシティの重視」

イノベーションの創出には、多様なバックグラウンドや価値観、スキルを有する人が集い、交流することが重要視されている。STATION F には、多様なレベルのポピュレーションがあり、それぞれに対応するクラブがある。

提言された内容について、先行拠点「PRE-STATION Ai」において 2022 年度から導入し、続いて STATION Ai の運営にも取り入れている。

## (5) スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市の認定

愛知県、（一社）中部経済連合会、名古屋大学、名古屋市、浜松市等が連携し、2020年7月、内閣府から愛知・名古屋及び浜松地域が「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」として認定された。

### ア 「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」の概要

内閣府が、我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点形成計画を認定するもの。

「グローバル拠点都市」が4か所、それに準じる「推進拠点都市」が4か所認定され、そのうちの「グローバル拠点都市」に認定された。

### イ 愛知・名古屋及び浜松地域の拠点形成計画の概要

#### 1 計画主体

- ① 名称：Central Japan Startup Ecosystem Consortium
- ② 構成：Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium  
浜松市スタートアップ戦略推進協議会
- ③ 代表者：一般社団法人中部経済連合会 会長
- ④ 構成組織：一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市（事務局）、浜松市始め 295 企業・団体・大学等

#### 2 拠点形成計画の概要

##### (1) Central Japan Startup Ecosystem Consortium の拠点形成計画

日本を代表する世界的な製造業の集積地として、日本経済を牽引する「Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium」と「浜松市スタートアップ戦略推進協議会」の2つのコンソーシアムが、「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」を形成した。

両地域が、共通の基盤である産業基盤と地域間の密接なつながりを生かし、共通のビジョンをもって、革新的なイノベーションとスタートアップの創出、シナジー効果の発揮に一体的に取り組み、世界に伍するグローバルなスタートアップ・エコシステムを形成することを目指す。

## (2) Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium の拠点形成計画

### ○ 目 標

自動車産業の構造変化やデジタル革命の急速な進展を始めとした変革期を迎える中、世界的な製造業の集積地である中部圏は、既存企業の飛躍的な生産性向上と共に、新たなイノベーション・エコシステム構築を進め、「日本経済を牽引する成長」、スタートアップと新産業の創出が続く新しい社会「Next Society」を実現することを目指す。

### ○ 取 組

当地域の強みであるモノづくり産業と基礎研究の集積から生まれるディープテックを生かした世界的に求心力のあるイノベーション、スタートアップ・エコシステムを愛知・名古屋をハブとした中部圏に形成する。

また、本コンソーシアムの中心となる中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市などが連携し「エコシステム形成に向けた4つの重要コンセプト」を柱とした活動を行う。

#### エコシステム形成に向けた4つの重要コンセプト

- ・ 卓越した次世代教育を受けた人材の輩出  
大学を中心とした起業家教育、デジタル教育の拡充等
- ・ 海外ネットワークの拡大・深化と求心力の強化  
製造業の集積等を活かした拠点をハブとする海外ネットワーク形成等
- ・ ディープテックを活かした共創・オープン化による社会実装・社会課題解決  
モノづくり企業等の積極的な参画・関与、拠点をハブとした域内・域外人材の交流・対流の活性化
- ・ ベンチャーファイナンスの仕組みを構築  
国内 VC や海外投資家とのネットワーク形成

(参考) 浜松市スタートアップ戦略推進協議会の計画について

スタートアップのアイデアと、モノづくり技術を融合させ、次々と革新的なイノベーションを生み出すことで、地域経済の持続的発展につなげていき、将来的には、このエコシステムを通じて、世界中のスタートアップのビジネスの成長を加速させ、我が国における「モノづくりスタートアップの拠点」としての役割を担うことで、日本経済の発展に寄与することを目指す。

## ウ 認定後の国等の支援について

スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市に認定されたことにより、政府等から以下の支援が行われる。

- 世界への情報発信、起業家・投資家の招致の支援
- 政府のスタートアップ支援の積極的な実施
- 規制緩和の推進

## エ J-Startup CENTRAL

グローバル拠点都市としての具体的な取組として、当地域の前途有望なスタートアップを強力に支援するプロジェクト「J-Startup CENTRAL」を2020年11月に始動し、その支援対象として、愛知県及び浜松市内に本社があり、ビジョン、先進性・独創性、優位性、成長性、国際性に優れたスタートアップ44社を選定（2025年3月4日時点）。選定スタートアップに対して集中的な支援を実施する。

<支援内容>

- ・ J-Startup 全国版との連携
- ・ ウェブサイト等での優先的・積極的プロモーション
- ・ 行政・支援機関等によるビジネスマッチング
- ・ 「J-Startup CENTRAL」ロゴの使用

等



## オ サポーター制度

当地域のスタートアップに対して積極的な支援を行う企業や団体を「サポーター企業」として認定し、サポーター企業の見える化、サポート内容の明確化を図るとともに、サポーター企業とスタートアップ間の連携を促進する制度を2021年に開始。2025年3月1日現在で60社をサポーター企業に認定。

## カ キーメッセージ及びロゴの策定

当地域の認知・理解を高め、海外の投資家、企業、人材を呼び込むため、Central Japan Startup Ecosystem Consortiumのキーメッセージ「Homeland of Mobility 5.0」及びロゴを策定。日本のみならず世界における最先端のオープンイノベーションを推進し、未来のモビリティ「Mobility 5.0」の実現に向けた拠点となることを目指す。



## 第3項 戦略の展開方向

### (1) 理念・目的

あいちスタートアップ・エコシステム形成の理念・目的は、スタートアップを起爆剤として、この地域にイノベーションを創出させる土壌を生成させることにある。

また、このエコシステムには、スタートアップを創出する流れ（現行企業の業種業態転換、現行企業内からのスピンオフ・スピアウトを含む）と、一方で、既に存在するスタートアップ（ユニコーン等の成功企業など）を誘致する流れの2つのプロセスが存在する。この前提で土壌生成を進めていく。

さらに、本県の強みであるモノづくり企業とスタートアップとの融合による愛知県独自のスタートアップ・エコシステムを形成させていく中で、激動するビジネス環境変化に柔軟に対応できる本県産業構造の最適化を図っていく。

### (2) 戦略の展開方向

第2項で示した5つの戦略の展開方向とテキサス大学オースティン校からの提言（P10 参照）、STATION F のアドバイザープログラムから得られた知見（P12 参照）を基に、具体的な事業の枠組みや考え方を以下のとおり整理する。

#### 《展開方向1》

#### オープンイノベーション推進による現行産業の付加価値創造

本地域には、自動運転・ロボットなどの、世界でも最先端の技術・ノウハウ等を保有する事業会社が多く集積している。

事業会社の多くは、これまで、自前主義を取り、グループ企業をどんどん増やしていく形でイノベーションを起こしてきた。しかし、時代の流れが甚だしく早い現在、それでは世界の潮流に追い付かなくなってしまう。そのため、自社での技術開発は継続しつつ、併せて、オープンイノベーションによって外部の技術を取り入れる必要性が増している。

事業会社と革新的な技術・ビジネスモデルを有するスタートアップが、業務提携やCVCといった形で手を取りあい、オープンイノベーションを実施することによって新たな事業を創出させ、現行産業の付加価値を創造していく。

## 《展開方向2》

### スタートアップのグロースによる新産業の創出・育成

我が国においてスタートアップに成功したユニコーンの代表的企業が情報システム系会社であることから、スタートアップは情報システム会社と認識されることもあるものの、スタートアップはあくまでも新しいビジネスモデルを用いて、新市場を開発しながら急成長を遂げる企業である。

そのため、モノづくり機能<sup>15</sup>も備えたスタートアップも存在する。ここで、あいちのスタートアップ・エコシステムは、愛知県の強みであるモノづくり企業や保有する最先端技術を生かした、必ずしも情報システム系に特化しない<sup>16</sup>、あいち独自のスタートアップの創出・育成・展開・誘致も目指していく。

## 《展開方向3》

### 革新事業の創造による社会課題の解決と地域の活性化

健康長寿、農業、モビリティ、スポーツ、環境分野など社会課題の解決と地域の活性化に向け、テーマ別イノベーションプロジェクトへのソーシャル・スタートアップ等の参画、ソリューション創出提供の仕組みを構築し、官民連携による革新的イノベーションによる社会課題解決、ディープテックの研究を推進していく。

## 《展開方向4》

### 事業承継・第二創業等を機会とする新ビジネス展開の促進

現行事業会社の事業承継・第二創業等を機会とする、革新的新ビジネス展開、生産性向上を図っていく。

## 《展開方向5》

### グローバル・エコシステム形成の推進

海外支援機関・大学との連携拡大による施策を強化し、世界のスタートアップ支援先進地の知見を習得するとともに、スタートアップの海外市場への展開をサポートしていく。加えて、海外スタートアップの誘因を行い、日本の事業会社とのオープンイノベーションを促進する。

<sup>15</sup> ファブレス経営も含む。必ずしも自らが製造する企業に限定しない(内製化を条件とするものではない)。モノづくり機能を生かしたコトづくりのビジネスモデルの構築も想定される。

<sup>16</sup> 情報システム系のスタートアップを排除するものではない。

### (3) 戦略ドメイン（事業領域）

本戦略のドメイン（事業領域）<sup>17</sup>として、施策のターゲット、フレーム、メソッドを以下のとおり設定する。

#### ① 施策ターゲット【誰に】

本戦略においては、スタートアップの候補（企業内<sup>18</sup>、学生<sup>19</sup>を含む）、シード（Seed）・アーリー（Early）・エクспанション（Expansion）・レイター（Later）の各成長段階のスタートアップ、企業内のスタートアップ<sup>20</sup>、愛知県外のスタートアップ（海外のスタートアップを含む）、及び事業会社を主なターゲットとしていく。

#### ② 施策フレーム【何を】

本戦略においては、企業、大学、経済団体、支援機関、金融機関、行政の各機関におけるスタートアップ創出・育成・展開・誘致の施策、取組を、全体としてベクトルを合わせ、機能分担、ポジショニングに留意する形で、総合的に施策ターゲットに対して政策をパッケージで提供していく。

#### ③ 施策メソッド【どのように】

本戦略においては、スタートアップの創出・育成・展開・誘致のステージや、県外スタートアップの愛知県内展開のステージなど、全てのステージに対応した切れ目のないバックアップメニューを提供していく。

また、最先端のモノづくり企業を中心メンバーとする、あいち地域連携ネットワーク<sup>21</sup>との有機的連携により、政策の総合力や実効性を高めていく。さらに、事業化の道筋をつけたスタートアップ（イントレプレナーを含む）や、誘致に成功したスタートアップをネットワーク化することで、スタートアップ間連携を図るとともに、こうしたネットワークと地域連携ネットワークとのネットワーク化を図ることにより、スタートアップ・エコシステムを形成していく。

---

<sup>17</sup>ドメイン（事業領域）とは、戦略の基本フレームとして、①ターゲット（施策対象）、②フレーム（ニーズ・ウオント）、③メソッド（地域経営資源）を示すことをいう。

<sup>18</sup>既存企業であっても、いわゆる社内ベンチャーや第二創業者、事業承継を受けた新たな経営者なども幅広くスタートアップの候補者としていく。また、大企業が行うセカンドキャリア教育の対象者も将来的なスタートアップの候補者となり得るものとする。

<sup>19</sup>必ずしも大学生に限定しない。スタートアップを目的とした大学への入学を目指す学生も考えられることから、小・中・高校生も施策対象と想定している。

<sup>20</sup>大企業の傘下に入ったスタートアップを含めた社内ベンチャー、第二創業などを想定している。

<sup>21</sup>あいち地域連携ネットワークとは、最先端のモノづくり企業を中心メンバーとする愛知県が設立主導した任意の組織であり、あいち自動運転推進コンソーシアム、あいちロボット産業クラスター推進協議会、愛知県IoT推進ラボ、愛知ブランド企業ネットワーク総会などを想定している。

## (4) 戦略目標

本戦略においては、あいちスタートアップ・エコシステムの形成に向けて、以下のとおり定性的・定量的目標を設定することとする。

設定にあたっては、内閣府に認定された Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium のスタートアップ・エコシステム拠点形成計画（P14 参照）に掲げる目標と共通とする。

### ア 定性的目標

自動車産業の構造変化やデジタル革命の急速な進展を始めとした変革期を迎える中、世界的な製造業の集積地である中部圏は、既存企業の飛躍的な生産性向上と共に、新たなイノベーション・エコシステム構築を進め、「日本経済を牽引する成長」、スタートアップと新産業の創出が続く新しい社会「Next Society」を実現。

### イ 定量的目標

① 起業を志す人材・イノベーション人材の輩出	10,000 人以上/5年間
② 様々なプレイヤー間の共創による新規事業開発件数	1,000 件以上/5年間
③ 海外スタートアップと当地域企業とのビジネスマッチング件数	400 件以上/5年間
④ 資金調達額	1,000 億円以上/5年間
⑤ スタートアップの起業数	県内 200 社以上/5年間 中部圏 300 社以上/5年間
⑥ 100 億円以上の売上規模のスタートアップ創出	10 社以上/5年間
企業評価額 1,000 億円以上企業創出	5社以上/10 年間

※ 5 年間：2020 年度～2024 年度、10 年間：2020 年度～2029 年度

※ 目標について、今後更新する可能性有

# 第2章

## STATION Ai プロジェクト

### 第1項 STATION Ai プロジェクトについて

#### (1) STATION Ai プロジェクトの考え方

「STATION Ai プロジェクト」とは、スタートアップ支援拠点「STATION Ai」を中心として、国内外のスタートアップ・エコシステムのネットワークを融合し、国際的なイノベーション創出拠点の形成を図るために実施する、3つのスタートアップ支援機能を充実・強化させるプロジェクトの展開を指す。

#### ① スタートアップの創出・育成支援及び、企業との協業支援機能（本戦略）

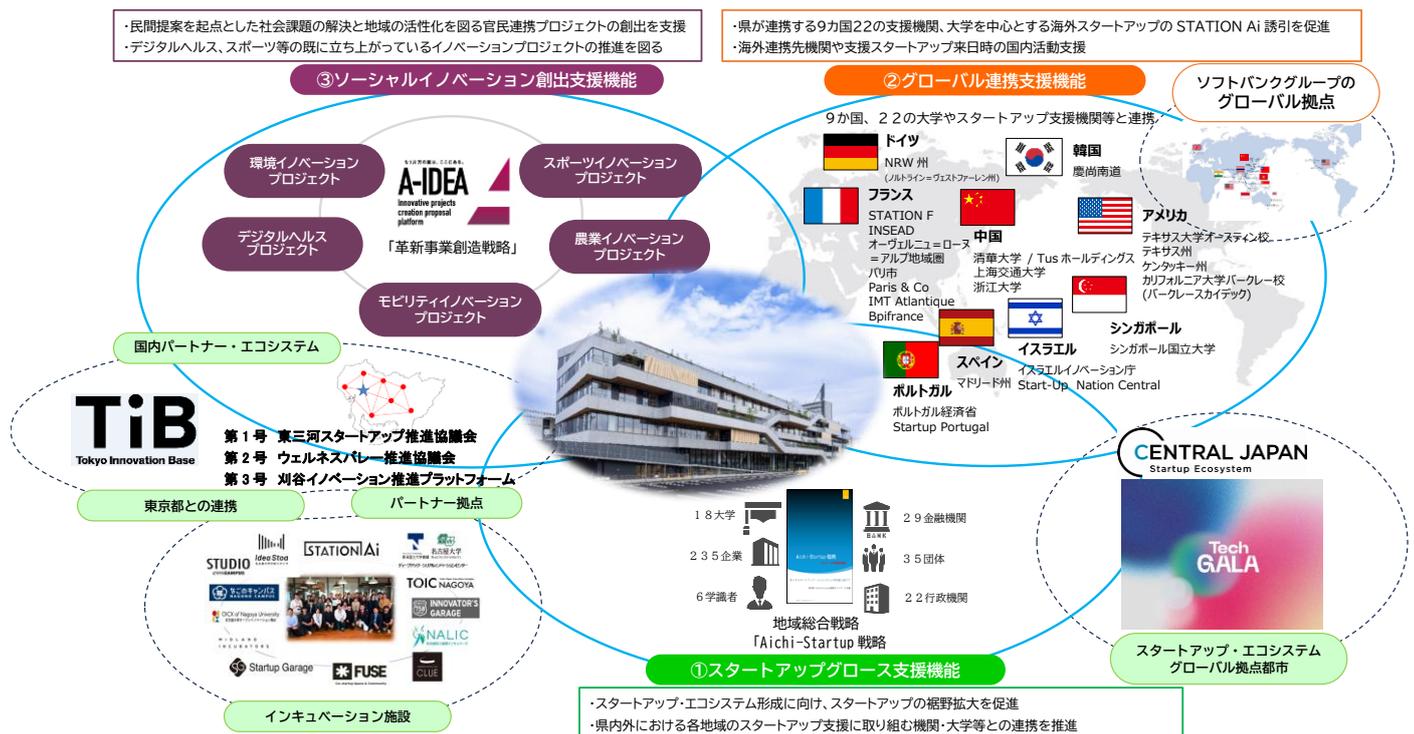
- ・スタートアップ・エコシステム形成に向け、スタートアップの裾野拡大を促進
- ・県内外における各地域のスタートアップ支援に取り組む機関・大学等との連携を推進

#### ② グローバル連携支援機能（本戦略）

- ・県が連携する9カ国22の支援機関、大学を中心とする海外スタートアップのSTATION Ai 誘引を促進
- ・海外連携先機関や支援スタートアップ来日時国内活動支援

#### ③ ソーシャルイノベーション創出支援機能（革新事業創造戦略）

- ・民間提案を起点とした社会課題の解決と地域の活性化を図る官民連携プロジェクトの創出を支援
- ・イノベーションプロジェクトに参画する企業等のソリューションの社会実装促進に向けた支援



## (2) STATION Ai プロジェクトのコンセプト

### 国内外との連携による、 愛知県独自のグローバル・スタートアップ・エコシステムの形成

先述のクロス SWOT 分析（P 9）から、愛知県は「技術・ノウハウ・ネットワーク・地理的優位性・人材・拠点」という強みを持ち、スタートアップ創出・アントレプレナー活動の活発化、支援プログラムの拡充等の機会がある一方、QCD 重視の経営体質や安定志向等の弱みと国際的な地政学リスク等の脅威があることがわかっている。

愛知県が持つ機会を生かし、強みを強化していくためには、愛知県に集積する産業の力を活かし、モノづくり融合型のスタートアップ・エコシステムを形成するとともに、社会課題解決と地域活性化に向けたイノベーションプロジェクトの推進を行う。そしてそれらの中核となる、国際イノベーション拠点の形成を行っていく。

また、愛知県が抱える脅威を回避し、弱みを克服するためには、地域を挙げたオープンイノベーションの推進及び、大規模で世界に類例のないスタートアップ・エコシステムの形成を行っていく。

以上より、「国内外との連携による、愛知県独自のグローバル・スタートアップ・エコシステムの形成」を STATION Ai プロジェクトの基本コンセプトとして導き出した。

## 第2項 STATION Ai

### (1) スタートアップ支援拠点検討調査

愛知県において、スタートアップが自発的に創出・育成・展開される土壌であるスタートアップ・エコシステムを形成するために、2019年2月から、スタートアップ支援拠点の必要性を検討・調査した。

その結果、スタートアップ支援の総合的な機能を、ワンルーフ・オールインワンで提供する中核拠点施設を名古屋市昭和区鶴舞の元県勤労会館跡地に整備することとした。

### (2) STATION Ai 整備の考え方

STATION Ai は、国内外の有力なスタートアップ支援機関、大学、企業とも連携した、官民連携によるスタートアップの創出・育成の拠点を目指す。

民間ノウハウや技術力を最大限活用するため、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律に基づく PFI 方式で整備することとした。

施設の建設についてはBT（建設・所有権移転）方式、運営についてはコンセッション方式を採用することで、設計から運営までを一貫して民間事業者が計画し、効率的な施設整備が可能となる。総合評価方式一般競争入札の結果、ソフトバンク株式会社が設立した STATION Ai 株式会社が STATION Ai の整備・運営を行うこととなった。



### (3) STATION Ai の整備スケジュール

STATION Ai の建設に向け 2022 年中に調査・設計を完了し、2023 年 1 月から建設工事に着手、2024 年 9 月に完成した後、2024 年 10 月から供用開始した。

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度～2034年度
	← 整備期間 約3年 →		← 運営等期間10年 →
事業契約締結 ★ (2021年10月)	調査・設計		★ 実施契約締結 2024年9月 (2024年9月)
	開業準備業務 建設工事		運営・維持管理

#### (4) PRE-STATION Ai

STATION Ai の整備に先駆けて、2020年1月に WeWork グローバルゲート名古屋（名古屋市 中村区）内に「PRE-STATION Ai」を開設し、スタートアップの総合支援を実施。2022年4月からは、メンタリング等による「ハンズオン支援業務」を集中的に行う統括マネージャーと、スタートアップの進捗管理、ネットワーキング、研修会、コミュニティ形成等の「コミュニティ・ネットワーキング業務」を行うコミュニティマネージャーを設置するとともに、STATION Ai の運営を担う STATION Ai 株式会社が開業準備業務の一環として PRE-STATION Ai を運営。

具体的な支援内容として、コミュニティ形成を主眼に置いた全メンバー参加型の支援プログラムを展開する、PRE-STATION Ai 独自の「ファウンダーズプログラム」の実施に加え、短期集中型プログラムとして、初期事業仮説の早期検証と資金調達に向けた「インキュベーションプログラム」やPMF（プロダクトマーケットフィット）に向けて事業を加速させる「アクセラレーションプログラム」を展開。

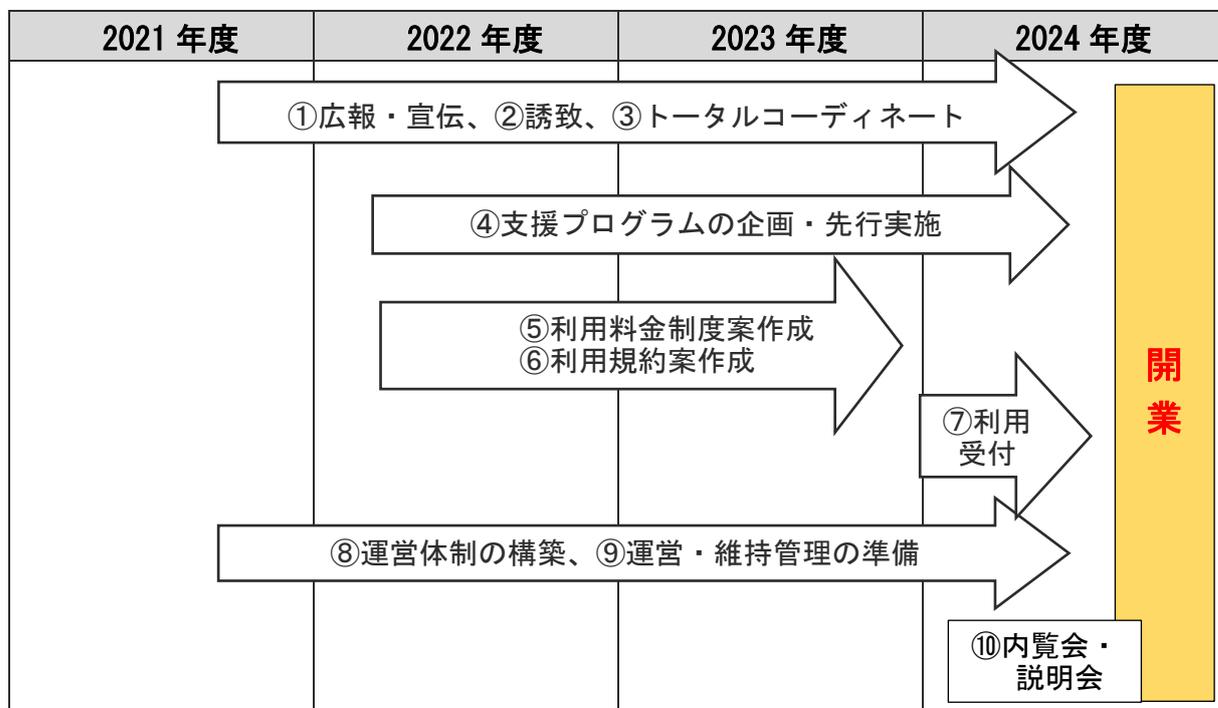
さらに、これらの支援プログラムを利用できるメンバーを PRE-STATION Ai メンバーとして位置づけ、STATION Ai と同様に、PRE-STATION Ai メンバーはオフィス利用を前提とした「Standard メンバー」と遠隔地からのリモート参加を前提とした「Remote メンバー」の2種類を設置していた。（2024年9月時点でのメンバー数は426者）

#### PRE-STATION Ai 提供支援サービス一覧

	支援内容	Standardメンバー	Remoteメンバー
オフィス利用に付随するサービス	オフィス(座席)の提供	○	-
	「PRE-STATION Ai」の住所における法人登記*	○	-
	WeWorkが提供する各種サービスの利用(一部制限あり)	○	-
ファウンダーズプログラム	メンタリング	○	○
	ピッチコンテスト	○	○
	DEMO DAY	○	○
	交流会・勉強会等のイベントへの参加	○	○
	ギルド	○	○
インキュベーションプログラム / アクセラレーションプログラム	講座・ワークショップ	○	○
	集中検討会	○	○
	先輩起業家・VC座談会・交流会	○	○
	マンスリーピッチ・DEMO DAY	○	○
	メンタリング	○	○

## (5) STATION Ai 開業準備業務

STATION Ai 供用開始時（2024年10月）からの円滑な運営を実現するため、入札公告時に入札説明書において位置付けた開業準備業務を、STATION Ai 株式会社と愛知県が連携して戦略的かつ計画的に実施（2021年～2024年）。



## (6) STATION Ai について

STATION Ai は、この地域の優秀なスタートアップを創出・育成し、海外展開を促すとともに、世界から有力なスタートアップを呼び込むことで、世界から優秀な人材を集め、さらに、スタートアップと地域のモノづくり企業等とが交流することにより、新たな付加価値が次々と創出される中核拠点である。

STATION Ai においては、民間の経営能力や技術的能力などを最大限に活用できる PFI 方式を採用しており、ソフトバンク株式会社の 100%子会社である STATION Ai 株式会社が運営を担う。

所在地	名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号
面積	敷地面積 約 7,300 平方メートル、延床面積 約 23,600 平方メートル
施設内容	鉄骨造地上 7 階 スタートアップ・パートナー企業等向けオフィス、テックラボ、イベントスペース、宿泊施設、託児施設、カフェ・レストラン、あいち創業館 等

## ① STATION Ai の施設機能

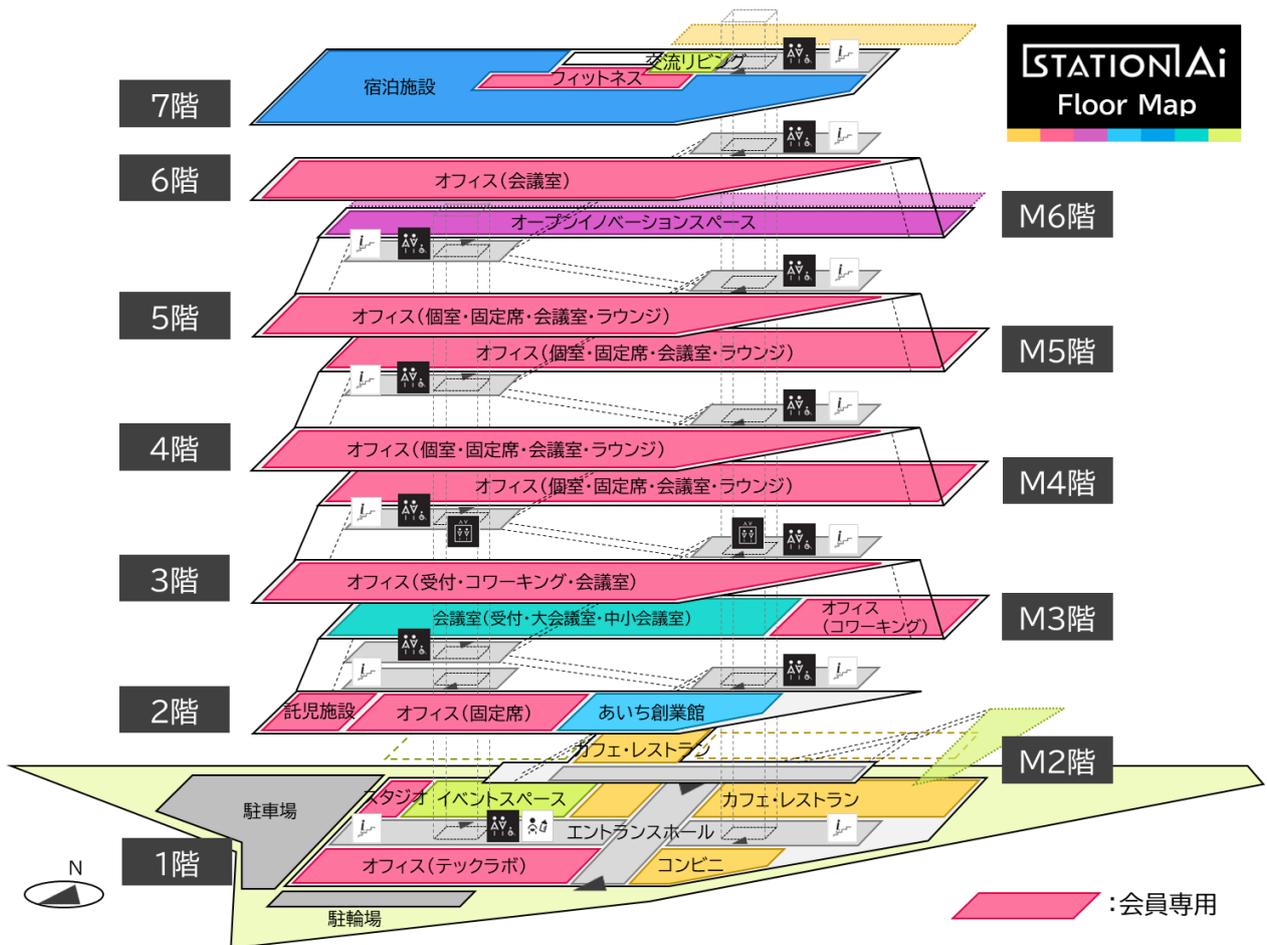
スタートアップやパートナー企業(大企業、地場企業等)向けに、用途に応じた執務環境の提供及び、スタートアップ支援拠点として価値を向上するための会議室・備品等の貸し出し、テックラボ等の各種基本サービスの提供、並びに各種オプションサービスを提供する。

スタートアップや企業のオフィスのみに向けたビルではなく、一般の方も利用できる会議室や飲食スペースなどを設けることで、地域住民のコミュニティ形成を促進する場を目指す。

加えて、遠方からのスタートアップなどの滞在を想定した宿泊施設を設置するとともに、子育てと事業成長の両立を支援するために託児施設の運営、コンビニエンスストアや駐車場・駐輪場の運営も行い、来訪者の利便性向上を図る。

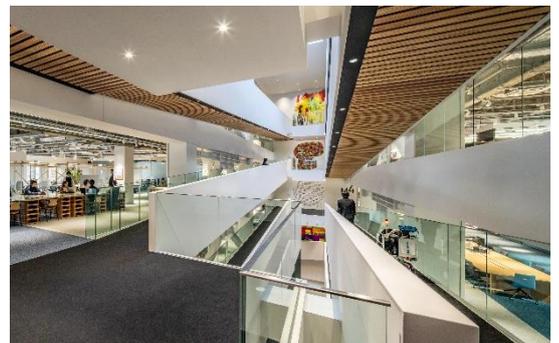
個室	固定席	コワーキング
Private	Fixed seats	Coworking
		
セキュアな環境が 担保された個室	相談窓口として活用しやすい オープンで交流しやすい固定席	偶発的な出会いが生まれやすい フリーアドレス席





## ② 最先端スマートビルとしての STATION Ai

各フロアをスロープでつなぐことにより、スタートアップ、企業、行政、大学、各種研究機関、地域住民など、施設のユーザー全ての交流を促す「ひとつながりの空間」の構築を実現する。



スロープで繋がれたスパイラル構造

STATION Ai における全ステークホルダーへの価値提供を追求するため、利用者目線に立った 100 を超えるユースケースを想定し、全ての利用者にとってストレスのないスマートな最新ビルを構築。また、ビルで生まれるデータをスタートアップに提供することで、幅広いアイデアの実証環境の場として利用できるほか、人々の交流の促進やクリエイティブな働き方をサポートする空間を実現することで、スタートアップの成長を支える。

ビルの運用においては、AI や IoT、ロボットが自律的に業務を行える環境を作り、ビルマネジメントや各種オペレーションの効率化を図ると共に、ビル内のエネルギー使用状況「見える化」による最適化を行い、省エネ、省資源化を実現する。



## 第3項 愛知県・STATION Ai のスタートアップ支援事業

実施主体	支援メニュー
① 起業家の教育・育成	
愛知県	<p>&lt;スタートアップ創出・育成事業&gt;            学生・社会人等のステージに応じた起業家の発掘・育成プログラムの開催            ○ 学生向け起業家育成プログラム            ○ 社会人向け起業家育成プログラム</p> <p style="text-align: center;"><b>STAPS</b>      </p> <p>&lt;小中高生起業家精神育成事業&gt;            小中高生を対象とした、各世代に応じた起業家育成プログラムの実施</p> <p>&lt;あいち創業館&gt;            本県ゆかりの創業者・経営者の業績などを伝える施設の運営</p> 
STATION Ai 株式会社	<p>&lt;スタートアップ支援環境の構築&gt;            国内外から優れたスタートアップを誘致もしくは創出・育成するため、それぞれのフェーズに応じた支援を行う体制の構築を行う</p>
② オープンイノベーション	
愛知県	<p>&lt;オープンイノベーション裾野拡大事業&gt;            スタートアップ等とのオープンイノベーションを促進する、            県内モノづくり中堅・中小企業の新規事業開発支援</p>
STATION Ai 株式会社	<p>&lt;オープンイノベーションマッチング支援&gt;            STATION Ai メンバーのスタートアップと事業会社とのマッチングを加速するためのプログラムを実施</p>
③ 人材採用	
愛知県	<p>&lt;スタートアップ採用支援事業&gt;            スタートアップで働きたい人とスタートアップが出会う場となるスタートアップ特化の採用イベントの開催</p> <p>&lt;あいちスタートアップビザ&gt;            外国人の在留資格の要件の緩和と創業に係る経営支援</p> 
STATION Ai 株式会社	<p>&lt;STATION Ai 人材マッチング事業&gt;            STATION Ai メンバーへの人材採用（就職・転職・インターン等）を支援</p>

実施主体	支援メニュー	
④ 資金調達		
愛知県	<p>&lt;創業支援事業&gt; スタートアップ創出を資金面から支援する起業支援金及び伴走支援</p> <p>&lt;スタートアップコンテスト開催事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 起業家創出促進事業 起業関心層に対する事業化支援、ビジネスプランコンテストの開催</li> <li>○ スタートアップ成長支援事業 創業初期でサービス（プロダクト）を有するスタートアップ等を対象としたビジネスプランコンテストの開催</li> </ul>	 
STATION Ai 株式会社	<p>&lt;STATION Ai Central JAPAN 1号ファンド&gt; 県等が出資をするベンチャーファンドから、STATION Ai のメンバースタートアップに積極的に投資を実行</p> <p>&lt;STATION Ai Catapult&gt; 専門家メンタリングやベンチャーキャピタルとのマッチングにより創業初期のスタートアップの資金調達を支援するプログラムを実施</p>	
⑤ 研究開発型スタートアップの支援		
愛知県	<p>&lt;ディープテック推進事業&gt; ユニコーン企業創出に向けたディープテックスタートアップへの総合的な支援</p>	
STATION Ai 株式会社	<p>&lt;GAP ファンドプログラム&gt; 大学等のアカデミアから生まれるスタートアップの創出を支援する、「GAP ファンド（研究開発費）」プログラム『ステップ2』を実施</p>	
⑥ スタートアップのコミュニティの醸成・多様化		
愛知県	<p>&lt;スタートアップ・ダイバーシティ推進事業&gt; 女性起業家支援をはじめとするスタートアップ・エコシステムのダイバーシティを推進するためのプログラムを実施</p> <p>&lt;スタートアップ地域連携グローバルイベント事業(TechGALA Japan)&gt; イノベーションに携わるステークホルダーが世界中から集い、交わり、イノベーションが創出される場となるグローバルイベント (主催：Central Japan Startup Ecosystem Consortium)</p>	
STATION Ai 株式会社	<p>&lt;STATION Ai コミュニティの運営&gt; イノベーションを生み出すコミュニティを STATION Ai において実現するため、多様な人材が集まり、交流する場づくりとして、様々なテーマを切り口としたイベントの開催やギルドの設置</p> <p>&lt;ダイバーシティの推進&gt; ジェンダー、国籍など様々な観点に配慮し、挑戦するすべての人が活躍できる支援環境・体制の整備を行う</p>	

# 1 愛知県のスタートアップ支援事業

## ① 起業家の教育・育成

### ○ 起業家発掘・育成事業

#### (ア) 社会人向けプログラム

既存の企業で働きながらの副業・兼業の促進による起業家の発掘・育成に対応するフォーマットをつくり、起業家の創出を加速させる。社会人が参加しやすいように、従来のように単発のプログラムを実施するのではなく、超短期集中プログラムやセミナー、個別分野向けのオープンイノベーション教育を絶え間なく実施し、参加者を継続的に支援していくことで、起業家育成の好循環を生み出す。

#### (イ) 学生向けプログラム

主に大学生をターゲットにした短期集中プログラムを実施。優秀な成績を修めた参加者には STATION Ai の入居権等を付与し、入居スタートアップの増加につなげる。

### ○ 小中高生起業家精神育成事業

小学生、中学生、高校生・高専生等をターゲットとして起業家精神育成プログラムを開催する。各年代に応じたプログラムを県内各地で実施し、小中高生が早期に起業について知ることにより、将来の職業選択の幅を広げ、起業を志す人材の裾野を拡大する。併せて、高校向けに出張授業を実施する。



小学生プログラムの様子

### ○ あいち創業館

2024年11月、STATION Ai 内にオープンした、本県ゆかりの創業者・経営者の業績などを伝えるあいち創業館（あいち Aichi Founders Museum）の管理運営を行う。STATION Ai に集うスタートアップに勇気や励みを与え、拠点施設としての賑わいや彩りを創出するとともに、施設を見学等で訪れる子どもたちに、将来の起業家としての夢を育んでもらう。



②産業のルーツゾーン  
あいちの産業のルーツを紹介する映像や、関連する企業・製品群を紹介

④探求・交流ゾーン  
イベントスペースやライブラリー

③偉人との出会いゾーン  
デジタル検索ツールを活用して企業家のエピソードや生み出した製品などを紹介

①偉人のトイカケゾーン  
企業家の名言が刻まれた壁

## ② オープンイノベーション

### ○ オープンイノベーション裾野拡大事業

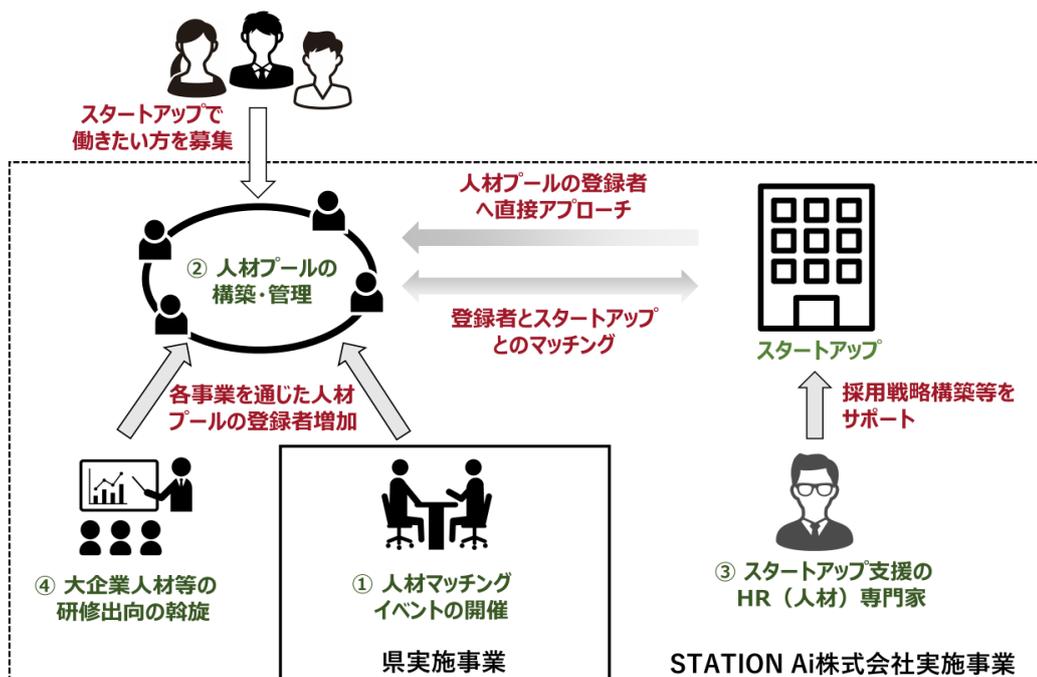
CASE や MasS による自動車産業の大変革期による産業構造の転換及び事業承継・第二創業を機会とし、新規事業開発やオープンイノベーションに取り組みたいが、やり方が分からない県内モノづくり中堅・中小企業に対して、自社の既存製品・サービスの横展開による新市場獲得と、オープンイノベーションを活用した新製品・新サービスの開発による事業多角化を支援する実践的なプログラムを提供する。

## ③ 人材採用

### ○ スタートアップ採用支援事業

スタートアップに特有の採用に関する課題を解決するため、スタートアップに特化した採用イベントを開催し、人材マッチングの機会を創出する。

具体的には、スタートアップへの就職・転職及びインターンシップ並びにスタートアップでの副業に興味のある学生・社会人・フリーランス等を対象に、出展スタートアップの経営者や採用担当者等と直接面談できる採用ブースを設置するとともに、スタートアップでのキャリア形成に関するトークセッション、出展スタートアップが求める人材に関するピッチを実施する。

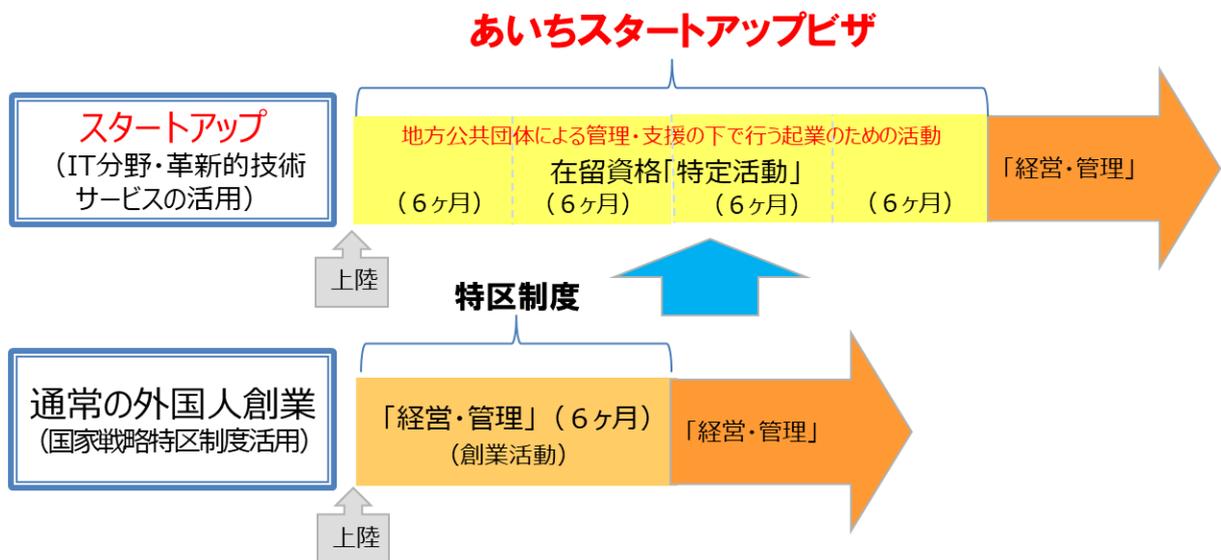


## ○ あいちスタートアップビザ

海外の有望な起業家を愛知県に誘引し、愛知県産業の国際競争力の強化、国際的な経済活動拠点の形成を目指すため、外国人の在留資格の要件の緩和と創業に係る経営支援を行う。

あいちスタートアップビザを利用した場合、愛知県内での起業を希望する外国人は、入国時に満たさなければならない在留資格『経営・管理』の2つの要件<sup>22</sup>が6か月間猶予されるとともに、上陸後は、専門家による指導・助言を受け、起業に向けた効果的な活動を行うことができる。

なお、事業内容がIT分野や革新的な内容である場合は、在留資格「特定活動」による起業も可能であり、その場合は、在留資格「特定活動」の要件が最長2年間猶予される。



## ④ 資金調達

### ○ あいちスタートアップ創業支援事業費補助金（起業支援金）

スタートアップにとって最重要課題の1つである資金について、ITや革新的技術・技能を用いて高成長を目指す事業を対象に、起業支援金による直接支援を実施する。また、事業執行団体による伴走支援を併せて実施し、起業、事業承継又は第二創業後の成長に効果的に寄与する。

<sup>22</sup> 要件①「事業所の確保」

要件②「常勤2人以上を雇用」又は「500万円以上の投資」

## ○ スタートアップコンテスト開催事業

### (ア) 起業家創出促進事業

起業を目指す者等を対象に起業の知見・資金両面をサポートし事業成長を促進するため、アクセラレーションプログラムとビジネスプランコンテストを一体的に行う「<sup>あいち スタートアップ バトル</sup>AICHI STARTUP BATTLE」を開催。

### (イ) スタートアップ成長支援事業

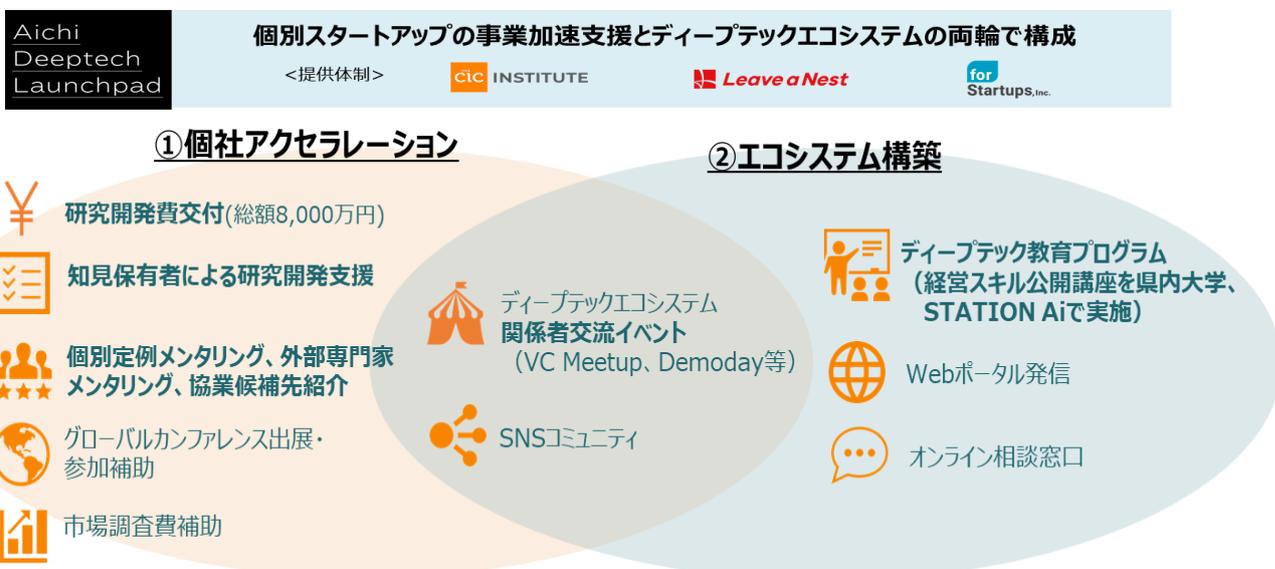
本地域のスタートアップのモデルとなるような次世代ユニコーンの創出を目指し、成長見込みの高いスタートアップに対して、賞金という形で事業推進に必要な資金を援助することで、次世代ユニコーンの創出を後押しするために、新たにビジネスプランコンテスト「<sup>あいち ネクスト ユニコーン</sup>AICHI NEXT UNICORN <sup>リーグ</sup>LEAGUE」を開催。

コンテストは年3回実施し、各開催回の賞金総額はそれぞれ1,000万円、国内のビジネスプランコンテストとしては最大級の規模である。

## ⑤ 研究開発型スタートアップの支援

### ○ ディープテック推進事業

市場のゲームチェンジャーとなる破壊的イノベーションを期待できる事業について、社会実装させユニコーン企業を創出するため、大学発等ディープテック系スタートアップに対して、複数年度にわたる成長支援及び、4,000万円/件×2件以上の研究開発費支援を行うほか、地域のスタートアップに対して、コミュニティづくり（イベント、教育プログラム）や相談対応等を実施する。



## ⑥ スタートアップのコミュニティの醸成・多様化

### ○ スタートアップ・ダイバーシティ推進事業

持続的にイノベーションが創出される環境を醸成するためには、①「多様な価値観や経験を有する人材が交流可能な空間内に集積していること」、②「集積した人材が交流し、チームを作り、事業化を促すコミュニティがあること、が必要であると考えている。

この①に関して、現状 STATION Ai の女性起業家比率は約 10%、海外起業家比率は約 6%に留まるなど、多様な人材がスタートアップ・エコシステムに集積しているとは言えない状況にあると考えている。

本事業ではこうした課題を解決することを目的とし、多様な価値観や経験を有する人材を、STATION Ai を中心とする当地域のスタートアップ・エコシステムに参画させる事業を実施することで、イノベーションの土壌づくりを目指すものである。

### ○ スタートアップ地域連携グローバルイベント事業 テックガラ ジャパン (TechGALA Japan)

愛知、名古屋、浜松地域のスタートアップ・エコシステムの形成を目指す セントラル ジャパン スタートアップ エコシステム コンソーシアム 「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」 (構成：愛知県、名古屋市、浜松市、一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学等) は、2025 年 2 月 4 日(火)から 2 月 6 日(木)まで 3 日間に渡り、スタートアップの祭典「TechGALA Japan」を開催した。

本イベントでは、450 名以上の登壇者を迎えた 89 の基調講演やパネルディスカッション、9 カ国 16 社のスタートアップが登壇するグローバルなピッチコンテスト、140 社の事業会社やスタートアップによる企業展示、著名な起業家や投資家等の普段出会うことができないスピーカーとの交流企画や、STATION Ai にて実施する盛大なアフターパーティー、本イベントの開催時期に合わせて参加者が自主的に企画運営する 50 以上のサイドイベントが同時多発的に開催など、多岐にわたる企画を実施した。

2025 年度についても開催予定であり、現在企画を進めているところである。



## 2 STATION Ai のスタートアップ支援事業

### ① 起業家の教育・育成

#### ○ スタートアップ支援環境の構築

この地からユニコーン企業を連続的に輩出していくためには、スタートアップの数を増やし、自発的に創出・育成・展開される環境を構築していく必要がある。そのために国内外からのスタートアップの集積の他、スタートアップ関心層への働きかけを行い、誰もが起業を身近に感じられるような起業風土・機運の醸成およびスタートアップ関係人口の増大を図る。

STATION Ai では、国内のスタートアップに対しては起業前の段階から海外への事業展開に至るまで、また海外のスタートアップに対しては日本国内への展開において、それぞれのフェーズに応じた支援を行う体制の構築を行う。

また、国内のスタートアップが世界展開を目指せる環境を構築するべく、アクセラレーターや企業等との連携体制を構築し、支援プログラムの企画・運営を行うとともに、海外のスタートアップや企業が入居しオープンイノベーションができる体制を構築し、支援プログラムの企画・運営を行う。

### ② オープンイノベーション

#### ○ オープンイノベーションマッチング支援

愛知県には世界から注目されるような技術力・研究開発力を持った企業・大学・研究機関が多く集積している。それらのアセットを活かすことで、スタートアップの事業成長を加速するだけでなく、オープンイノベーションによる既存産業の活性化を図り、新規事業が生まれ続ける地域への変革を促す。

そのため、企業や自治体等が持つ課題をスタートアップに共有するリバースピッチイベントを企画・運営し、課題解決に向けたオープンイノベーションの実現を支援する。また、大学及び研究機関からの技術シーズや企業・自治体からのニーズをヒアリングし、連携可能なスタートアップの紹介などを行うことで、共創の推進を図る。加えて、国内外の大企業がもつオープンイノベーションプログラムを招聘し、STATION Ai で様々なプログラムが実施されている環境の整備を目指す。また、必要に応じたプログラム支援も行う。

### ③ 人材採用

#### ○ STATION Ai 人材マッチング事業

優秀な人材の獲得はスタートアップの事業成長を加速するだけでなく、人材流動性が低いといわれている東海地域の経済活力を高め、イノベーションが持続的に生まれる基盤となる。

そこでSTATION Ai メンバーとなるスタートアップの成長に不可欠な人材確保を支援し、多様な人材プールの構築と効果的なマッチング環境の整備を推進している。

具体的には、専門家による採用戦略構築支援や人材プールの管理・運営、採用サービスを運用しているパートナー企業の協力を通じて、スタートアップのニーズに最適な人材紹介を実現する。

また、定期的な情報更新と積極的な情報発信により、質の高い人材データベースを構築し、各スタートアップの特性や成長段階に合わせた採用支援を行っている。

さらに、スタートアップ採用に特化した人材マッチングイベントをSTATION Ai で開催し、人材エージェントやVC等との連携を通じて、効果的な出会いの場を創出する。

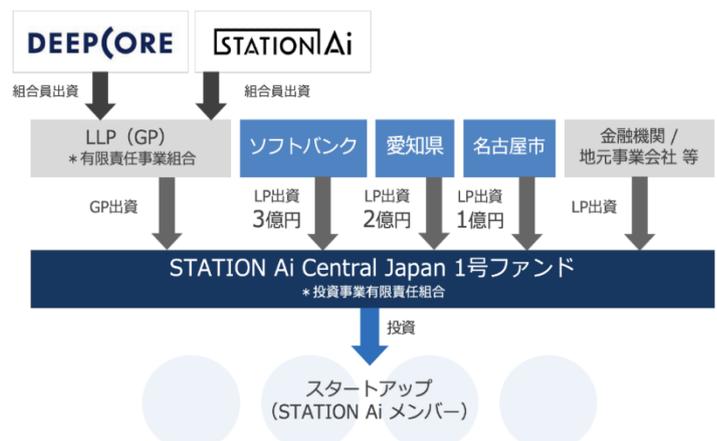
これらの総合的な取り組みにより、愛知県のスタートアップ・エコシステムにおける人材循環の活性化とイノベーション創出の加速を目指している。

### ④ 資金調達

#### ○ STATION Ai Central Japan 1号ファンド

2022年5月末に、「STATION Ai」の整備・運営事業者であるSTATION Ai 株式会社等によるスタートアップ投資ファンド「STATION Ai Central Japan 1号ファンド」が設立された。本ファンドへの出資を通じて、愛知県におけるスタートアップの資金調達環境の充実を図り、スタートアップの成長支援や愛知県へのスタートアップの誘引を促進する。

項目	内容
GP (運営者)	STATION Ai(株)と(株)ディープコアによる有限責任事業組合
LP (出資者)	ソフトバンク(株)、愛知県、名古屋市、県内事業会社や金融機関等
ファンド規模	15億円
投資対象	STATION Aiメンバー ※PRE-STATION Ai含む
投資ステージ	プレシード/シード/シリーズA
存続期間	10年(延長:最大2年)
投資期間	5年



## ○ STATION Ai <sup>カタバルト</sup> Catapult

各種専門家（コンサルタント、士業等）、起業家、投資家等を招聘し、スタートアップのニーズに応じた相談ができるハンズイフ型支援や一定期間内に成果を出すことを狙うプログラム型の支援を展開する。さらに、成長性が高くかつ支援効果の高いスタートアップについては、これを選抜し、STATION Ai として重点的に支援するメニューやプログラムを設計し実行する。また、事業成長の上で必要な人材を獲得するための採用戦略の立案や人材紹介の支援を行う。

## ⑤ 研究開発型スタートアップの支援

### ○ GAP ファンドプログラム

研究者から起業家へのトランジションをスムーズにし、革新的なアイデアが市場に出る機会を増加させるため、Tongali<sup>23</sup>と連携して、「GAP ファンド（研究開発費）プログラム『ステップ2』（概念検証・スタートアップ組成）」の企画・運営を実施。

「GAP ファンド（研究開発費）プログラム『ステップ2』（概念検証・スタートアップ組成）」では、研究開発費の提供、PoC 実施の支援、海外進出の支援、各種セミナーの実施、先輩起業家とのミートアップ、同社のオフィスフロアの提供など、研究者チームが本格的なビジネスモデルを構築し、事業化に向けた第一歩を踏み出すための環境整備のサポートを行う。

## ⑥ スタートアップのコミュニティの醸成・多様化

### ○ STATION Ai コミュニティの運営

イノベーションを生み出すコミュニティを STATION Ai において実現するため、多様な人材が集まり、交流する場づくりとして、様々なテーマを切り口としたイベントの開催やギルドの設置を行い、STATION Ai コミュニティの運営を行う。

---

<sup>23</sup> 科学技術振興機構(JST)の大学発新産業創出基金事業「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」に採択されたアントレプレナーシップ教育と起業支援活動のためのプラットフォーム「Tokai Network for Global Leading Innovation」をいう。

## ○ ダイバーシティの推進

ジェンダー、年齢、国籍、出産・育児、介護、障害、信仰など様々な観点に配慮し、挑戦するすべての人が活躍できる支援環境・体制の整備を行う。情報へのアクセス向上のため Web サイトなど情報発信における多言語対応を行うと共に、支援や施設利用の場面においても日英対応できる体制を構築する。また施設整備においては、ユニバーサル対応動線、託児施設など多様性への配慮を行うことで、誰もが快適に過ごせる空間の実現を目指す。加えて、女性起業家支援をはじめとする多様な属性の人々がスタートアップビジネスに挑戦できるよう支援していく。

## 第4項 国内（県内外）パートナー・エコシステム

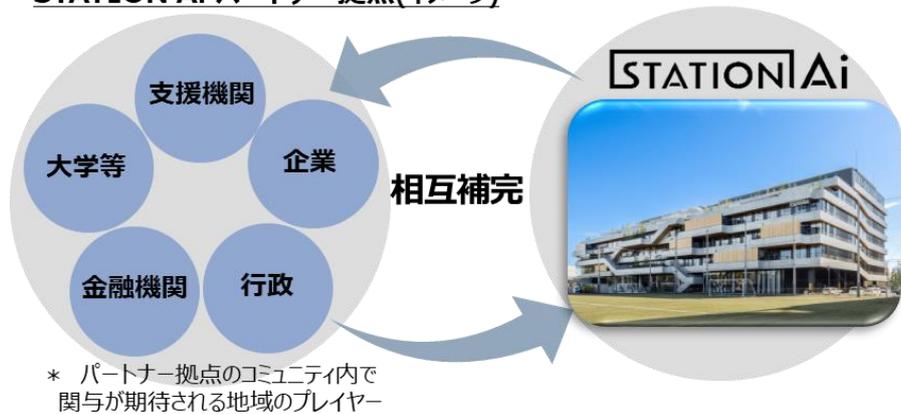
### 1 STATION Ai パートナー拠点

愛知県内各地域において、地域特性や強みを生かしてスタートアップを起爆剤としたイノベーション創出に主体的に取り組む機関等を「STATION Ai パートナー拠点」とし、STATION Ai との相互の連携・協力関係の構築を進め、県内全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成を目指す。



STATION Ai パートナー拠点とした東三河地域、大府市・東浦町にまたがるウェルネスバレー地域及び刈谷地域以外においても STATION Ai パートナー拠点の設立を促進するためエコシステム形成支援統括マネージャーによる支援を行う。

#### STATION Ai パートナー拠点(イメージ)



『東三河スタートアップ推進協議会』  
との連携イベント



『ウェルネスバレー推進協議会』  
との連携イベント



『刈谷イノベーション推進プラットフォーム』  
との連携イベント

#### <AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM>

2022年度から県内の自治体や支援機関等を対象にスタートアップ支援の実践機会を提供するためのプログラムを実施。自治体や支援機関等は、エコシステム形成支援統括マネージャーのサポートを受けながら、地域ネットワークを活用してスタートアップへ実証先を紹介するなどして実践経験を積み、支援ノウハウの習得を目指す。



## 2 東京都との連携

愛知県と東京都では、2024年にスタートアップ・エコシステムの拠点である「STATION Ai」と「Tokyo Innovation Base」が誕生し、イノベーション創出に向けた様々な取組が進んでいる。

日本を代表するこれら二つのイノベーション拠点の有機的な連携をより活発化し、スタートアップ支援やイノベーション創出を始めとする幅広い分野で連携・協力を進めていくため、2024年12月17日に愛知県と東京都は「東京都と愛知県との連携・協力に関する協定」を締結した。

今回の協定締結を契機にして、日本の成長エンジンである愛知と東京が、オープンイノベーションによる革新的なビジネスモデルを次々と生み出し、世界中から多くの投資家や企業を誘引する国際イノベーション都市の形成を進め、我が国の発展・成長を力強くリードしていく。



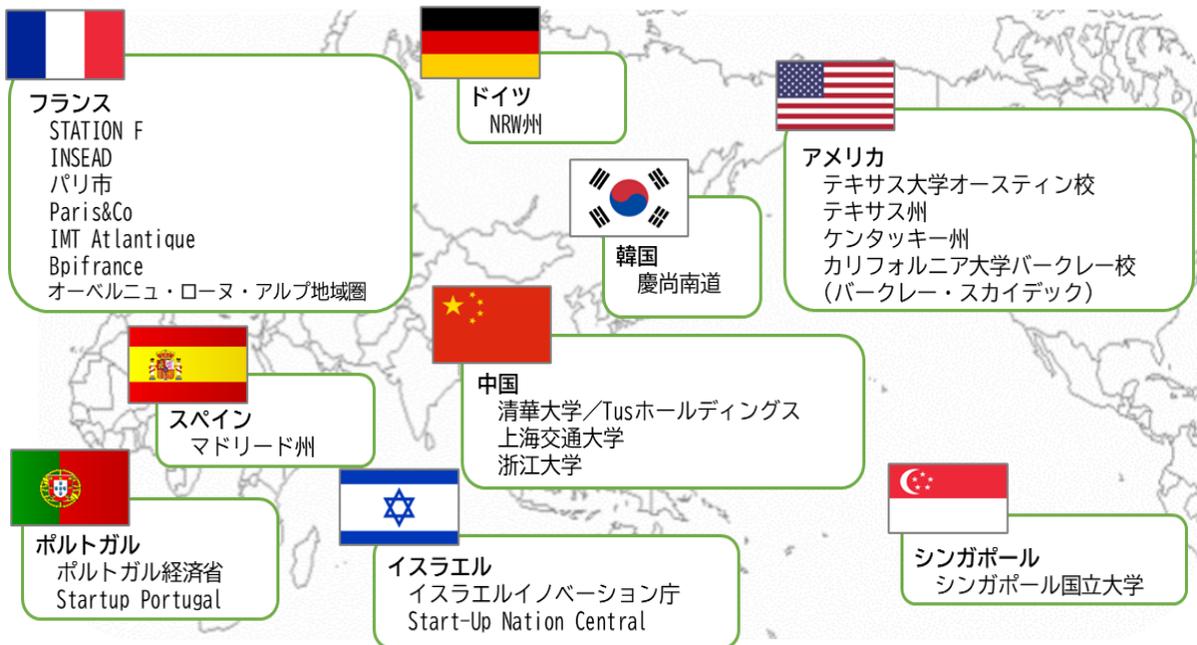
愛知県と東京都の協定締結式

## 第5項 海外スタートアップ支援機関・大学との連携

スタートアップ・エコシステムの形成に向けた先進的な取組を行う海外支援機関と連携し、世界市場で戦えるスタートアップのアクセラレート、当地域のスタートアップ支援機関を育成する研修プログラム等を実施する。また、海外のスタートアップが集積する国・地域において、スタートアップ支援機関や教育機関等との連携を図るとともに、これら国・地域のエコシステムや有望企業の調査を通じて、海外スタートアップを招聘し、県内モノづくり企業等とのマッチングを図っていく。

これらの取組を通じて、海外のスタートアップ・エコシステムとのネットワークを形成していく。

### 【愛知県と連携する9か国 22のスタートアップ支援機関・大学】



## (1) あいちグローバルスタートアップ・エコシステム推進事業

愛知県は2018年度から、スタートアップの創出・育成や事業会社とのオープンイノベーションを支援するため、オープンイノベーションアクセラレータープログラムを開始し、2021年度からは、各種海外連携プログラムを繋ぐプラットフォームとしての役割を果たすとともに、愛知のスタートアップ推進施策の先進性を県内外に発信する役割を担う、世界トップレベルで活動するスタートアップ支援機関によるアクセラレータープログラム<sup>24</sup>を実施してきた。

2024年度からは、これまでの成果を踏まえ、愛知県の産業特性を踏まえた事業領域（2024年度テーマ：「GX」・「マニュファクチャリング」）で活動する県内等のスタートアップを対象に、海外展開を見据え、国内外の専門家によるビジネスプラン磨き上げ、県内事業会社等とのオープンイノベーション機会の探索を実施した。

併せて、愛知県の産業特性を踏まえた事業領域で活動する海外スタートアップを愛知に誘引し、県内事業会社とのオープンイノベーションを創出するプログラムを実施した。

## (2) アメリカとの連携

テキサス州の州都であるオースティン市は、世界を代表するスタートアップ・エコシステム先進地の一つである。

オースティン市は1970年代まで大学と州政府機関のみを中心とする街であったが、テキサス大学オースティン校が中心となり、スタートアップ支援、イノベーション創出を図った結果、IBM、モトローラ、テキサス・インスツルメンツなどの大企業の進出、テキサス大学の学生であったマイケル・デルによるデル・コンピュータの設立、IBM オースティンからの複数のスピンオフ企業の設立を始めとして、ハイテク産業の集積が進んでいる。

こうした成長を背景として、ベンチャーキャピタル、弁護士事務所、会計事務所などの集積が進み、スタートアップ・エコシステムが醸成され、「オースティン・モデル」と呼ばれる、世界的に最も起業しやすい街と言われるようになった。

愛知県は、2016年4月22日、テキサス州と相互協力に関する覚書を締結し、覚書に基づくテキサス州との交流の一環として、2018年5月9日、大村知事がテキサス大学オースティン校を訪問した。

---

<sup>24</sup> 2018年度から2020年度まで実施したオープンイノベーション事業「Aichi Open innovation Accelerator」を発展的に引き継ぐ。

その後も引き続き、「オースティン・モデル」を学び、本県においてスタートアップ・エコシステムの形成・充実を進めることについて意見交換した。こうした中、テキサス大学オースティン校と本県との連携プロジェクト「A2 (Aichi-Austin) Innovation Kick-Start Program (あいち・オースティン・イノベーション・キックスタート・プログラム)」を2019年2月に開始した。2023年5月8日には、知事が5年ぶりにテキサス大学オースティン校を訪れ、ファイゲンバウム副学長らと意見交換をした。

本プログラムでは、県内のスタートアップに対し、テキサス大学メンターが6か月程度に渡り、メンタリングを通じた事業・ピッチ内容のブラッシュアップや、米国内外のネットワークを活用したビジネスパートナーの探索・提携支援を行っている。また、海外展開を目指すスタートアップの育成やスタートアップ支援機関の連携強化を図るためのワークショップなどを行っている。

これらのプログラムを実施することにより、今後も、グローバルに活躍するスタートアップの創出・育成やスタートアップ・エコシステム形成を図る。

2024年度は、上記に加え、2025年3月にテキサス州オースティンで開催される、世界最大級の複合イベント「SXSW」への、県内スタートアップの出展支援や、愛知県内の起業家等を1週間程度、テキサス大学オースティン校へ派遣し、現地のエコシステムを体感する機会を提供した。

また、2024年12月には、世界一のスタートアップ・エコシステムを有しているシリコンバレーエリア地域に強いネットワークを有するカリフォルニア大学バークレー校とスタートアップ支援における連携協力に関する覚書を締結した。

テキサス大学オースティン校  
ファイゲンバウム副学長との記念撮影  
(2023年5月8日)



カリフォルニア大学バークレー校  
ウィンネット スカイデック代表との記念撮影  
(2024年12月3日)



### (3) シンガポールとの連携

シンガポールは、世界中のイノベーションを取り込むために、政府主導で、国内における実証実験／事業化しやすい環境が整備されている。さらに、ASEAN の各主要都市へのアクセスの良さから、スタートアップにとって将来的な事業展開の起点となりうる機能を有している。

シンガポール国立大学は、シンガポール国内において、南洋理工大学とともにシンガポールの双璧をなす総合大学であり、QS 世界大学ランキング（イギリスの大学評価機関の調査）では、アジア No. 1、世界 No. 11 の大学としてランクインしている。また、東南アジア諸国、中国、欧米やアフリカなどを含め、100 か国以上からの留学生を迎え、非常に国際色豊かな大学である。

愛知県は、シンガポール国立大学と、2018 年 8 月 17 日に、「科学技術分野における連携協力に関する覚書」を締結し、材料工学、交通工学を始めとした科学技術分野における包括的な連携協力を推進してきた。特に、老年医学・老年学の分野においては、国立研究開発法人国立長寿医療研究センターが技術協力プロジェクトに取り組んでいる。

2019 年 9 月 10 日には、前に定めた覚書に、新たに、スタートアップ支援分野を定めた、「スタートアップ支援分野における連携協力に関する覚書」を締結した。2023 年 8 月には、2018 年 8 月締結の覚書と 2019 年 9 月締結の覚書を統合し、新たに「科学技術分野における連携協力に関する覚書」を締結した。2020 年度からは、愛知県とシンガポール国立大学とで、スタートアップ支援分野において、具体的な連携事業に着手している。2022 年 8 月、大村知事がシンガポールに渡航した際にシンガポール国立大学を訪問し、同大学の関連機関が運営しているスタートアップ支援機関「BLOCK71」が、日本における初めてのスタートアップ支援拠点「BLOCK71 NAGOYA」を PRE-STATION Ai に開設することに向けた合意書に署名を行った。2023 年 9 月には、BLOCK71 の日本初の拠点が PRE-STATION Ai において稼働を開始し、連携プログラムが本格的に始動。2024 年 10 月の STATION Ai 開業と同時に、STATION Ai 内に設置された。

また、名古屋大学は、シンガポール国立大学と、2018 年 8 月 17 日に、全学協定、全学学生交流協定を締結し、教育分野及び研究分野等における連携を推進し、交換留学等に取り組んでいる。

2019 年 9 月 10 日には、前に定めた全学協定及び全学学生交流協定の不可欠な部分として、「アントレプレナーシップ教育及びスタートアップ支援における連携協力に関する覚書」を締結し、アントレプレナーシップ教育プログラムの開発等に連携して取り組んでいくこととしている。

## 愛知県と『シンガポール国立大学』の MOU 締結式



## BLOCK71 NAGOYA オープニングセレモニー



2020年度からは、シンガポール国立大学の協力を得て、“スマートサステイナブルシティ”の実現を目的とした産学官共創型のグローバルプログラム「Aichi Smart Sustainable City Co-Creation Challenge」を実施した。本プログラムでは、愛知県の“スマートサステイナブルシティ”の実現に向けた各テーマについて、県内の企業等と国内外のスタートアップが課題解決に取り組んだ。

さらに、シンガポール国立大学が主催するイベントについて、東南アジア市場へのビジネス展開支援プログラムやイノベーションをテーマとした展示会に県内スタートアップを、アントレプレナーシップ養成プログラムに県内大学生等をそれぞれ派遣した。

### (4) フランスとの連携

欧州のスタートアップ中心地であるフランスについては、2019年8月、大村知事が渡航し、パリ市経済開発公社「Paris & Co」と「スタートアップ支援における連携協力に関する覚書」を、工学系高等専門大学院（グランゼコール）「IMT Atlantique」と「スタートアップ支援を含む包括交流に関する覚書」を締結した（IMT Atlantiqueとは2024年10月に覚書の更新を実施）。2020年1月、大村知事がフランスに渡航した際に覚書の締結について合意していた政府系投資銀行「Bpifrance」とは、2021年2月に、オンラインにて「スタートアップ支援分野における連携協力に関する覚書」を締結した。

また、2020年度から、Paris & Coとは、行政機関によるスタートアップ支援についてのセミナーを実施しているほか、IMT Atlantiqueとは、高い生存率を保つ大学発スタートアップ育成のノウハウについてのセミナーを実施している。

さらに、世界トップレベルの経営大学院である「INSEAD」との連携プログラムとして、企業内で新規ビジネスを起こすことのできる人材を育成する愛知県向けカスタマイズプログラムを実施している。

2021年度からは上記に加えて、Bpifrance とはフランスと愛知県のスタートアップ関係者が相互の地域のスタートアップ・エコシステムについて理解を深めるとともに、相互の交流を促進することを目的とした交流セミナー、「STATION F」とは、同機関の持つ知見を STATION Ai の運営に活用するためのプログラムの連携も進めている。（P12 参照）

2023年度からは、INSEAD との連携について、新たに中堅・中小企業を対象にした、新規事業創出等に関する講座等を実施している。また、2022年度に新たに MOU を締結したオーベルニュ・ローヌ・アルプ地域圏とは、フランス有数のスタートアップ・エコシステム先進地である当地のイノベーション支援について紹介するセミナー等を実施した。

2024年度は、愛知県とフランスのスタートアップ・エコシステムの相互交流の促進を目的とし、愛知県での事業展開を目指すフランスのスタートアップを愛知県に招待し、愛知県のスタートアップ・エコシステム関係機関を訪問するツアーを実施した。また、フランスへの事業展開を目指す愛知県のスタートアップをフランスに派遣し、フランスのスタートアップ・エコシステム関係機関を訪問するツアーも実施した。

『IMT Atlantique』 MOU 締結式



『INSEAD』 イノベーションプログラム



『Bpifrance』 MOU 締結式



『STATION F』 訪問



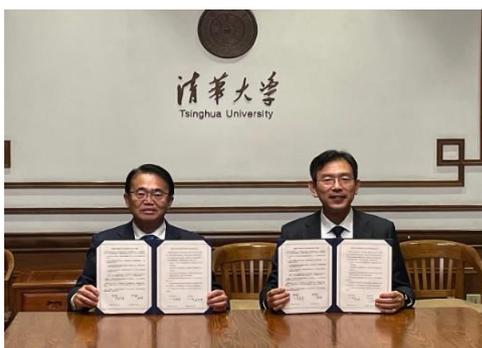
## (5) 中国との連携

アメリカとともに世界のユニコーン企業の大半を占める中国については、北京、上海、杭州、深圳などのスタートアップ・エコシステムの先進都市を形成している。

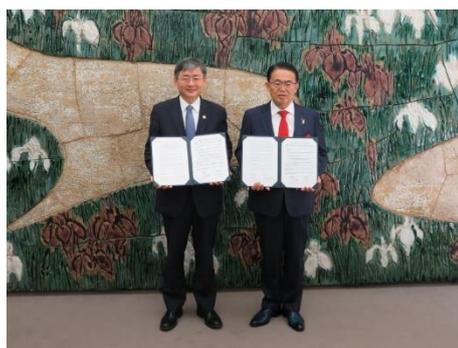
2019年5月、大村知事が中国に渡航し、北京市・清華大学、上海市・上海交通大学、浙江省・浙江大学とスタートアップ支援の連携についての将来的なMOU締結の提案を行った。これを受けて、2019年9月に清華大学、同年11月に上海交通大学、2022年6月に浙江大学と「スタートアップ支援を含む包括交流に関する覚書」を締結した。その後、2024年10月に清華大学と上海交通大学、それぞれと覚書の更新を行った。

これらの大学等と連携を図りながら、愛知県と中国のスタートアップ・エコシステム形成を図っている。

『清華大学』MOU更新（2024.10.14）



『上海交通大学』MOU更新（2024.10.31）



『浙江大学』MOU締結式



2020年度からは、清華大学の傘下組織で、これまで5,000社以上のスタートアップを支援してきたTusホールディングスと連携し、県内のスタートアップの中国へのビジネス展開支援や県内のスタートアップと中国企業等とのマッチングなどを行うAichi-China Innovation Programを開始している。

2021年度からは、上海交通大学と連携した事業を開始し、2024年度は上海で開催される展示会に県内スタートアップが出展するプログラムを実施した。

2022年度からは、浙江大学と連携した事業を開始し、2023年度からは、浙江大学との連携について、新たに同大学と県内大学の大学生・大学院生等との学生交流を通じ、グローバルに活躍できる起業家を養成するプログラムを実施している。

## (6) イスラエルとの連携

イスラエルでは、先端的なAI等のテクノロジーをベースに、モビリティ領域を始め多数のユニコーンを輩出するスタートアップ・エコシステムが形成されている。

2022年5月、大村知事がイスラエルに渡航し、同国でのスタートアップ支援をリードするStart-Up Nation Central (SNC) と覚書を、イスラエルイノベーション庁 (IIA) と合意書を締結した。

SNC、IIA と連携し、2022年度から県内事業会社とイスラエルのスタートアップとのオープンイノベーション促進プログラムを実施している。

2023年度からは、SNC と連携して県内事業会社とイスラエルのスタートアップとのオープンイノベーション促進プログラムを実施している。また、IIA とは県内事業会社とイスラエルのスタートアップの共創による新規事業開発プログラム (2年間) を実施している。

2023年度からは、SNC とは県内事業会社とイスラエルのスタートアップとのオープンイノベーション促進プログラム、IIA とは県内事業会社とイスラエルのスタートアップの共創による新規事業開発プログラムを実施している。

『イノベーション庁』合意書締結式



『Start-Up Nation Central』MOU 締結式



## (7) ドイツとの連携

ドイツ・ノルトライン・ヴェストファーレン（NRW）州はルール工業地域を擁するなど、ヨーロッパ最大の工業地帯、産業地帯である。

2023年7月、大村知事がドイツに渡航して NRW 州首相と面談し、スタートアップ、水素・再生可能エネルギー、文化・芸術などの分野において連携を進めていくことで合意した。

2024年度は、2つの取組を実施した。

1つ目は、県職員が現地政府や支援拠点などを訪問し、NRW 州におけるスタートアップ支援状況への理解を深めたほか、現地のスタートアップイベントにて STATION Ai の PR を行った。

2つ目は、STATION Ai にて、県内企業やスタートアップの NRW 州への進出促進を狙いとした、ドイツスタートアップに関するイベントを開催した。

NRW 州首相との面談の様子



NRW 州首相との記念撮影



## (8) 韓国との連携

韓国慶尚南道は、航空宇宙、原発、造船、防衛産業を中心に、産業が集積している地域である。

2023年9月、愛知県国際展示場で開催された「エアロマート名古屋 2023」に併せて慶尚南道副知事が来県し、「航空宇宙及びスタートアップ」の2分野における連携に関する覚書を締結した。

2023年度は、12月に慶尚南道で行われたネットワーキングイベント「Startup Night」にて、ビデオメッセージによる愛知県からの祝辞及び STATION Ai の PR を行うなど、具体的な連携をスタートしている。

2024年度は、2つの取り組みを実施した。

1つ目は、県職員が現地政府や支援拠点などを訪問し、イベントにて STATION Ai のPRを行った。

2つ目は、STATION Ai で行われたイベント「2024 Korean Startup Demo & Networking Night」にて、慶尚南道等のスタートアップ計8社を始めとした関係者が参加し、ピッチ登壇やネットワーキング交流会を実施した。

『慶尚南道』MOU 締結式



慶尚南道で行われたイベントの様子



## (9) スペインとの連携

スペインは、近年スタートアップ支援に力を入れており、マドリード州には、国内外の大企業グループと州政府の支援によるスタートアップ支援組織「PATIO」が創設されるなど、支援を強化している。

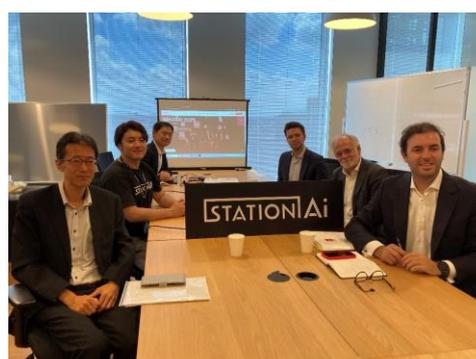
2024年7月、大村知事がスペインに渡航してマドリード州知事と面談し、スタートアップ支援を始め、グリーン水素プロジェクト支援、外国投資の誘致促進、施設訪問・ビジネス・文化訪問の促進と支援といった分野での親密な協力・連携を進めるための覚書を締結した。

2024年度は、9月にマドリード州からの訪問団を受け入れ、県内スタートアップ支援機関向けにマドリード州の投資環境説明会を実施したほか、PRE-STATION Ai の視察を行うなど、具体的な連携を開始している。

『マドリード州』MOU 締結式



PRE-STATION Ai 視察の様子



## (10) ポルトガルとの連携

ポルトガルはスタートアップ支援に力を入れており、スタートアップ支援組織「スタートアップポルトガル」を立ち上げ、リスボン市内にスタートアップ支援拠点「UNICORN FACTORY」を設立するなど、支援を強化している。

2024年7月、大村知事がポルトガルに渡航して経済大臣と面談し、スタートアップ支援分野での相互協力・連携を進めるための覚書を締結した。また、スタートアップポルトガルの代表者と面談し、スタートアップ支援分野での相互協力・連携を進めるための覚書を締結した。

『ポルトガル経済省』MOU 締結式



『スタートアップポルトガル』MOU 締結式



## 第6項 ソーシャルイノベーションの創出

愛知県が日本の成長エンジンとして我が国の発展を力強くけん引していくためには、スタートアップを起爆剤とするイノベーションの創出により、この地域全域で絶え間なくイノベーションが巻き起こるエコシステムを形成していくことが極めて重要である。

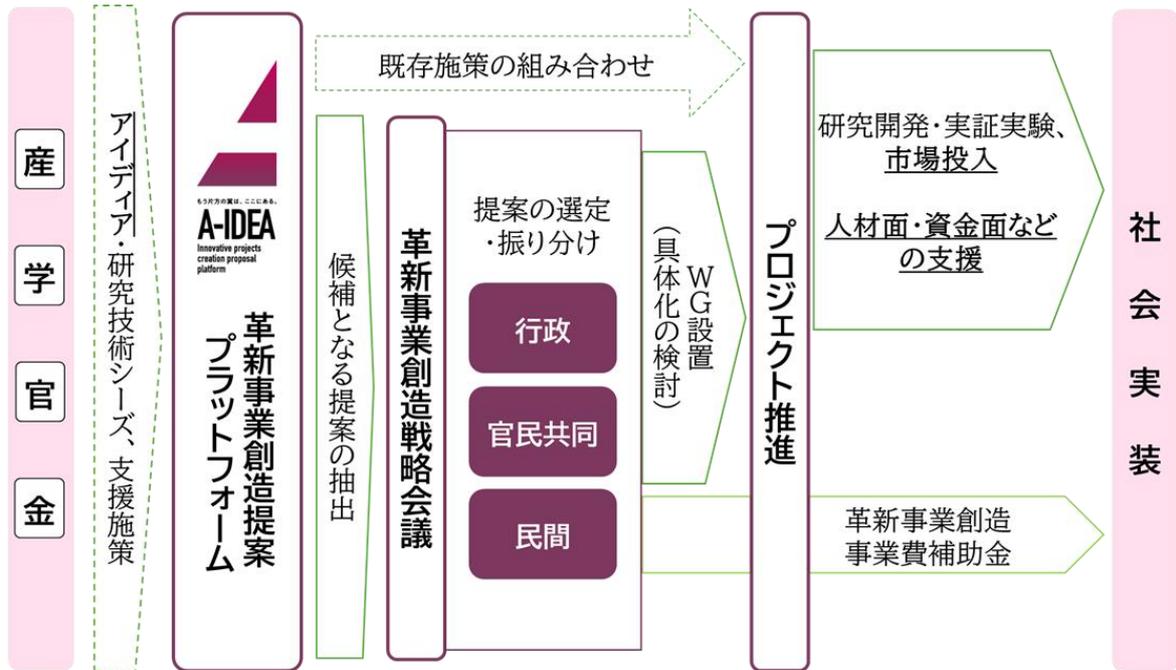
特に、社会課題の解決と地域の活性化に資するソーシャルイノベーションの創出については、産学官金の多様な主体が参画した、オープンイノベーションにより革新的なソリューション・サービスを社会実装につなげていく仕組みの構築が必要である。

### (1) 革新事業創造戦略推進事業（2022年度～）

2022年12月に、民間提案を起点として、社会課題の解決と地域の活性化を図るプロジェクトの創出に向けた愛知県の取組のフレームワークを示す「革新事業創造戦略」を策定した。そして、同戦略を強力に推進するため、産学官金の多様な主体からイノベーション創出に向けた提案を受け付ける「革新事業創造提案プラットフォーム（愛称：A-IDEA）」を運営するほか、「革新事業創造事業費補助金」により、民間主導で行われるイノベーション創出プロジェクトに対する支援を行っている。

また、同戦略では、愛知県の地域づくりの方向性を示す長期計画である「あいちビジョン 2030」の重要政策の方向性に位置付けられた政策分野を基礎に置き、健康長寿、農林水産業、防災・危機管理、文化芸術、スポーツ、GX、DXの7つを重点政策分野として設定しており、これまでに、「農業」、「デジタルヘルス」、「環境」、「モビリティ」及び「スポーツ」の5つのイノベーションプロジェクトを立ち上げ、推進している。

「革新事業創造戦略」とSTATION Aiを中核として推進する「Aichi-Startup戦略」を両輪として、この地域のイノベーション・エコシステムを形成し、愛知県の国際イノベーション都市への飛躍を目指していく。

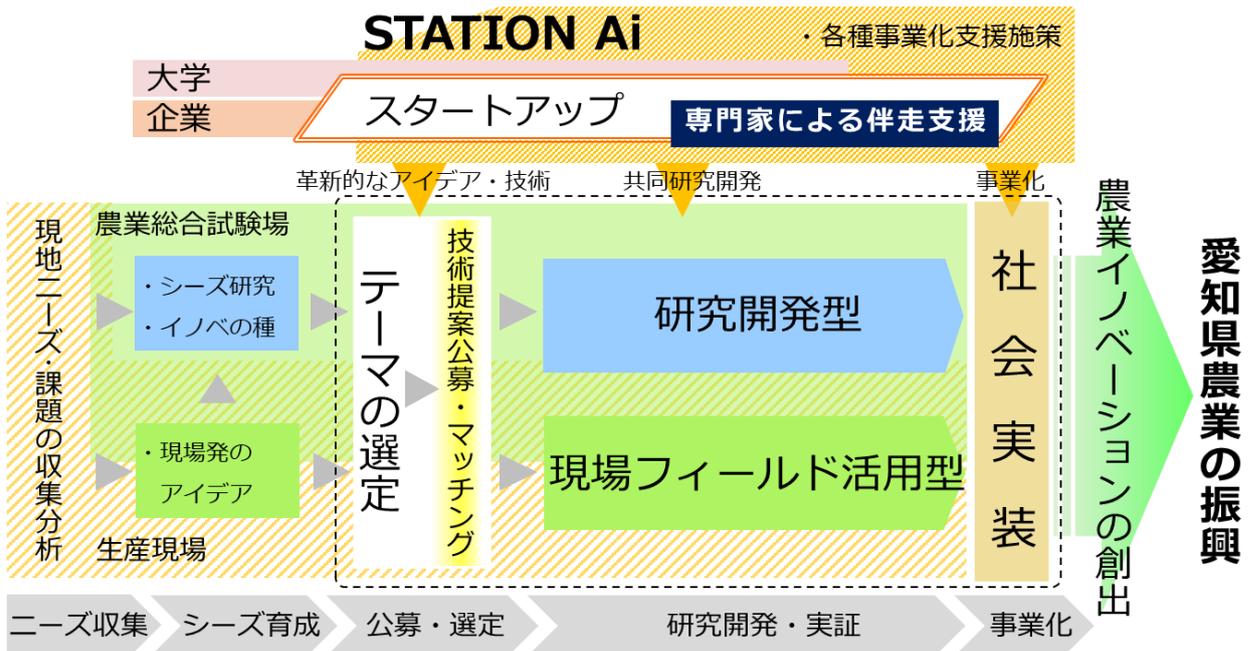


(革新事業創造戦略の推進体制)

## (2) あいち農業イノベーションプロジェクト (2021年度～)

農業総合試験場や大学が有する技術、フィールド、ノウハウとスタートアップ等の新しいアイデアや技術を活用した共同研究体制の強化を図り、新しい農業イノベーション創出を目指す。

2022年度に選定したスタートアップ等と農業総合試験場が共同研究開発に取り組む「研究開発型」や、2024年度からの新たな取組として、県の普及指導員がスタートアップ等と産地を結び、現場の「ほ場」で課題解決のために必要な新技術の迅速な導入を目指す「現場フィールド活用型」のイノベーション創出に取り組んでいる。



### (3) あいちデジタルヘルスプロジェクト（2023年度～）

超高齢社会の危機の克服に向け、デジタル技術の活用と産学官の連携により、「健康寿命の延伸」と「QOLの維持・向上」に貢献する各種サービス・ソリューションの創出を目指す。

2023年9月に設立した、産学官からなる「あいちデジタルヘルスコンソーシアム」をプロジェクトの推進母体として、①早期にサービス・ソリューションの社会実装を目指す「デジタルヘルス社会実装先行事業」や、②新たなサービス・ソリューションを生み出す「デジタルヘルス共創促進事業」、③住民へのサービス提供のデジタル基盤を整備する「デジタルヘルス社会実装・共創基盤構築事業」を実施し、「誰もが安心して、元気に暮らせるあいち」、研究機関や企業が集積する「健康長寿産業都市あいち」を実現する。



### (4) あいち環境イノベーションプロジェクト（2024年度～）

カーボンニュートラルの実現やサーキュラーエコノミーへの転換、ネイチャーポジティブの達成といった環境分野の課題解決に向けて、産学官金の連携の下、愛知発の環境イノベーションの創出を目指す。

2025年1月に設立した「あいち環境イノベーションコンソーシアム」を推進母体として、企業連携による新たな先進的プロジェクトの創出や、最先端のシーズ・企業ニーズの情報発信、会員の連携促進・情報交換、2024年9月に採択した8つのプロジェクトの伴走支援・実証実験を実施し、環境と経済が好循環する「環境首都あいち」の実現につなげる。



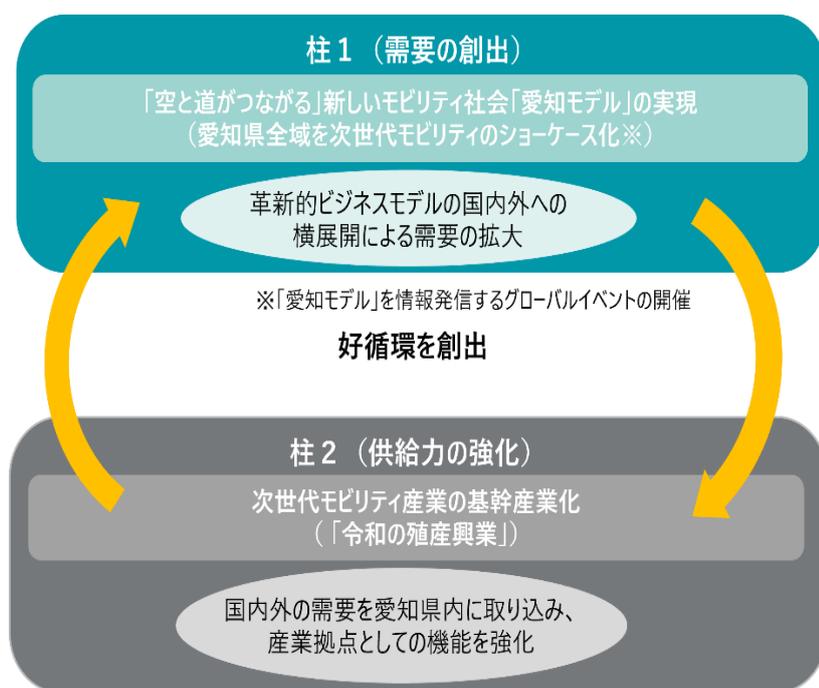
## (5) あいちモビリティイノベーションプロジェクト（2023年度～）

2030年度頃を目標に、ドローンや空飛ぶクルマ等の次世代モビリティが同時に自動管制で安全に制御され、人やモノの移動に境界がなくなった世界初の新しいモビリティ社会「愛知モデル」を実現するとともに、次世代モビリティ産業の集積、自動車・航空宇宙産業などの既存産業との融合を図り、「令和の殖産興業」として、次世代モビリティの基幹産業化を推進する。

このため、革新的ビジネスモデルの国内外への横展開による「需要の創出」、産業拠点としての機能を強化する「供給力の強化」の2つの柱を立てて、相互に循環させることで、次世代モビリティにより物流や人流、災害対策といった社会課題を解決するとともに、新しいモビリティ社会・基幹産業化を実現していく。

2025年9月には、「第4回ドローンサミット」を愛知県で開催し、自治体間の連携強化を通じた次世代空モビリティの社会実装の加速化を図るとともに、「次世代空モビリティの基幹産業化」に向けて、既存産業からの新規参入を促す好機とする。

また、同時開催される日本最大規模の国際的な航空宇宙産業に関する商談会「エアロマート名古屋2025」と連携することで、空モビリティの関係者が一同に集い、より効果的に新規事業者の参入を促すとともに、新たなビジネスマッチングの機会を創出する。



## (6) あいちスポーツイノベーションプロジェクト（2024年度～）

STATION Ai のオープン、愛知国際アリーナ（IGアリーナ）開業、アジア・アジアパラ競技大会を始めとする国際スポーツ大会の開催などを起爆剤として、産学官等の連携により、スポーツ分野のイノベーションを推進し、革新的な事業・新サービスの創出や県内外への展開に取り組むことで、スポーツの成長産業化及びスポーツを通じた地域活性化を図る。

2024年6月にプロジェクトの推進母体として設立した「あいちスポーツイノベーションコンソーシアム<sup>アイシア</sup>AiSIA」において、①スポーツ産業をささえる人材の育成、②アスリート・スポーツチームの価値向上、③スポーツと他産業の融合という3つの取組の柱を設定し、スポーツ分野のイノベーションを創出に取り組んでいく。



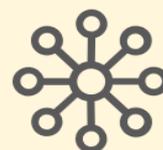
**【柱①】**  
スポーツ産業をささえる  
人材の育成

マネジメント人材の育成、  
スポーツ産業の高度化を  
担う人材の育成 など



**【柱②】**  
アスリート・スポーツチーム  
の価値向上

スポーツ事業の  
高付加価値化、  
スポーツのブランド化 など



**【柱③】**  
スポーツと他産業の融合

オープンイノベーションを  
通じた他産業の  
高付加価値化、  
スポーツを通じた  
地域課題の解決 など

## 第7項 今後の展開

### (1) STATION Ai プロジェクトの推進に向けて

「STATION Ai プロジェクト」は本戦略の中でも、基幹となるものである。本プロジェクトのコンセプトは、国内外のスタートアップ・エコシステムのネットワークが、STATION Ai をクロスポイントとして融合し、世界に類例のない世界と地域が交わるあいちスタートアップ・エコシステムを形成しようとするものである。

前述した「愛知県・STATION Ai のスタートアップ支援事業」と「海外スタートアップ支援機関・大学との連携事業」により、国内外のネットワークを形成し、これらを STATION Ai が核となって有機的に結びつけることで、スタートアップの創出・育成・展開を図るとともに、国内外から優れたスタートアップや優秀な人材を本県に呼び込み、本県のモノづくり産業との連携・融合を図るなど、本県が国際的なイノベーション創出拠点として発展していくよう全力を挙げていく。

### (2) 更なる海外連携の推進に向けて

愛知県では、海外のスタートアップ機関や大学等と連携したイノベーション創出の取組を積極的に進めており、これまで複数の国や地域の機関等と MOU を締結し、スタートアップの育成や海外市場への展開支援等の取組を着実に実施してきた。

さらに、新たな国・地域との連携や人材交流等、海外スタートアップ支援機関との連携促進や STATION Ai の開業に向けた海外への情報発信、イノベーションの創出に係るグローバル展開への支援を強化・充実していくため、2023年4月に「海外連携推進課」を設置した。本課が中心となり、連携を進める9カ国22の支援機関・大学との更なる連携強化を進めていく。

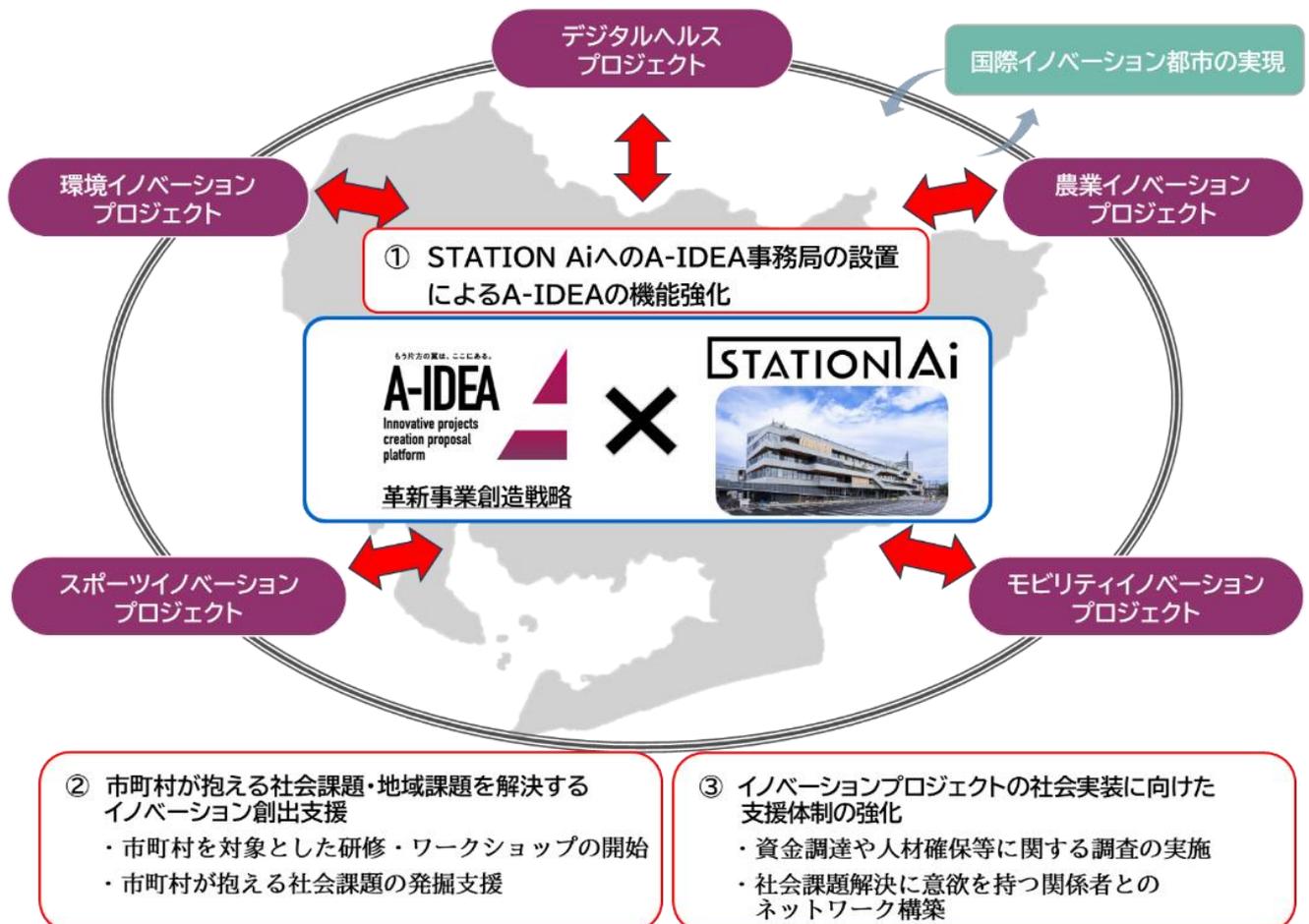
こうした取組を通じ、スタートアップを起爆剤としたイノベーションの創出を一層加速させ、世界に冠たる国際イノベーション都市を目指していく。

### (3) ソーシャルイノベーションの創出に向けて

前述の「ソーシャルイノベーション創出」に向けた取組（P52 参照）をさらに発展・強化させるため、2024年10月の STATION Ai のオープンを絶好の機会と捉え、次の3つの取組を積極的に展開していく。

- ① 産学官金の多様な主体からイノベーション創出に向けた提案を受け付けるために、Web上に構築した「革新事業創造提案プラットフォーム（A-IDEA）」に加え、STATION Ai内にリアルな拠点として「A-IDEA事務局」を設置し、産学官金のオープンイノベーションによるソーシャルイノベーションの創出を支援していく。
- ② 民間提案を起点として、市町村が抱える社会課題・地域課題を解決するイノベーションの創出を支援する取組を実施することにより、この地域が一丸となったイノベーションの創出を支援していく。
- ③ イノベーションプロジェクトや革新事業創造事業費補助金などにより支援したプロジェクトから創出されるソリューション・サービスの社会実装を、資金調達や人材確保の面を中心として継続的に支援する体制を強化していく。

また、現在推進している「農業」、「デジタルヘルス」、「環境」、「モビリティ」及び「スポーツ」の5つのテーマ別イノベーションプロジェクトに加え、他の重点政策分野（P52参照）においても革新的な事業を創造し、絶え間ないイノベーションの創出を目指して全力を挙げて挑戦していく。



# 第3章

## 愛知県内のスタートアップ個別事業

### 第1項 個別事業の展開の考え方

個別事業の展開について、第1章で導き出された戦略の5つの展開方向について、ドメイン、戦略目標の達成の観点、及び関係機関のヒアリング調査結果などから、以下のとおり改めて整理した。

展開施策	オープンイノベーション推進による現行産業の付加価値創造	スタートアップのグロースによる新産業の創出・育成	革新事業の創造による社会課題の解決と地域の活性化	事業承継・第二創業等を機会とする新ビジネス展開の促進	グローバル・エコシステム形成の推進
内容(性質) ※ 展開方向共通	(1) ヒト 人事管理・労務支援、組織開発支援、人材発掘・育成支援、採用支援、外国人創業支援  (2) モノ・ハード オフィススペースの提供、スタートアップ・エコシステム形成(拠点形成)  (3) 資金 アカウンティング(会計)、ファイナンス  (4) 情報・ノウハウ 新市場・新顧客開発モデル支援、アクセラレート、事業会社との融合(オープンイノベーション)、海外スタートアップ支援機関・大学との連携、海外展開支援、誘致推進、スタートアップ認知度向上、情報発信、研究開発支援				

### 第2項 施策の展開方向

#### (1) オープンイノベーション推進による現行産業の付加価値創造 〔愛知県〕

##### ○ A2(Aichi-Austin) Innovation Kick-Start Program

###### 【施策の対象 (Who/Target)】

- ・海外展開を目指すスタートアップ
- ・スタートアップ支援機関 (アクセラレーター、インキュベーター等)

###### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

###### <背景・課題>

スタートアップの成長支援、スタートアップ支援機関の能力向上

###### <Needs>

スタートアップ成長支援やスタートアップ支援機関の能力向上が必要。

〈取組〉

- ・北米展開ハンズオン支援プログラム  
6 か月間のメンタリングにより事業・ピッチ内容をブラッシュアップ、米国内外のビジネスパートナーの探索・提携支援を実施。
- ・スタートアップ支援機関向けワークショップ  
オースティンのスタートアップ・エコシステムの知見を当地に導入するため、県内の支援機関等を対象としたワークショップを実施。
- ・SXSW 出展支援  
2025 年 3 月にテキサス州オースティンで開催される、世界最大級の複合イベント SXSW への、県内スタートアップの出展を支援。
- ・起業家派遣  
愛知県内の起業家等を 1 週間程度テキサス大学オースティン校へ派遣し、現地企業や投資家等とのネットワーキングや現地のエコシステムを体感する機会を提供。

○ **あいちグローバルスタートアップ・エコシステム推進事業**

【施策の対象 (Who/Target)】

愛知県の産業特性を踏まえた事業領域 (GX、マニユファクチャリング、ヘルスケア等) のスタートアップ、海外スタートアップとの連携を希望する県内事業会社

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

スタートアップの成長支援、スタートアップ支援機関の能力向上

〈Needs〉

スタートアップ、県内事業会社

〈取組〉

(1) グローバルシードアクセラレータープログラム

海外展開を見据え、国内外の専門家によるビジネスプランの磨き上げ、県内事業会社等とのオープンイノベーション機会の探索を実施

(2) グローバルスタートアップマッチングプログラム

海外スタートアップを愛知に誘引し、県内事業会社とのオープンイノベーションを創出するプログラムを実施

○ **愛知県東京事務所、海外産業情報センター（上海、バンコク）、ジェトロ等と連携した情報発信**

【施策の対象 (Who/Target)】

- ・首都圏のスタートアップ
- ・国外：海外のスタートアップ

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

本県の厚い産業集積の更なる集積化や、イノベーションの創出など、本県の競争力を維持・強化するため、首都圏及び海外のスタートアップに対し、本県の投資環境等をPRし、オープンイノベーションを推進する必要がある。

〈Needs〉

本県の投資環境等に関する情報提供。

〈取組〉

東京事務所と連携し、首都圏スタートアップへ本県の支援施策等を情報発信するほか、首都圏のスタートアップに関する情報を入手する。

また、海外産業情報センター（中国・上海、タイ・バンコク）やジェトロ等と連携し、愛知県の情報提供を行うとともに、海外のスタートアップに関する情報を入手する。

## ○ あいち産業科学技術総合センター管理運営事業

【施策の対象（Who/Target）】

県内中堅・中小企業を中心とした企業及び大学等の技術者・研究者。

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

企業・大学等における研究開発や生産現場でさまざまな技術的課題が発生する。

〈Needs〉

技術的課題解決の支援。

〈取組〉

大学の研究シーズを企業の事業化につなげる産・学・行政の連携による共同研究の場の提供や、高度計測分析機器による分析評価など「付加価値の高いモノづくりの継続・拡大」に向けた取組を行う。

## ○ Aichi-Startup 推進ネットワーク会議

【施策の対象（Who/Target）】

スタートアップの全ステークホルダー

（大学、企業、金融機関、支援機関、行政、学識経験者）

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

自動車産業の100年に一度の大変革期、IoT、AIなどのデジタル技術の急伸を伴った地域産業経済構造の歴史的転換。

〈Needs〉

本県が引き続き世界での競争力を維持していくためには、新たなビジネスチャンスを獲得し、柔軟性を持った新しい事業領域への転換が不可欠であるため。

#### 〈取組〉

愛知県のスタートアップ・エコシステムの形成・充実を目指して、関係する大学、企業、金融機関、団体、行政、学識経験者との連携組織として「Aichi-Startup 推進ネットワーク会議」を設置。事務局では、「Aichi-Startup 戦略」のローリングや全体調整、会議の情報を効果的に発信するためのポータルサイトの開設・運営等を行っている。

### ○ イスラエルスタートアップ支援機関連携事業

#### 【施策の対象（Who/Target）】

イスラエルのスタートアップとの協業を希望する県内事業会社

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

県内事業会社のオープンイノベーションの推進

##### 〈Needs〉

県内事業会社のオープンイノベーションの推進が必要。

#### 〈取組〉

- ・オープンイノベーション促進プログラム

Start-UpNationCentral（SNC）と連携して県内事業会社とイスラエルのスタートアップとのオープンイノベーション促進プログラムを実施。

- ・新規事業創造プログラム

イスラエルイノベーション庁（IIA）と連携して県内事業会社とイスラエルのスタートアップの共創による新規事業開発プログラムを実施。

### ○ オープンイノベーション裾野拡大事業

#### 【施策の対象（Who/Target）】

新規事業開発やオープンイノベーションに取り組みたいが、やり方が分からない県内モノづくり中堅・中小企業

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

CASE や MasS による自動車産業の大変革期による産業構造の転換及び事業承継・第二創業を機会とするイノベーション創出の必要性

##### 〈Needs〉

新規事業開発やオープンイノベーションに取り組む県内モノづくり中堅・中小企業の増加及びスタートアップとのオープンイノベーションの相手方となるパートナー企業の裾野を拡大

#### 〈取組〉

自社の既存製品・サービスの横展開による新市場獲得と、オープンイノベーションを活用した新製品・新サービスの開発による事業多角化を支援する実践的なプログラムを提供

## ○ 韓国慶尚南道支援機関連携事業

### 【施策の対象 (Who/Target)】

- ・海外展開を目指すスタートアップ
- ・オープンイノベーションを目指す企業

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### <背景・課題>

スタートアップ支援機関の能力向上、オープンイノベーション促進

#### <Needs>

スタートアップ支援機関の能力向上やスタートアップの成長支援が必要。

#### <取組>

##### (1) 慶尚南道のイベントへの出展支援

慶尚南道で行われるイベントへ県内スタートアップ・企業の参加を促し、企業間交流の支援を実施。

##### (2) 慶尚南道の STATION Ai 訪問受入等

慶尚南道から愛知県へ進出に関心のあるスタートアップ等の STATION Ai 訪問受入を行い、また、当地の展示会への参加を促す。

## ○ 国際ビジネスセミナー

### 【施策の対象 (Who/Target)】

海外へビジネス展開を図るスタートアップ

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### <背景・課題>

公益財団法人あいち産業振興機構及び独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）名古屋貿易情報センターと連携して、海外ビジネスを加速する上での課題や戦略に関するセミナー等を開催する。

#### <Needs>

国内市場の先細りと海外市場の成長に対応する企業ニーズ。

#### <取組>

国際ビジネスセミナーの開催等。

## ○ ジェトロ、INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM、GNI 協議会等のネットワークを活用した相談対応やインセンティブの提供

### 【施策の対象 (Who/Target)】

愛知県への進出を検討する外国企業等

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### <背景・課題>

本県の厚い産業集積の更なる集積化や、イノベーションの創出など、本県の競争力を維持・強化するため、外国企業誘致や海外からの投資を促進する必要がある。

〈Needs〉

本県の投資環境等に関する相談及びインセンティブの提供。

〈取組〉

ジェットロ、INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM、GNI 協議会等のネットワークを活用し、外国企業等への相談対応(当地域の投資環境に関する情報発信)や、インセンティブ(新あいち創造産業立地補助金 C タイプ、ジェットロ IBSC、GNI 立上支援制度)を提供する。

## ○ シンガポール国立大学との連携プログラム

【施策の対象 (Who/Target)】

シンガポールに関心のあるスタートアップ及びスタートアップ支援機関、県内企業等

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

スタートアップ・エコシステムの確立・充実のためには、世界のエコシステム先進地域と連携して、こうした先進地のノウハウの吸収が必要。

〈Needs〉

当地域への海外スタートアップの誘引と当地域のスタートアップの成長促進。

〈取組〉

- ・スマートシティ・スタートアップ連携プログラム：県内事業会社と日本・シンガポールのスタートアップの共創による課題解決に向けたアクセラレータープログラムを実施。
- ・展示会出展プログラム
- ・シンガポール国立大学主催イベントへの県内学生・県内スタートアップの派遣や連携プログラムの実施

## ○ STATION Ai パートナー拠点事業

【施策の対象 (Who/Target)】

スタートアップ・エコシステム形成に取り組む自治体やスタートアップ支援機関等

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

県内全域でのスタートアップ・エコシステムの形成に向けては「STATION Ai」と県内各地域の「STATION Ai パートナー拠点」とが相互に連携・協力することが必要。

〈Needs〉

自治体や支援機関におけるスタートアップ・エコシステムに関する概念理解及び地域や団体の垣根を超えた相互補完の関係性構築にあたっての支援。

〈取組〉

エコシステム形成支援統括マネージャーを配置し、スタートアップ支援に積極的に取り組む地域へのアドバイザー業務や、自治体や支援機関を対象とした、スタートアップ支援の実践機会を提供するプログラム等を実施。

## ○ スペインマドリード州支援機関連携事業

### 【施策の対象（Who/Target）】

- ・スタートアップ支援機関（自治体）
- ・海外展開を目指すスタートアップ

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

スタートアップ支援機関の能力向上、オープンイノベーション促進

#### 〈Needs〉

スタートアップ支援機関の能力向上やスタートアップの成長支援が必要。

#### 〈取組〉

#### （1）マドリード州政府訪問及びスタートアップ関係調査

県職員が現地政府や支援拠点などを訪問し、マドリード州におけるスタートアップ支援状況への理解を深める。また、現地スタートアップの愛知県への進出等に関するニーズの把握を行う。さらに、現地に進出している日系（愛知県）企業にもヒアリングを行い、現地でビジネスを行う際の課題等を確認する。

#### （2）マドリード州からのミッション団受け入れ

マドリード州から愛知県に関心のあるスタートアップ等のミッション団の受入を行う。STATION Ai等の施設見学や海外向けのイベントへの参加、入居説明等を行う。

## ○ 知の拠点あいち重点研究プロジェクト

### 【施策の対象（Who/Target）】

新技術の開発や実用化を目指す企業、大学など。

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

本県を取り巻く社会経済情勢に応じて、最新の技術課題に対する研究開発が必要。

#### 〈Needs〉

愛知県発の革新的イノベーションによる愛知県の産業発展、脱炭素社会の実現に加え、日本や世界レベルで、今後あるべき産業、技術、社会の実現に貢献できることが期待されている。

#### 〈取組〉

最新の社会情勢を織り込みつつ、愛知県の地域産業が抱える技術的課題の解決を図るため、大学等の研究シーズを活用し、新技術の開発・実用化や新産業の創出を促進することを目的に、産学行政が連携して研究開発に取り組む。

## ○ 中国支援機関連携事業

### 【施策の対象（Who/Target）】

中国展開を目指す県内スタートアップ及び中国スタートアップとの協業を希望する県内事業会社

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

海外スタートアップ・事業会社とのオープンイノベーション

〈Needs〉

中国との間でのオープンイノベーションの促進。

〈取組〉

#### ・中国展開ハンズオン支援

Tus等の専門家によるメンタリング、中国ビジネスパートナー向けピッチイベント、個別マッチング、現地訪問プログラムなどを通じて、県内スタートアップの中国展開を支援する。

#### ・マッチングイベント

Tusが選定する中国スタートアップと県内事業会社とのマッチングイベントを開催する。

#### ・展示会出展プログラム

上海で開催される展示会に、県内スタートアップと上海交通大学発スタートアップが共同出展する。

#### ・学生交流・創業支援

浙江大学と県内大学の大学生・大学院生等との学生交流を通じ、グローバルに活躍できる起業家を養成するプログラムを実施。

## ○ ディープテック推進事業

### 【施策の対象（Who/Target）】

ディープテック系スタートアップ及び所属する大学・研究機関等、事業パートナーとなる企業、金融機関、VC等

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

諸外国では破壊的イノベーションの事例が多数存在し、経済成長のエンジンとなっているが、日本では事例が減少しているため、破壊的イノベーションによる既存市場の転換、新規市場創出が不可欠。

〈Needs〉

カーボンニュートラル、Society5.0産業や暮らしの大きな転換を伴う社会的要請への技術による対応。

〈取組〉

・ディレクター、サポーター等によるディープテック系スタートアップへの総合支援（アクセラレーション）を実施

・ディープテック関係者が必要とする情報等をWebページ及びSNSで発信し、コミュニティを形成等

## ○ ドイツ NRW 州支援機関連携事業

### 【施策の対象 (Who/Target)】

- ・スタートアップ支援機関（自治体）
- ・海外展開を目指すスタートアップ

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

スタートアップ支援機関の能力向上、オープンイノベーション促進。

#### 〈Needs〉

スタートアップ支援機関の能力向上やスタートアップの成長支援が必要。

#### 〈取組〉

#### (1) NRW 州政府訪問及びスタートアップ関係調査

県職員が現地政府や支援拠点などを訪問し、NRW 州におけるスタートアップ支援状況への理解を深める。また、現地スタートアップの愛知県への進出等に関するニーズの把握を行う。さらに、現地に進出している日系（愛知県）企業にもヒアリングを行い、現地でビジネスを行う際の課題等を確認する。

#### (2) NRW 州からのミッション団受け入れ

NRW 州から愛知県に関心のあるスタートアップ等のミッション団の受入を行う。STATION Ai 等の施設見学や海外向けのイベントへの参加、入居説明等を行う。

## ○ フランススタートアップ支援機関連携事業（愛知県インバウンドツアー）

### 【施策の対象 (Who/Target)】

愛知県での事業展開を目指すフランススタートアップ、フランスでの事業展開を希望する愛知県のスタートアップ

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

愛知県のスタートアップ・エコシステムのグローバル化を促進する。

#### 〈Needs〉

今後、相互の国・地域での事業展開を促進するため、相互のスタートアップ・エコシステムについて理解を深める。

#### 〈取組〉

フランスのスタートアップ・支援機関が支援するスタートアップのうち、愛知県での事業展開を検討しているスタートアップを対象に、愛知県のスタートアップ・エコシステム関係機関の訪問や、県内事業会社との面談を行う約1週間のツアーを実施。

## ○ フランススタートアップ支援機関連携事業（INSEAD Innovation Program for Aichi）

### 【施策の対象（Who/Target）】

行政関係者、スタートアップ、県内企業、大学関係者など、広くスタートアップ・エコシステムに関連する方。

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

スタートアップ・エコシステムの確立・充実のために、スタートアップの先進地の有する知見を取り入れる必要がある。

#### 〈Needs〉

フランスの先進的なスタートアップの知見を広く共有することで、地域全体のスタートアップ・エコシステムの形成を促進。

#### 〈取組〉

世界トップクラスのMBAスクールによる①大企業の新規事業開発担当者向けオープンイノベーションについての講座、②中堅・中小企業向け新規事業についての講座の2つを実施。

## ○ フランススタートアップ支援機関連携事業（フランスエコシステムツアー）

### 【施策の対象（Who/Target）】

愛知県での事業展開を目指すフランススタートアップ、フランスでの事業展開を希望する愛知県のスタートアップ

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

愛知県のスタートアップ・エコシステムのグローバル化を促進する。

#### 〈Needs〉

今後、相互の国・地域での事業展開を促進するため、相互のスタートアップ・エコシステムについて理解を深める。

#### 〈取組〉

フランスでの事業展開を検討している愛知県のスタートアップを対象に、フランスのスタートアップ・エコシステム関係機関の訪問や、現地の事業会社との面談を行う約1週間のツアーを実施。

## ○ フランススタートアップ支援機関連携事業（STATION F 連携事業）

### 【施策の対象（Who/Target）】

スタートアップ支援機関

（県内の企業、大学、スタートアップ支援機関、行政機関等）

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

スタートアップ支援機関の能力向上、スタートアップの成長支援

〈Needs〉

スタートアップ支援機関の能力向上やスタートアップの成長支援が必要。

〈取組〉

- ・アドバイザープログラムを提供

STATIONAi の運営の参考に資する STATIONF のノウハウを共有するためのアドバイザープログラムを実施。

- ・STATIONF が主催・参画するイベントや展示会へのスタートアップの派遣

## ○ ポルトガル支援機関連携事業

【施策の対象 (Who/Target)】

- ・スタートアップ支援機関 (自治体)
- ・海外展開を目指すスタートアップ

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

スタートアップ支援機関の能力向上、スタートアップの成長支援

〈Needs〉

スタートアップ支援機関の能力向上やスタートアップの成長支援が必要。

〈取組〉

- (1) ポルトガル政府訪問及びスタートアップ関係調査

県職員が現地政府や支援拠点などを訪問し、ポルトガルにおけるスタートアップ支援状況への理解を深める。また、現地スタートアップの愛知県への進出等に関するニーズの把握を行う。さらに、現地に進出している日系 (愛知県) 企業にもヒアリングを行い、現地でビジネスを行う際の課題等を確認する。

- (2) ポルトガルからのミッション団受け入れ

ポルトガルから愛知県に関心のあるスタートアップ等のミッション団の受入を行う。STATION Ai 等の施設見学や海外向けのイベントへの参加、入居説明等を行う。

## 〔公益財団法人あいち産業振興機構〕

### ○ 創業を支援するセミナー・相談事業

【施策の対象 (Who/Target)】

これから創業される方または創業後間もない企業。

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

自身が持つプランで創業が可能かわからないなど創業に必要な知識ノウハウを保有していない創業希望者へ実践的な支援の必要がある。

〈Needs〉

創業に必要な知識・ノウハウや悩みに対する総合的支援

〈取組〉

- ・あいち創業ゼミを始めとするセミナー開催による知識習得支援。
- ・創業支援専門家による相談業務を実施。

## 【株式会社サイエンス・クリエイト】

### ○ 豊橋サイエンスコア

#### 【施策の対象（Who/Target）】

新たな事業の創出に取り組むベンチャー企業、中小企業等

- ・スタートアップ及びスタートアップを目指す人
- ・大学との共同研究や、高度技術の開発・利用をすることにより、新製品の開発や新分野への展開を図ろうとする企業など
- ・新規事業、新製品開発等をはじめめる個人事業主または企業
- ・コロナ禍に対応し、サテライトオフィスやWEB専用会議用を利用したい企業などスタートアップ及びスタートアップを目指す人
- ・新規事業、新製品開発等をはじめめる個人事業主または企業

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

東三河地方の地域産業育成支援のため、産学官金連携・農工商連携等の拠点形成が必要であるため。

##### 〈Needs〉

東三河地方でスタートアップとして起業を希望する者、新たな事業の創出に取り組む中小企業等に対する支援。

##### 〈取組〉

リサーチコアとして東海地域ではじめて認可された、東三河地方の地域産業育成支援のための拠点施設「豊橋サイエンスコア」。チャレンジオフィスや研究開発オフィス、SOHO オフィス、インキュベータオフィスなどの貸オフィスのほか、多目的ホールやOA研修室などの貸会議室、ウェブ会議用の貸室などもある。

また、施設内に起業支援拠点「Startup Garage」、ものづくり支援拠点「メイカーズ・ラボとよはし」もあり、多角的な支援が受けられるのが特徴。

### ○ 東三河スタートアップ推進協議会の運営

#### 【施策の対象（Who/Target）】

- ・革新的なビジネスモデルを用いて急成長を目指す企業及びその創業者
- ・その候補者であって、企業内起業家、第二創業者及び地域課題を起業により解決しようとする人

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

スタートアップ・エコシステムの形成にあたり、地域が一体となって支援できる体制の構築が必要。

〈Needs〉

起業家コミュニティの形成、支援機関の連携、情報発信の強化など

〈取組〉

- ・ 起業、新規事業体験の機会を提供 (Higashi Mikawa Uppers)
- ・ スタートアップと共創するための勉強会やピッチイベントの実施
- ・ 地域内における実証実験の誘致、支援
- ・ 大学等の研究シーズを活用した新事業の創出に向けた支援
- ・ 共創促進に向けた情報の可視化、発信の強化

## 〔一宮商工会議所〕

### ○ 地域企業とスタートアップとのオープンイノベーション、ビジネスマッチング支援

【施策の対象 (Who/Target)】

- ・ 課題解決を求める地域企業
- ・ 課題解決につながるビジネスを展開するスタートアップ

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

地域課題を解決するビジネスモデルを形成して新たな市場を作るスタートアップの力により、地域経済の発展を目指す。

〈Needs〉

地域企業の課題解決

〈取組〉

尾張エリア8商工会議所（一宮・瀬戸・津島・春日井・稲沢・江南・小牧・犬山）との連携。

多くの会員企業を持つ経済団体の特色を背景に、尾張地域全体（会員数：約20,000事業所）の持続的な成長を推進する。

## 〔大府商工会議所〕

### ○ スタートアップと市内企業の協業支援事業

【施策の対象 (Who/Target)】

新しいビジネスアイデアを持つ起業後間もない方やこれからスタートアップ起業をめざす方、スタートアップとの協業を考える市内事業者

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈取組〉

スタートアップの創出や育成及びスタートアップとの協業による新事業の展開を促進するためのセミナーやマッチング事業を実施する。

## 〔蒲郡商工会議所〕

### ○ オープンイノベーション推進事業

#### 【施策の対象（Who/Target）】

起業希望者、事業者

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

オフィススペースの多様化、交流機会の創出。

〈Needs〉

特定の場所にとらわれない働き方、新たな人脈形成。

〈取組〉

コワーキングスペースの提供、スタートアップとの交流機会の創出、スタートアップと地域企業との連携支援

## 〔中部経済産業局〕

### ○ 成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）

#### 【施策の対象（Who/Target）】

- ・スタートアップ
- ・スタートアップとの連携希望者／スタートアップ以外の企業
- ・大学／研究機関

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

ものづくり中小企業の成長・発展においては、市場ニーズを踏まえた、より高度な技術開発、サービス開発等を通じた新事業の創出・拡大が重要。

〈Needs〉

スタートアップ含む中小企業等が、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けた研究開発及びその事業化に向けた取組にかかる費用補助。

〈取組〉

スタートアップ含む中小企業等が、大学・公設試等と連携して行う研究開発や試作品・サービス開発、販路開拓などの取組を支援。

※ J-Startup 及び J-Startup CENTRAL については、審査時における加点措置あり。

### ○ Meet up Chubu

#### 【施策の対象（Who/Target）】

事業会社やスタートアップ、大学等研究機関など、共同研究や新事業展開等に向けた連携パートナーを探索する者。

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

カーボンニュートラルやDX、自動車の電動化への対応など社会構造が大きく変革する中、産学官の力を総動員し、多様な次世代産業の創出に取り組み、地域における産業競争力の維持・強化を図ることが重要。

#### 〈Needs〉

技術シーズや技術課題、連携ニーズなどをピッチイベント等により情報発信。また、産学官金の関係者による各種支援を通じ、連携プロジェクトの創出・加速化を図るオープンイノベーションプラットフォーム。

#### 〈取組〉

「Meet up Chubu」WEBサイトを通じて登壇者を随時募集し、登壇者のリクエスト等によりテーマを設定。毎月第2・第4木曜日に、会場とのハイブリッドもしくはオンラインでイベントを開催。また、登壇者のニーズに基づいた、連携パートナー候補を発掘し、イベント参加を促すことでマッチング率を向上。更に、プラットフォーム上で生まれた連携プロジェクトに対して各種支援を実施。

### 【愛知県雇用労働相談センター】

#### ○ ベンチャー企業やグローバル企業の労務面からの支援

##### 【施策の対象（Who/Target）】

愛知県でご活躍あるいは愛知県での活動を検討している企業であれば対象。愛知県での活動を支援。

##### 【施策の内容（What/Needs・How）】

###### 〈背景・課題〉

愛知県が国家戦略特区に選定され、愛知県が次世代の産業の担い手を育てるためにご利用できる組織となっている。

###### 〈Needs〉

愛知県内で次世代産業の担い手としてベンチャー企業や愛知県内で活躍するグローバル企業の労務面からの支援、そのものが目的になっており、その相談がKPIになっている。

###### 〈取組〉

弁護士、社会保険労務士を9:00～20:30常駐し、相談を受け付け、セミナーやサービス内容を紹介している。

### 【独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部】

#### ○ J-GoodTech（ジェグテック）

##### 【施策の対象（Who/Target）】

以下のような課題を抱えているスタートアップ等の方  
・新たな取引先を見つけたい

- ・共同研究先を探したい
- ・新しい市場に進出したい

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

スタートアップが大きく成長する過程で直面する様々な課題を乗り越えるために、国内中小企業、大手企業、海外政府機関が推薦する海外企業等との連携を支援

##### 〈Needs〉

共同開発、新市場、新分野、海外での事業展開

##### 〈取組〉

サイト内で自社の取組みとニーズを発信、中小機構のアドバイザーがマッチングをサポート。

### 【独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）】

#### ○ 実証事業（パイロットプロジェクト支援）による支援

##### 【施策の対象（Who/Target）】

ASEAN 等で、デジタル技術（DX）を活用した海外企業との協業・連携を希望する日本企業

##### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

海外企業との協業・連携により、日本企業のデジタル技術活用を推進する必要がある。

##### 〈Needs〉

ASEAN、インド、イスラエル等で、デジタル技術を活用した海外企業との協業・連携を模索する日本企業を支援。

##### 〈取組〉

ASEAN 企業・機関と連携し、デジタル技術等のイノベーションを駆使しながら、日 ASEAN の経済・社会課題解決を目指す取り組みを支援。オンラインを活用したセミナー、マッチング、ハッカソン等を実施。実証事業（パイロットプロジェクト支援）への支援。DX 関連ニュース&関連施策の案内送付等。

#### ○ J-Bridge（連携・協業のためのビジネスプラットフォーム）

##### 【施策の対象（Who/Target）】

海外企業とのアライアンス（業務提携・技術提携・出資・合弁事業設立等）や M&A によりビジネス開発や新規事業創出等を目指す日本企業、大学、研究機関

##### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

海外の最先端技術/サービスの情報とその企業とのマッチングの必要性。

〈Needs〉

ASEAN、インド、イスラエル等で、デジタル技術を活用した海外企業との協業・連携を模索する日本企業を支援。

〈取組〉

ビジネスプラットフォームにて、海外企業向けに自社製品の情報を掲載し、随時面談依頼が来る形に。ジェトロが仲介し、海外有望企業情報掲載企業と日本企業の面談アレンジを実施。

個別の協業・連携ニーズに応じた海外スタートアップ等の発掘・マッチング支援を提供。

また、セミナーやイベント等関連情報の定期的な発信を行い、海外の最新情報を提供。その他、コーチングプログラムなども提供。

## 〔一般社団法人愛知県情報サービス産業協会（AiA）〕

### ○ ビジネス交流委員会活動

【施策の対象（Who/Target）】

スタートアップ、スタートアップとの連携希望者／スタートアップ以外の企業

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈取組〉

スタートアップの意向を把握した上で可能な範囲で必要な支援を検討

## 〔名古屋市〕

### ○ イノベーション拠点を核とした共創促進事業

【施策の対象（Who/Target）】

スタートアップ、オープンイノベーションに取り組む既存企業等

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

チャレンジする志を持ったイノベーターの集積を図る環境の構築が求められている。

〈Needs〉

- ・新しいことに挑戦する人が常に実証できる場やイノベーション施設間の連携が必要。
- ・オープンイノベーションを目指す企業（スタートアップ、事業会社等）からマッチング機会の提供とマッチング後の事業開発に係る支援を求める声がある。

〈取組〉

イノベーションを実現する人材が育ち・集い、進化し続ける都市を目指すため、イノベーション拠点を核として、都心地区での民間プログラムを支援するほか、実証・共創・交流の場を提供

① 民間プログラムへの支援

都心地区で実施する起業家向けプログラム等への補助を行い、特色ある民間プログラムの集積を図る

② 実証・交流の場の提供

先進技術等の体験・展示のほか、イノベーション拠点等においてイノベーター等が交流するイベントを開催

③ スタートアップと事業会社との共創促進

当地域におけるスタートアップと事業会社等の共創を促進するため、マッチング及び伴走支援を実施するとともに共創促進イベントを開催

## ○ スタートアップ等まちなか実証推進事業

### 【施策の対象 (Who/Target)】

民間フィールドにおける実証ニーズのあるスタートアップ等

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

まちなかにおいて社会実証が活発に行われる「世界の実証実験都市なごや」を目指す。

#### 〈Needs〉

- ・スタートアップ等の民間フィールドにおける実証ニーズ
- ・民間フィールドの社会課題解決ニーズ

#### 〈取組〉

##### (1) 社会実証のマッチング

まちなかにある複合施設や複数の店舗等による民間フィールドの社会課題と先進技術を有するスタートアップ企業等による解決策の提案とのマッチングを実施

##### (2) 社会実証プロジェクトの実施

実証プロジェクトを組成し、マネジメントや実証経費の支援等を実施することにより、民間フィールドにおける社会実証を推進

##### (3) 報告会の開催等

各プロジェクトについて、実証結果を取りまとめ、報告会や情報発信を実施。

## ○ スタートアップブランド形成事業

### 【施策の対象 (Who/Target)】

起業家、企業の新規事業担当者、VCやCVC等投資家、インキュベーター、アクセラレーター、学生、行政や大学関係者など

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

名古屋市のスタートアップ・エコシステムに関するブランド形成が図られていない。

#### 〈Needs〉

スタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」として多様な人材によるコミュニティの形成と発信を図る。

〈取組〉

多様な人材によるコミュニティの形成と発信を図るため、世界的に著名なベンチャー カフェ と連携した起業家等交流プログラム「NAGOYA CONNECT」を実施。

## ○ 先進技術社会実証支援事業

【施策の対象（Who/Target）】

先進技術を有する企業、大学等（スタートアップを含む）

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

先進技術を有する企業等の集積を図る。

〈Needs〉

先進技術の研究開発や社会実装を促進。

〈取組〉

先進技術を有する企業等による社会実証を支援

(1) 課題提示型支援事業

本市が提示する課題の解決を図る社会実証について、行政課題及び社会課題の実証プロジェクトにかかるマネジメントや経費支援等を実施

(2) フィールド活用型支援事業

施設等のフィールドを活用した社会実証について、産学官によるネットワークコミュニティにおいて、先進技術を有する企業の提案とのマッチングや実証に向けたマネジメント等を実施。

## 〔豊橋市〕

## ○ Urban Innovation TOYOHASHI

【施策の対象（Who/Target）】

柔軟な発想と優れた技術を持つ企業・スタートアップ

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

地域の強みを生かしたスタートアップ起業家の支援を行うとともに、本市をフィールドに地域内外の人材の交流を促進することで、エリア・組織を超えてスタートアップ起業家に必要な支援が迅速に届く人的つながりの創出を目指す。

〈Needs〉

行政分野の実証フィールド提供。

〈取組〉

- ・行政課題を解決するアイデアの募集
- ・採択スタートアップと豊橋市職員による約4か月間実証実験の実施

- ・実証実験の活動資金は50万円
- ・実証実験の成果次第で、豊橋市への本格導入を検討

## ○ 共創コミュニティ創出支援事業

### 【施策の対象（Who/Target）】

地域内外のスタートアップ、新規事業創出・スタートアップとの共創に積極的な地域事業者、VC、エンジェル投資家、金融機関、大学研究者、支援機関等。

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

当地域では起業時における主な資金調達手法は、そのほとんどが融資によるもので、スタートアップの成長に求められる投資による資金調達は難しい環境である。

また、地域事業者による新事業創出においては、変化の激しい時代の中で競争力を高めるために、オープンイノベーションを始めとする外連携、共創の考え方を浸透させることが重要である。

#### 〈Needs〉

- ・スタートアップの資金調達支援
- ・スタートアップと事業者による共創の促進

#### 〈取組〉

スタートアップ、地域事業者それぞれに対し、これらを学び実践する場を提供し、成功事例の創出に取り組む。

## ○ TOYOHASHI AGRI MEETUP

### 【施策の対象（Who/Target）】

農業系スタートアップ

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

地域の強みを生かしたスタートアップ起業家の支援を行うとともに、本市をフィールドに地域内外の人材の交流を促進することで、エリア・組織を超えてスタートアップ起業家に必要な支援が迅速に届く人的つながりの創出を目指す。

#### 〈Needs〉

農業分野の実証フィールド提供。

#### 〈取組〉

#### (1) アグリテックコンテストの開催

本市の農業課題の解決策を全国から募集し、賞金総額1,000万円を優秀なアイデアを提案したスタートアップに授与する。

#### (2) 農業者・農業関連企業とスタートアップの共創

受賞したスタートアップと農業者等がタッグを組み、実用化をめざして取り組む実証開発プロジェクトを組成する。

### (3) 実証開発支援

組成された実証開発プロジェクトを推進するため、専門家による伴走支援を実施する。

## ○ 未来産業創出支援事業補助金

### 【施策の対象 (Who/Target)】

スタートアップ、市内外事業者、研究機関

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### <背景・課題>

本市で新技術又は新事業の創出を目指す事業者等が実施する、市場調査や産学連携等による研究開発、製品開発、実証実験等を支援することにより、地域産業に変革をもたらす新技術又は新事業の創出を目指す。

#### <Needs>

市場調査から初期の試作品開発や研究開発、製品開発、実証実験まで各フェーズに応じた支援。

#### <取組>

- ① 事業化可能性調査事業（補助率 1/2、上限 50 万円）  
市内事業者が事業化の成功率を高めるために行う製品やサービスの実現可能性や市場性の調査等を支援
- ② 共同研究支援事業（補助率 1/2、上限 250 万円）  
市内事業者と大学等が共同して行う事業化を目的とした新技術や新製品の研究開発を支援
- ③ 新事業開発支援事業（補助率 1/2、上限 250 万円）  
市内事業者が単独もしくは他事業者と共同して行う新製品や新サービスの開発を支援
- ④ 社会実験支援事業（補助率 1/2、750 万円）  
市内事業者が革新的な技術を用いた製品やサービスの社会実装を目的として行う、地域を巻き込んだ実証実験を支援
- ⑤ 次世代人材育成事業（補助率 10/10、25 万円）  
学生グループが市内を拠点に行う次世代産業人材育成のための活動を支援

## 【岡崎市】

### ○ ものづくり共創支援事業

### 【施策の対象 (Who/Target)】

- ・産業構造の転換に対抗するため、新規事業創出を目指している市内ものづくり企業
- ・ものづくり企業と新たな事業の創出に取り組みたいスタートアップ企業、ベンチャー企業等

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### <背景・課題>

DX や脱炭素、SDG s 等の産業活動を取り巻く環境の変化に対抗するため、ものづくり産業の更なる強靱化や経営安定化を目指し、市内ものづくり事業者が、既存企業(同分野・他分野)はもとより、これまで関わりの無かった分野・企業・技術・人材・知見、あるいは、革新的な技術の市場提供を目指すベンチャー・スタートアップ等との交流による新たな価値を創造・獲得のきっかけとなる環境を創出することが必要であるため。

<Needs>

市内ものづくり事業者のオープンイノベーションや新規事業創出への機運醸成、国内外のスタートアップ、ベンチャー企業との出会いの機会の形成を支援。

<取組>

「おかげさきものづくり OPEN INNOVATION PROGRAM」

(1) 共創人材育成に関するセミナー等の実施

市内ものづくり事業者に対して、オープンイノベーションや新規事業創出への機運を醸成するためのセミナーを実施

(2) 伴走型支援の実施

企業の強み発掘や、新規事業のブラッシュアップ等について、経験豊富なメンターによる伴走型の支援を行う。

(3) 出会いの機会の形成支援の実施

市内ものづくり事業者と国内外のスタートアップ企業やベンチャー企業などが、であう機会を提供する。

## 【春日井市】

### ○ スタートアップ支援事業

#### 【施策の対象 (Who/Target)】

新しいビジネスアイデアを持つ起業後間もない方やこれからスタートアップ起業をめざす方、スタートアップとの協業を考える市内事業者

#### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

<背景・課題>

スタートアップに関する理解を浸透させるため、スタートアップをめざす者及び市内事業者に対し、スタートアップについての知識を学ぶ場やスタートアップとの出会いの場を提供する必要がある。

<Needs>

スタートアップとして起業するための知識やスタートアップとの協業を実現するためのノウハウ習得に対する支援。

<取組>

スタートアップの創出や育成及びスタートアップとの協業による新事業の展開を促進するためのセミナーやマッチング事業を実施する。

## 〔刈谷市〕

### ○ 刈谷イノベーション推進プラットフォーム

#### 【施策の対象（Who/Target）】

- ・市内中小企業
- ・市内外の企業、スタートアップ企業、支援機関等

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

行政機関だけではなく、市域で中小企業振興及びスタートアップ連携促進に主体的に取り組む関係機関の協働による、リソースの相互補完と支援活動の効果的・効率的な実施により、包括的かつ持続可能な支援体制を確立することが必要。

##### 〈Needs〉

自動車関連産業の集積地として、地域産業の構造転換への対応のための中小企業のイノベーション推進には、人材育成や新規事業の創出を促す各種プログラムの実施だけでなく、中小企業が市内外の多様な主体と交流やネットワークキングにより繋がりを作り、刺激を得ることができるような広域的なコミュニティの形成も必要。

##### 〈取組〉

- ① 定例ミーティングの開催プロジェクト
- ② 産業イノベーション推進に向けた連携協力
- ③ スタートアップ連携促進に向けた連携協力
- ④ 西三河オープンイノベーションコミュニティ SNS の開設
- ⑤ 西三河オープンイノベーションコミュニティ機運醸成イベントの開催
- ⑥ STATION Ai との連携取り組み（オフィスアワーの開催）

### ○ 産業イノベーション推進事業

#### 【施策の対象（Who/Target）】

市内中小企業及び企業人材、起業を目指す人、次世代を担う小中高生

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

地域の牽引産業である自動車関連産業が転換期を迎えているとされており、中長期的な観点から地域産業の構造転換への対応を図る必要があると考えた。

##### 〈Needs〉

既存産業の強化、活性化と新たな産業の創出に向けた地域企業のイノベーション創出に向けて、テクノロジー技術教育、アントレプレナーシップの醸成、多様な人材の交流対流を生み出す場の提供、企業の取組推進など、多様なプログラムにおいて推進する。

##### 〈取組〉

地域産業の強化、活性化と新たな産業の創出に向けた地域企業のイノベーション創出に向けて、企業人材や次世代人材の育成プログラムと、多様な人材の交流対流を生み出す場を提供する。

- ① C o D o もの T e c h プロジェクト
- ② 起業家育成支援プロジェクト「NOWかりや」
- ③ 未来創造たまご塾 in かりや
- ④ イノベーション企業化プログラム
- ⑤ コワーキングスペース「IKOMA I D E S K」

## ○ スタートアップ連携促進事業

### 【施策の対象 (Who/Target)】

- ・ 製造業を営む市内に事業所を有する中小企業
- ・ 市内企業の課題解決や事業成長を促すうえで、有効な製品、サービスを有するスタートアップ企業

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

地域産業の構造転換、予測困難な社会変化においても、本市が持続的に成長発展するため、ものづくりを中心とした市内中小企業が自社課題を解決し、事業成長することが不可欠。

#### 〈Needs〉

自社の課題解決や事業成長の手段として、スタートアップ企業の製品やサービスの活用。

#### 〈取組〉

市内中小企業の課題解決や事業成長の手段として、スタートアップ企業との円滑な連携を促進する。

- ① 市内中小企業の課題把握
- ② 市内中小企業のスタートアップ企業に対する理解の促進
- ③ 市内中小企業とスタートアップ企業とのマッチング機会の提供
- ④ 市内中小企業によるスタートアップ企業の製品・サービスのトライアル導入に向けたコーディネートやサポート
- ⑤ 取り組みの成果の共有

## 〔一般社団法人中部圏イノベーション推進機構〕

### ○ Nagoya Innovator's Garage (ナゴヤイノベーターズガレージ)

#### 【施策の対象 (Who/Target)】

- ・ 起業希望者／学生／研究者
- ・ スタートアップ
- ・ スタートアップとの連携希望者／スタートアップ以外の企業
- ・ 大学／研究機関

## 【施策の内容（What/Needs・How）】

### ＜背景・課題＞

世界では新たな産業や価値が生まれ、さまざまな産業構造が変化している中、中部圏の基幹産業である自動車業界も変革を迫られており、このまま放置しておくとも中部圏は衰退の危機にある。中部圏を持続可能な地域にするために、新産業、新規事業、スタートアップ等、イノベーション創出活動が必要。

### ＜Needs＞

オープンイノベーションを促進させ、新規事業やスタートアップを生み出すために、支援プログラムと活動の場が必要。

### ＜取組＞

事業会社のアントレプレナーシップ醸成とオープンイノベーションを推進せるプログラムの提供。

実際に行動するアントレプレナーの裾野拡大のため、アントレプレナーとなるためのプログラムを提供。

## 【ウェルネスバレー推進協議会】

### ○ ウェルネスバレー推進事業

## 【施策の対象（Who/Target）】

「福」「医」「農」「食」分野のスタートアップと当該分野の専門家、行政課題解決につながりそうなスタートアップ等。

## 【施策の内容（What/Needs・How）】

### ＜背景・課題＞

「ここで子どもを育てたい」「ここで暮らしたい」と思える「幸齢社会」をつくりたい。健康長寿に関する研究機関や施設の集積を活かし、更なる集積の活性化による地域経済発展につなげるためウェルネスバレー推進事業を展開。

### ＜Needs＞

健康寿命の延伸には、良質な医療・福祉環境整備が必要。医療介護需要拡大が見込まれる中、医療福祉現場の生産性や入居者のQOL向上は喫緊の課題。

### ＜取組＞

#### 医福工連携マッチング

#### （概要）

医療・福祉機関が抱える現場ニーズ発型と、スタートアップのシーズ発型の2通りのマッチングを年間通じて実施。また、マッチング＞実証＞製品・サービス化までを一気通貫して伴走支援。

#### （スタートアップへのサポート例）

- ① （特に）医療・福祉現場の課題提供
- ② 実証フィールドとの調整・伴走
- ③ 広報PR
- ④ 広域連携ネットワークによる連携支援

(医福工連携マッチング等の事例紹介)

スタートアップや事業会社による事例紹介等を含む地域エコシステム形成・ネットワーク形成を目的としたイベント「Wellness Valley Startup Day」の開催

(今後の方向性)

「農」「食」「美」「カーボンニュートラル」「行政課題解決」等も意識して進めていきたい。

## [Central Japan Startup Ecosystem Consortium]

### ○ J-Startup CENTRAL

#### 【施策の対象 (Who/Target)】

愛知県内及び浜松地域関連のスタートアップ

#### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

##### <背景・課題>

- ・グローバルに活躍するスタートアップを創出するために、経済産業省が中心となって2018年6月に立ち上げたプログラムの地域版である。
- ・地域に根差した有望スタートアップを選定し、公的機関と民間企業が連携して集中支援を提供することで、選定企業の飛躍的な成長を図る。

##### <Needs>

国が、「超スマート社会=Society5.0 (イコールソサエティ 5.0)」を早期に実現することを目的に、内閣府に設置された「統合イノベーション戦略推進会議」において、スタートアップ・エコシステム拠点の形成とその支援のあり方の検討を行っている。

##### <取組>

グローバル拠点都市としての具体的な取組として、当地域の前途有望なスタートアップを強力に支援するプロジェクト「J-Startup CENTRAL」を2020年11月に始動。その支援対象として、愛知県及び浜松市内に本社があり、ビジョン、先進性・独創性、優位性、成長性、国際性に優れたスタートアップ44社を選定し、集中的な支援を実施。

#### ○ 支援内容

- ・J-Startup 全国版との連携
- ・ウェブサイト等での優先的・積極的プロモーション
- ・行政・支援機関等によるビジネスマッチング
- ・「J-Startup CENTRAL」ロゴの使用等

---

## (2) スタートアップのグロースによる新産業の創出・育成

### 〔愛知県〕

- A2(Aichi-Austin) Innovation Kick-Start Program (再掲 : P59)
- あいちグローバルスタートアップ・エコシステム推進事業 (再掲 : P60)
- Aichi-Startup 推進ネットワーク会議 (再掲 : P61)

### ○ あいちスタートアップ制度融資

#### 【施策の対象 (Who/Target)】

県が行うスタートアップ支援事業による支援を受けた者

#### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

##### 〈背景・課題〉

スタートアップの資金調達。

##### 〈Needs〉

有利な資金調達手段の提供。

##### 〈取組〉

県が行うスタートアップ支援事業による支援を受けた者は、「経済環境適応資金創業等支援資金」の金利を0.3%優遇。

### ○ あいちスタートアップ創業支援事業費補助金 (起業支援金)

#### 【施策の対象 (Who/Target)】

県内において起業、事業承継又は第二創業する者

#### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

##### 〈背景・課題〉

起業、事業承継又は第二創業の際に、資金が重要な課題になるため。

##### 〈Needs〉

起業、事業承継又は第二創業に必要な経費の支給、及び経営面に対する伴走支援

##### 〈取組〉

愛知発のスタートアップ創出を促進するため、ITや新しい技術等を活用して、起業する方や事業承継・第二創業される方に対して、上限200万円(補助率1/2)を補助するとともに、経営面に対する伴走支援を行い、事業の成長をバックアップする。

### ○ あいちスタートアップビザ

#### 【施策の対象 (Who/Target)】

愛知県内で創業を希望する外国人

#### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

愛知県内における外国人による創業活動を促進する。

#### 〈Needs〉

外国人創業人材の受入れに係る出入国管理及び難民認定法の基準を6か月～2年間緩和し、創業準備活動を円滑に行えるようにする。

#### 〈取組〉

- ① 愛知県が、外国人创业者の創業活動に係る事業の計画が適正かつ確実であること等の確認を行うことで、在留資格「経営・管理」の要件を満たすまで6か月間の猶予を与える。
- ② IT分野等の事業の場合は、在留資格「特定活動」による起業も可能。  
(在留資格「経営・管理」の要件を最長2年間猶予する。)

### ○ エンジェル税制

#### 【施策の対象 (Who/Target)】

新たな事業に取り組む起業家及び投資家

#### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

新たな事業に取り組む創業期(10年目まで)の優良企業に対し、個人投資家の投資を促し、企業を金融面から支援

#### 〈Needs〉

個人投資家が創業期の企業に投資しやすい環境をつくる

#### 〈取組〉

新たな事業に取り組む企業がエンジェル税制(個人投資家の税控除)優遇措置の対象企業であることを認定し、併せて経済産業省のHPで広く公表することにより、個人投資家の投資促進と企業への円滑な資金調達を支援する。

### ○ 学生向け起業家育成プログラム

#### 【施策の対象 (Who/Target)】

国内外の大学院、大学、高校、高等専門学校、専門学校に在学中の方

#### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

愛知県内での起業・新規事業開発人材の発掘・育成。

#### 〈Needs〉

起業家創出によるイノベーションの促進。

#### 〈取組〉

「起業を当たり前選択肢に」をテーマに掲げ、学生を対象に事業開発や仮説検証の講座、メンタリング、先輩起業家講演、ピッチコンテスト等を提供する1.5か月間のプログラム「STAPS」を実施。

他、単日のセミナーやアイデアソンも実施し、起業家人材の裾野拡大を目指す。

## ○ 韓国慶尚南道支援機関連携事業（再掲：P63）

## ○ 国内スタートアップ誘致 PR

### 【施策の対象（Who/Target）】

スタートアップを含む首都圏を始めとした県外企業

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

本県の厚い産業集積の更なる集積化により本県の競争力を維持・強化するため、県内での新規立地・事業拡大を促進する必要がある。

#### 〈Needs〉

当地域の立地環境の魅力紹介。

#### 〈取組〉

スタートアップを含む首都圏及び関西圏の企業へ愛知県の立地環境の魅力、インセンティブ等をセミナーで紹介する。

## ○ 社会人向け起業家育成プログラム

### 【施策の対象（Who/Target）】

国内の社会人

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

愛知県内での起業・新規事業開発人材の発掘・育成

#### 〈Needs〉

起業家創出によるイノベーションの促進

#### 〈取組〉

社会人の起業（兼業・副業含む）人材の裾野拡大を目指す。Lecture・Study・Workshopの3種類のプログラムで段階を踏んでもらうことにより、起業家や新規事業人材を育成する。

また、参加者によるコミュニティを作成し、メンタリングや各種情報提供、イベント等での交流を実施している。

## ○ 小中高生起業家精神育成事業

### 【施策の対象（Who/Target）】

小学生、中学生、高校生・高専生・専修学校高等課程生

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

継続的なイノベーション創出の土壌を形成していくために、新たな価値を創造する人材を若年層の段階から発掘・育成していくことが必要である。

#### 〈Needs〉

起業家など有識者から小中高生への起業家教育の重要性、起業に対する行政の支援を求める声がある。

## 〈取組〉

小中高生を対象とした起業家精神育成プログラムを実施する。

(具体的な内容)

### ① 高校向け出張授業

県内の高校向けに起業を始めとした多様なキャリアを知り、起業家精神の重要性を理解することを目的とした起業家等による出張授業を実施する。

ア 対象：県内の高校・高等専門学校

イ 実施規模：20校程度

ウ 主なプログラム内容：起業家等の講演、双方向の対話等

### ② 小中学生向け起業家精神育成プログラム

小中学生が起業をより身近に感じられる体験プログラムを実施する。小中学生がゲーム教材やワークショップ等のプログラムを通じて、新しい価値を創造する力を育み、他者と協働しながら自分の考えを持って課題解決に取り組む人材を育成する。

ア 対象者：主に小学校4年生～中学3年生

イ 実施規模：小学生300人、中学生100人

ウ 主なプログラム内容：模擬会社設立ワークショップ、起業家等の講演等

### ③ 高校生・高専生等向け起業家精神育成プログラム（基礎編）

起業の実例を学びながら、起業への関心を促すプログラムを実施する。

ア 対象者：主に高校生・高専生

イ 実施規模：60人

ウ 主なプログラム内容：起業の実例紹介、ビジネスアイデアの立案等

### ④ 高校生・高専生等向け起業家精神育成プログラム（応用編）

ビジネスプランコンテスト参加等へつながるよう、ビジネスアイデアをブラッシュアップし、最終日にプレゼンテーションを行う。

ア 対象者：主に高校生・高専生

イ 実施規模：20人

ウ 主なプログラム内容：ビジネスアイデアの立案・掘り下げ、プレゼンテーション演習・最終発表等

## ○ 新あいち創造研究開発補助金

### 【施策の対象（Who/Target）】

大企業、中堅企業、中小企業（事業協同組合等を含む）及び市町村

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

愛知県における付加価値の高いモノづくりの維持・拡大。

#### 〈Needs〉

研究開発・実証実験の資金的支援。

#### 〈取組〉

次世代自動車、航空宇宙、ロボットなど、今後の成長が見込まれる分野において、企業等が県内で実施する研究開発や実証実験を支援。

#### 〈補助率〉

大企業 1/3 以内、中堅企業及び市町村 1/2 以内、  
中小企業 2/3 以内

#### 〈補助限度額〉

デジタル(AI)・カーボンニュートラル枠、一般枠、実証実験 1 億円  
スタートアップ・トライアル枠 1,000 万円

※ スタートアップ・トライアル枠の対象者は、過去に本補助金の採択実績がない中小企業又は原則創業 10 年未満の中小企業に限る。

### ○ 新あいち創造産業立地補助金 (C タイプ)

#### 【施策の対象 (Who/Target)】

県内へ新たに進出し拠点 (オフィス) を設置するソフト系 IT 企業 (STATION Ai 会員企業を除く)、事業拡大のソフト系 IT 企業及び STATION Ai からの転出スタートアップ企業

#### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

##### 〈背景・課題〉

デジタル技術の進化と産業界始め社会経済におけるその活用の加速化 (AI、IoT、CASE、MaaS、DX 等) により、IT 関連企業に対するニーズが拡大している。一方で、本県は首都圏に比べてソフト系 IT 関連企業の集積度が低い。

##### 〈Needs〉

県内に新たに進出し拠点 (オフィス) を設置するソフト系 IT 企業 (STATION Ai 会員企業を除く)、県内で事業拡大するソフト系 IT 企業及び STATION Ai からの転出スタートアップに対して必要な経費の一部を助成

##### 〈取組〉

本県におけるソフト系 IT 関連企業の集積を高め、デジタル技術を活用した本県産業の高度化・競争力強化、社会経済各分野における ICT の社会実装の促進を図る。

### ○ シンガポール国立大学との連携プログラム (再掲 : P64)

### ○ 水素・アンモニアの社会実装の推進事業

#### 【施策の対象 (Who/Target)】

水素・アンモニアの社会実装に向けた研究や新技術の創造を行う事業及び事業者

#### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

##### 〈背景・課題〉

中部圏における水素・アンモニアの社会実装に向けたサプライチェーンの構築。

<Needs>

水素・アンモニアの脱炭素エネルギーの活用による経済の成長とカーボンニュートラルの推進。

<取組>

水素及びアンモニアの利活用促進及び社会実装に向けたサプライチェーン構築に向けた普及啓発・情報発信事業等の実施。

## ○ スタートアップコンテスト開催事業 (AICHI STARTUP BATTLE)

【施策の対象 (Who/Target)】

起業開始前から創業5年目までのプロダクトを有するスタートアップ

【施策の内容 (What/Needs・How)】

<背景・課題>

世界に類例のないスタートアップ・エコシステムを形成するために、スタートアップの担い手となる起業家の創出やユニコーンとなりうる優秀なスタートアップの育成・誘致が必要。

<Needs>

初期段階のスタートアップに対する知見・資金両面での円滑なサポート。

<取組>

起業に関する一定のノウハウを有し、起業確度が高い者を対象として、知見・資金の両面でサポートするアクセラレーションプログラム付きのビジネスプランコンテストを開催

## ○ スタートアップコンテスト開催事業 (AICHI NEXT UNICORN LEAGUE)

【施策の対象 (Who/Target)】

起業開始前から創業5年目までのプロダクトを有するスタートアップ

【施策の内容 (What/Needs・How)】

<背景・課題>

世界に類例のないスタートアップ・エコシステムを形成するために、スタートアップの担い手となる起業家の創出やユニコーンとなりうる優秀なスタートアップの育成・誘致が必要。

<Needs>

初期段階のスタートアップに対する知見・資金両面での円滑なサポート。

<取組>

創業初期でプロダクトを有するスタートアップ等を対象に、ピッチコンテストを開催し、極めて優れたビジネスプランを有し、成長見込みの高いスタートアップに対して事業推進に必要な資金を提供。

## ○ スタートアップ採用支援事業

### 【施策の対象（Who/Target）】

スタートアップで働きたい社会人や学生、フリーランスの人材及び人材を募集するスタートアップ

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

財務基盤や人的資本が脆弱なスタートアップは、人的・物的リソースの投入ができず、優秀な人材へのアプローチが難しい。一方で、スタートアップへの就労希望者も、創業間もないスタートアップの参照情報の収集は難しく、自らの希望に合ったスタートアップを見つけることは困難である。

#### 〈Needs〉

スタートアップと就労希望者の人材マッチング

#### 〈取組〉

スタートアップに特化した就職イベントの開催を通じて、スタートアップでの就労希望者を発掘・プールし、人材マッチングに繋げる事業を実施

## ○ スタートアップ・ダイバーシティ推進事業

### 【施策の対象（Who/Target）】

起業を考えている者、愛知県に本社を設置又は予定、愛知県での事業展開または予定するスタートアップ、大学等の研究機関、スタートアップに関心のある学生

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

現状 STATION Ai の女性起業家比率は約 10%、海外起業家比率は約 6%に留まるなど、多様な人材がスタートアップ・エコシステムに集積しているとは言えない状況にあると考えている。

#### 〈Needs〉

多様な価値観や経験を有する人材を集積し、事業化を促すコミュニティの形成

ダイバーシティに関する 3 つのテーマと各テーマの KPI を設定し、プログラムを自由提案させる。女性起業家、起業に繋がる研究シーズを有する研究者、学生)

## ○ スペインマドリッド州支援機関連携事業（再掲：P65）

## ○ 知の拠点あいち重点研究プロジェクト（再掲：P65）

## ○ 中国支援機関連携事業（再掲：P66）

## ○ ディープテック推進事業（再掲：P66）

- ドイツ NRW 州支援機関連携事業（再掲：P67）
- フランススタートアップ支援機関連携事業（STATION F 連携事業）（再掲：P68）
- ポルトガル支援機関連携事業（再掲：P69）

〔愛知県信用保証協会〕

○ 創業チャレンジを促す様々な取組

【施策の対象（Who/Target）】

これから創業される方または創業後間もない事業者。

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

スタートアップは、資金調達が困難な傾向にある。

〈Needs〉

これから創業される方または創業後間もない事業者への資金供給。

〈取組〉

1 創業者向けの保証制度

愛知県経済環境適応資金「創業等支援資金」

- ・固定金利でサポート。
- ・愛知県の行うスタートアップ支援事業による支援を受けた方は、さらに低金利でご利用いただける。
- ・一定の要件を満たし、保証料を上乗せすることで、経営者の個人保証を伴わない「スタートアップ創出促進保証制度」が利用できる。

2 創業後のフォローアップ

本協会を利用して事業を始められた方に対して、創業後の事業の継続と発展を促すことを目的としてフォローアップを実施。

3 「STATION Ai」へ入居

スタートアップや金融機関等からの金融支援や経営支援をはじめとする各種相談、各支援機関との連携を通じて、スタートアップの成長を後押し。

## 〔名古屋市信用保証協会〕

### ○ 創業支援に関する取組み

#### 【施策の対象（Who/Target）】

名古屋市を拠点とする中小企業および小規模事業者の方。または、創業を予定しており、金融機関からの融資による資金調達をお考えの方。

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

これまで事業性の融資を利用したことがない創業予定者や創業間もない事業者は資金調達に際して、融資に必要な信用力が不足している。

##### 〈Needs〉

金融機関から融資による資金調達を行うのに際し、信用保証制度を利用することで保証協会を公的な保証人とし融資を受けられる。

##### 〈取組〉

創業に関する保証制度、窓口相談・電話相談・オンライン相談、創業セミナー、相談会の開催、経営診断

## 〔株式会社サイエンス・クリエイト〕

### ○ 宇宙ビジネス相談デスク「宙（ソラ）サポ」

#### 【施策の対象（Who/Target）】

宇宙ビジネスに関する創業や新事業創出を目指す方

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

宇宙ビジネスを始めたい方の相談先がない。

##### 〈Needs〉

宇宙ビジネス全般に対する相談支援。

##### 〈取組〉

相談窓口の開設。

### ○ Startup Garage

#### 【施策の対象（Who/Target）】

スタートアップ及びスタートアップを目指す人、個人事業主、企業内起業家、学生、主婦など

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

スタートアップ・エコシステムの形成にあたり、起業をする人、目指す人の絶対数が必要

##### 〈Needs〉

起業までの一連の支援、起業後の伴走支援。

#### 〈取組〉

- ・相談対応  
起業に関わる相談。専門士業への橋渡し
- ・スタッフによるイベント開催（約60回/年）  
専門性を活かしたセミナー
- ・外部講師イベント開催（10回/年程度）  
起業体験談の講演や事業紹介、専門士業によるセミナー
- ・ホームページ、SNSでの情報発信  
起業、ビジネス等に関連するコラム・ブログを掲載
- ・商品化支援  
商品デザインやパッケージなど商品化に向けた支援

### ○ 超異分野学会豊橋フォーラム

#### 【施策の対象（Who/Target）】

東三河内の大学、企業、個人事業主、企業内起業家及び地域外のスタートアップ、研究機関等

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

地域内の大学と企業等との共同研究から、事業化に繋がる件数が伸びていない。

##### 〈Needs〉

マッチング及びそこで生まれたプロジェクトを伴走支援。

##### 〈取組〉

地域内の研究シーズと地元企業、地域外スタートアップや研究者等を集めフォーラムを開催。マッチングしたプロジェクトにおける事業仮説の検証や実証実験を支援。

### ○ 豊橋サイエンスコア（再掲：P70）

### ○ 東三河スタートアップ推進協議会の運営（再掲：P70）

### ○ 東三河ビジネスプランコンテスト

#### 【施策の対象（Who/Target）】

東三河在住または東三河で起業予定の方

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

アイデアを持つ方々が気軽に発表できる場がない。

##### 〈Needs〉

コンテストを開催し、その後も継続的に起業や資金調達、販路開拓、広報などを支援。

〈取組〉

- ・アイデア部門／一般事業部門の2部門で新規ビジネスプランを募集し、応募プランの中から賞を決定するコンテスト。
- ・応募前から起業支援施設「Startup Garage」などで支援を行い、コンテスト後も継続的に起業や資金調達、販路開拓、広報などを支援することで、単発のコンテストに留めず、地域の起業の機運醸成に寄与。
- ・2001年スタートの老舗コンテストで、令和3年度は21回目。

## ○ メーカーズ・ラボとよはし

【施策の対象（Who/Target）】

学生（大学・専門学生・高校生以下）、個人、研究室、法人

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

新規事業、新製品開発等をはじめるときに、試作品等を気軽に製作する場所がない

〈Needs〉

最新のデジタル工作機械を活用した試作品開発等の支援。

〈取組〉

- ・オープンラボ（1回/月）  
データの作成から機材の利用までスタッフがサポート。
- ・ものづくり講座（1回/月）  
テーマの中から好きなものを選んで、オリジナルのデザインに仕上げる。
- ・ジュエリー講座（1回/月）  
3Dプリンターでオリジナルのジュエリーアクセサリを作成。
- ・ロボティクス広場（7回/年）  
小学生にロボットやプログラミングを身近に感じてもらう場。
- ・技術相談（随時）  
企業や大学、個人の試作や研究開発における専門的な相談対応

## 〔中部ニュービジネス協議会・名古屋商工会議所〕

## ○ CNBベンチャー大賞

【施策の対象（Who/Target）】

ニュービジネスにチャレンジしている企業

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

地域のベンチャー・スタートアップやニュービジネス企業を支援し、育成する。

〈Needs〉

同上。

〈取組〉

革新的な新しい事業に挑戦しているベンチャー企業及び既存企業によるニュービジネスについて、事業の成長性や社会への貢献度などを踏まえて表彰を行う。

## 【中部経済産業局】

### ○ GIRAFFES JAPAN

#### 【施策の対象（Who/Target）】

- ・ 起業希望者／学生／研究者
- ・ スタートアップ
- ・ スタートアップ支援機関

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

イノベーションの担い手として不可欠なスタートアップの起業家に占める女性起業家比率の低さ（新規上場企業に占める女性社長比率は2%）

##### 〈Needs〉

産業支援機関、金融機関や地域の中核企業等、地域において女性起業家を支援する機関をつなぐネットワークを構築し、「面」で女性起業家を支援することが非常に重要。

##### 〈取組〉

各地で女性起業家のロールモデルの輩出及び各地域における支援機関の育成を行うために、ネットワーキングイベント、起業家へのメンタリング、ビジネスプラン発表会等の各種支援プログラムを実施し、女性起業家を総合的に支援。

### ○ 成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）（再掲：P72）

### ○ 知財アクセラレーションプログラム（IPAS）

#### 【施策の対象（Who/Target）】

スタートアップ

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

スタートアップは、様々な事情から、知財戦略がないままビジネスを進め、技術・アイデアの流出などに繋がり、競争力を失うケースが多い。

##### 〈Needs〉

個別課題に対応する知識、スキルを持つビジネス専門家や知財専門家による支援。

##### 〈取組〉

ビジネス専門家（ベンチャーキャピタル、コンサル等）と、知財専門家（弁理士、弁護士等）から成る知財メンタリングチームをスタートアップに派遣し、

スタートアップの事業戦略に連動した知財戦略の構築を支援するアクセラレーションプログラム。

※ J-Startup 及び J-Startup CENTRAL については、審査時における加点措置あり。

## 〔総務省東海総合通信局〕

### ○ ICTスタートアップリーグ

#### 【施策の対象 (Who/Target)】

「スタートアップ創出型萌芽的研究開発支援事業」に採択された起業又は事業拡大を目指す個人、グループ又はスタートアップ。

#### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

##### 〈背景・課題〉

「スタートアップ育成5か年計画」（令和4年11月28日新しい資本主義実現会議決定）の取組みの一環として、ICTの研究開発を伴うスタートアップの創出・育成の推進。

##### 〈Needs〉

先端的なICTの創出・活用によるICT分野における次世代の産業を育成。

##### 〈取組〉

ICTに関する研究開発に対して研究開発費の支援。

### ○ スタートアップ創出型萌芽的研究開発支援事業

#### 【施策の対象 (Who/Target)】

起業又は事業拡大を目指す個人、グループ又はスタートアップ。

#### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

##### 〈背景・課題〉

「スタートアップ育成5か年計画」（令和4年11月28日新しい資本主義実現会議決定）の取組みの一環として、ICTの研究開発を伴うスタートアップの創出・育成の推進。

##### 〈Needs〉

先端的なICTの創出・活用によるICT分野における次世代の産業を育成。

##### 〈取組〉

ICTに関する研究開発に対して研究開発費の支援。

## 〔愛知県雇用労働相談センター〕

### ○ ベンチャー企業やグローバル企業の労務面からの支援（再掲：P73）

## 〔独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部〕

### ○ クリエイション・コア名古屋

#### 【施策の対象（Who/Target）】

高度技術の開発又は利用をすることにより、新製品の開発又は新分野への進出を図ろうとする企業（個人も可）

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

ベンチャー、中小企業等の育成・支援を行い、新事業・新産業の創出を図り、地域産業の活性化を目指すことを目的とする。

##### 〈Needs〉

新技術・新製品の研究開発を行い、新分野等への事業展開を図ろうとする企業を、施設と経営の両面から支援。

##### 〈取組〉

施設に常駐するインキュベーションマネージャーが、入居企業と日常的に対話しながら、入居企業の成長段階に応じて様々なサポートを実施（ビジネスプラン作成、大学等との連携、研究開発、販路開拓等）

名古屋市からの賃料補助があり（最大で30%。ただし要件あり）、起業時における初期投資コストを抑えたビジネスの展開が可能である。

名古屋市の産業政策である産・学・官連携の研究開発拠点「なごやサイエンスパーク」内に立地し、産業技術総合研究所中部センター、名古屋産業振興公社など、各機関との連携が可能。ものづくりに適し、様々なステージに対応した居室（52㎡～256㎡）を用意。

### ○ スタートアップ挑戦支援事業

#### 【施策の対象（Who/Target）】

以下のようなお悩みを抱えているスタートアップ・起業予定の方のご相談に対応

- ・経営課題への助言を受けられる外部人材が周囲にいない。
- ・プロダクト・サービスの実証や拡大のために必要な連携プレイヤーへのアプローチ手段がない。
- ・資金調達先を探すためのリレーションがない。
- ・研究開発起点での事業創出を目指しているが、ビジネスのナレッジが不足している。
- ・資本政策を含め、事業計画を見直したい。

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

スタートアップが大きく成長する過程で直面する様々な課題を乗り越えるために、アドバイザーがご相談に対応。

##### 〈Needs〉

戦略立案、事業計画、資金調達、資本政策等のご相談に対応。

〈取組〉

スタートアップや起業予定の方が抱える戦略立案・事業計画・資金調達・資本政策等の様々な課題に対するご相談に対応。

## ○ 名古屋医工連携インキュベータ

【施策の対象 (Who/Target)】

医工連携・ライフサイエンス分野で、大学の研究成果あるいは大学との共同研究・技術指導等により、新規事業を行おうとする企業（個人も可）

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

大学が有する医工連携・ライフサイエンス分野の研究シーズ等を活用した大学発ベンチャー、中小企業等の育成を行い、新事業・新産業の創出を図り、地域産業の活性化を目指す。

〈Needs〉

大学の研究シーズ等を活用した医工連携・ライフサイエンス関連ビジネスの育成を、施設と経営の両面から支援。

〈取組〉

施設に常駐するインキュベーションマネージャーが、入居企業と日常的に対話しながら、入居企業の成長段階に応じて様々なサポートを実施（ビジネスプラン作成、大学等との連携、研究開発、販路開拓等）

名古屋市からの賃料補助があり（最大で30%。ただし要件あり）、起業時における初期投資コストを抑えたビジネスの展開が可能である。

名古屋市の都心部に近く、ライフサイエンス・医工連携分野に対応可能なウエットラボ（実験室）を中心とした賃貸施設。（バイオセーフティレベル2（BSL2）が可能）

## ○ 浜松イノベーションキューブ

【施策の対象 (Who/Target)】

高度技術の開発又は利用をすることにより、新製品の開発又は新分野への進出を図ろうとする企業（個人も可）

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

ベンチャー、中小企業等の育成・支援を行い、新事業・新産業の創出を図り、地域産業の活性化を目指すことを目的とする。

〈Needs〉

新技術・新製品の研究開発を行い、新分野等への事業展開を図ろうとする企業を、施設と経営の両面から支援。

〈取組〉

施設に常駐するインキュベーションマネージャーが、入居企業と日常的に対話しながら、入居企業の成長段階に応じて様々なサポートを実施（ビジネスプラン作成、大学等との連携、研究開発、販路開拓等）

浜松市からの賃料補助があり（要件あり）、起業時における初期投資コストを抑えたビジネスの展開が可能である。

製品開発に最適な実験室タイプや IT 企業などに適した研究室タイプを用意。

## ○ FASTAR

### 【施策の対象（Who/Target）】

グローバル規模での社会課題解決や、成長産業の変革を目指している一方、下記のような悩みを抱えているスタートアップまたは起業予定の個人

- ・ 経営課題への助言を受けられる外部人材が周囲にいない
- ・ プロダクト・サービスの実証や拡大のために必要な連携プレイヤーへのアプローチ手段がない
- ・ 資金調達先を探すためのリレーションがない
- ・ 研究開発起点での事業創出を目指しているが、ビジネスのナレッジが不足している
- ・ 資本政策を含め、事業計画を見直したい。

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

スタートアップの事業モデル成長に向け、自社内では揃えきれない専門的なスキルや経験を持つ人材が伴走支援。

#### 〈Needs〉

事業計画のブラッシュアップや VC からの資金調達等を求めているスタートアップを支援。

#### 〈取組〉

専門家（専任パートナー）による約 1 年間の伴走支援型メンタリングによって、事業計画をブラッシュアップし、VC からの資金調達や大企業との事業提携に向けたマッチングを促進することで、スタートアップの成長加速化をサポート。

## 【名古屋中小企業投資育成株式会社】

## ○ 成長期待型投資

### 【施策の対象（Who/Target）】

愛知県が推進するスタートアップ支援事業の対象者

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### 〈背景・課題〉

スタートアップは事業が軌道に乗るまでキャッシュアウトが続くため、ファイナンス面での支援が必要。

#### 〈Needs〉

新規発行株式等の引受によるファイナンス面での支援。

#### 〈取組〉

中小企業投資育成株式会社法に基づき設立された中小企業の自己資本の充実を支援する政策実施機関である名古屋中小企業投資育成株式会社が、成長期待型投資制度などを活用し、発行する株式の引受けを行う。

## 【独立行政法人国際協力機構（JICA）】

### ○ 中小企業 SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）

#### 【施策の対象（Who/Target）】

途上国への海外進出を目指す日系スタートアップを含む、民間企業等

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

民間企業は様々な分野で優れた製品・技術を有しており、開発途上国の社会的・経済的課題の解決に貢献する可能性を持っている。2015年国連総会において採択された、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）では、貧困からの脱却と持続可能な開発を実現するため、あらゆる関係者の連携が重視され、民間企業の技術やアイデアによる貢献が期待されており、開発途上国で多様なビジネスチャンスが拡大していくものと考えられる。

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」は、開発途上国の課題解決に貢献する本邦民間企業等のビジネスづくりを支援する。

##### 〈取組〉

海外展開を視野に入れているスタートアップを含む民間企業に対し、以下の支援を行っています。

- ・「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」の説明会開催
- ・「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」の応募に向けた個別相談の実施。

## 【独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）】

### ○ 海外テックイベントへのスタートアップ参加支援

#### 【施策の対象（Who/Target）】

海外テックイベントを通してPR、海外事業展開を実施したい日系スタートアップ。

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

日系スタートアップの海外ネットワーク構築や認知度向上が必要。

##### 〈Needs〉

海外展開を希望するスタートアップ。

##### 〈取組〉

世界各国のテックイベントに、JAPAN パビリオンを設置し出展機会を提供。出展支援だけでなく、英語ピッチトレーニングや事業戦略へのメンタリング、メディア対策等を通じて日系スタートアップの海外ネットワーク構築をサポート。

主な展示会は、CES（米・ラスベガス）や、VIVA TECHNOLOGY（仏・パリ）、GITECC Expand North Star（アラブ首長国連邦・ドバイ）等。

## ○ 起業家等の海外派遣プログラム-J-StarX-

### 【施策の対象（Who/Target）】

新規事業の創造を目指す起業家、企業イノベーション人材、学生等を海外に派遣する。

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### <背景・課題>

世界で勝てるスタートアップを創出するためには、海外のイノベーション拠点・人材とのネットワークが必要である。

#### <Needs>

海外展開を希望する起業家、学生、企業イノベーション人材。

#### <取組>

世界各国、各分野、スタートアップのステージに合わせた形で合計約 30 の起業家派遣プログラムを実施。グローバルな起業マインドセットの醸成に資するプログラムや、海外の専門機関や専門家からメンタリングを受けるもの、実践的に海外展開を取り組むものなど複数のコースを提供している。

## ○ グローバル・アクセラレーション・ハブ（GAH）

### 【施策の対象（Who/Target）】

海外進出あるいは海外での資金調達を目指す日系スタートアップ

### 【施策の内容（What/Needs・How）】

#### <背景・課題>

海外進出あるいは海外での資金調達を目指す日系スタートアップに対して、総合的な支援が必要である。

#### <Needs>

グローバル展開を希望する日系スタートアップに対する支援。

#### <取組>

以下サービスを無料で提供。

- ①現地ブリーフィングサービス
- ②メンタリング（事業機会・資金調達等）
- ③現地パートナー候補・VC等の紹介
- ④コワーキングスペースの利用

## ○ Global Startup Acceleration Program (GSAP)

### 【施策の対象 (Who/Target)】

海外進出あるいは海外での資金調達を目指す日系スタートアップ

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

海外進出あるいは海外での資金調達を目指す日系スタートアップに対して、総合的な支援が必要である。海外専門家からメンタリングを受ける機会は少ない。

#### 〈Needs〉

グローバル展開を希望する日系スタートアップに対する支援。

#### 〈取組〉

全5コースあり、参加企業は、無料でサービスを受けられる。各コース別に海外の専門家から事業構想策定、プロモーション活動に係る支援等を受け、海外投資家等に対する Demo Day や現地エコシステム視察を通じ、海外市場展開、ネットワークの構築等を目指す。

## 【名古屋市】

## ○ IT・AI活用起業体験プログラム（小中高生起業家人材育成事業）

### 【施策の対象 (Who/Target)】

名古屋市内在住の中学生・高校生

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

イノベーション創出のために、新たな価値を創造する人材を若年層の段階から発掘・育成していく必要がある

#### 〈Needs〉

本市の起業への意識の低さに対する課題認識により、独自に実施するもの。

#### 〈取組〉

小学生を対象に、それぞれの成長段階や関心に応じた各種起業家人材育成プログラムを実施するもの。

## ○ 起業家教育授業（小中高生起業家人材育成事業）

### 【施策の対象 (Who/Target)】

名古屋市立学校に在学の小学生・中学生

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

イノベーション創出のために、新たな価値を創造する人材を若年層の段階から発掘・育成していく必要がある。

#### 〈Needs〉

本市の起業への意識の低さに対する課題認識により、独自に実施するもの。

〈取組〉

小学生・中学生を対象に、それぞれの成長段階や関心に応じた各種起業家人材育成プログラムを実施するもの。

## ○ 起業家入門プログラム（小中高生起業家人材育成事業）

【施策の対象（Who/Target）】

名古屋市内在住または在学の小学生4年生～6年生等

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

イノベーション創出のために、新たな価値を創造する人材を若年層の段階から発掘・育成していく必要がある。

〈Needs〉

本市の起業への意識の低さに対する課題認識により、独自に実施するもの。

〈取組〉

小学生を対象に、それぞれの成長段階や関心に応じた各種起業家人材育成プログラムを実施するもの。

## ○ スタートアップ企業支援補助金

【施策の対象（Who/Target）】

[通常枠]

市内で新たに創業する方もしくは創業後5年以内の市内中小企業者

[J-Startup 枠]

J-Startup プログラムまたは J-Startup CENTRAL プログラムに選定されている企業のうち、市内に本店を有する企業

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

創業期の課題のひとつである資金調達に対応する必要があるため。

〈Needs〉

資金調達への支援。

〈取組〉

[通常枠]

市内で新たに創業する方や創業5年以内の市内中小企業者に対して、創業時等に必要な経費の一部を助成。

- ・ 補助対象経費：店舗等借入費、設備費、人件費、専門家に支払う経費など、創業時等に必要な経費
- ・ 補助率：補助対象経費の1／3以内
- ・ 補助限度額：100万円

[J-Startup 枠]

J-Startup プログラムまたは J-Startup CENTRAL プログラムに選定されている企業のうち、市内に本店を有する企業に対して、人材確保、販路開拓などに係る経費を助成。

- ・ 補助率：補助対象経費の 1 / 2 以内
- ・ 補助限度額：500 万円

## ○ スタートアップ等販路開拓支援補助金

【施策の対象 (Who/Target)】

名古屋市内に本社機能を置くスタートアップ企業等

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

市内のスタートアップ企業等の成長を促進するとともに、市内に本社機能を置くスタートアップ企業等の市外への流出抑制を図るため。

〈Needs〉

市内のスタートアップ企業等が事業拡大を目的に東京 23 区内に新たに拠点を設ける際の経費に対する助成。

〈取組〉

市内に本社機能を置くスタートアップ企業等の事業拡大を支援するため、東京 23 区内における新たな拠点開設に要する経費の一部を補助する。

## ○ スタートアップ等まちなか実証推進事業（再掲：P76）

## ○ スタートアップブランド形成事業（再掲：P76）

## ○ ディーププログラム（小中高生起業家人材育成事業）

【施策の対象 (Who/Target)】

名古屋市内在住又は在学の高校生

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

イノベーション創出のために、新たな価値を創造する人材を若年層の段階から発掘・育成していく必要がある

〈Needs〉

本市の起業への意識の低さに対する課題認識により、独自に実施するもの。

〈取組〉

高校生を対象に、それぞれの成長段階や関心に応じた各種起業家人材育成プログラムを実施するもの。

## 〔豊橋市〕

### ○ Urban Innovation TOYOHASHI（再掲：P77）

### ○ 共創コミュニティ創出支援事業（再掲：P78）

### ○ スタートアップチャレンジ交付金

#### 【施策の対象（Who/Target）】

豊橋市で事業創出を目指す地域内外のスタートアップ

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

地域産業活性化のため、豊橋市で事業創出を目指すスタートアップ創出を促進する必要がある。

##### 〈Needs〉

資金調達。

##### 〈取組〉

優秀なビジネスプランをもつ地域内外のスタートアップに対し事業創出に必要な資金を支援する。【交付額：1件あたり上限250万円】

### ○ TOYOHASHI AGRI MEET UP（再掲：P78）

### ○ 未来産業創出支援事業補助金（再掲：P79）

## 〔豊田市〕

### ○ モノづくり創造拠点 SENTAN

#### 【施策の対象（Who/Target）】

これから起業を目指す方から、すでにスタートアップとして事業活動を拡大されている方まで、幅広く支援

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

スタートアップや、起業・創業を志す人たちの中には、事業活動を行う場所が確保できず、悩んでいる方が数多く存在する。

##### 〈Needs〉

事業活動を行う場所、試作品を製作できる環境。

##### 〈取組〉

モノづくり創造拠点 SENTAN に登録した企業・団体に対し、オフィススペースや、各種工作機械を利用できる環境を提供する。

## 〔西尾市〕

### ○ ビジネスプランコンテスト運営事業

#### 【施策の対象（Who/Target）】

地域課題を解決する具体的なアイデア・サービス等を持つ起業家・スタートアップ・起業を志すもの、高校生、商工会議所・商工会、金融機関 等

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

西尾市は、うなぎや抹茶という農水産物資源や離島、歴史文化等の観光資源が豊富にあるものの、3次産業の付加価値創出が低迷している。経済基盤としては、自動車産業を中心とした製造業に成長をしてきているが、EV化へのシフトにより大きく影響が出ることが想定されている。

そこで、西尾市の持つポテンシャルとスタートアップの持つリソースを掛け合わせる事で、ローカルからイノベーションを起こして、地域経済成長の起爆剤としていきたい。

##### 〈Needs〉

地域のリソースを活用して、課題を解決するためのアイデアやリソース。

##### 〈取組〉

（一般部門）募集テーマに応じた課題解決に繋がるビジネスプランを募集。サポーター（支援団体や金融機関）や市内事業者の協力を得て、ビジネスプランをブラッシュアップし、市内での事業創出を目指す。

（高校生部門）西尾市の活性化や課題解決に繋がるビジネスプランを募集。ワークショップの開催や市内事業者の協力を得て、ビジネスプランをブラッシュアップする。

（ビジネスプランコンテストの開催）各部門のビジネスプランを競うコンテストを開催することで、起業・創業の機運醸成や、地域経済の活性化を図る。

## 〔瀬戸市〕

### ○ IT・スタートアップ支援

#### 【施策の対象（Who/Target）】

スタートアップ

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

スタートアップが拠点を構える際の初期費用が高い。

##### 〈Needs〉

高齢化や廃業による空き家、空き工場、低コストで初期プラントを立ち上げたい。

##### 〈取組〉

・IT・スタートアップが瀬戸市に進出する際のオフィス賃料の一部を補助

- ・人材育成等を目的とした研修費用の一部を補助。

## 〔稲沢市〕

### ○ スタートアップいなざわ

#### 【施策の対象（Who/Target）】

- ・稲沢市で事業を営もうとする方
- ・すでに創業した方

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈取組〉

創業前の不安なことや、すでに事業を始められている方のお悩みごとなどを無料でご相談いただける相談窓口を開設。

## 〔Tongali（主幹機関：名古屋大学、協働機関：26 大学）〕

### ○ 大学発新産業創出基金事業

#### スタートアップ・エコシステム共創プログラム GAP ファンドプログラム

#### 【施策の対象（Who/Target）】

- ・Tongali-X 参画 15 大学を対象に、GAP ファンドプログラムを実施

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

研究開発型ベンチャーの創出は、社会的インパクトが大きい一方で資金面・人材面に多くのリソースを要する。

その壁を取り払うべく、主体となるプレーヤーに対し、研究開発費（GAP ファンド）の適切な配賦、起業ノウハウの学習機会等を提供することにより、ベンチャー創出の機会向上を目指す

##### 〈Needs〉

起業の準備を整えるための、試作・ビジネスモデル検討・ノウハウ機会を得たい。

##### 〈取組〉

採択者には研究開発費（GAP ファンド）の適切な配賦、起業ノウハウ等の学習、ビジネスモデルのブラッシュアップ、想定顧客訪問サポート、個別メンタリング等の支援を実施。

### ○ Tongali アイデアピッチコンテスト

#### 【施策の対象（Who/Target）】

大学生、大学院生、ポストドクター・中学生・高校生

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

Tongali プロジェクトの2つのコンテストのうち、入門レベルの学生を対象としたコンテスト。

〈Needs〉

学生向けのビジネスアイデアコンテストが少ない東海地域で、学生の活躍の機会を提供する

〈取組〉

学生を対象として、自らが温めているアイデアや解決したい課題などを発表し、実現を目指すマインドの醸成を目的としたコンテストを開催。審査員より評価されたチームには活動支援金を支給し、アイデアの実現をサポート。

## ○ Tongali イノベーターズチャンネル

【施策の対象 (Who/Target)】

どなたでも参加可能

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

COVID19の影響でオンラインウェビナーが増えたため、Tongaliでも気軽に参加できるオンライン番組を配信する。

〈Needs〉

Tongaliの内容を気軽に知りたいというニーズにこたえる。

〈取組〉

『Tongali イノベーターズチャンネル』（通称：Tチャン）は、起業やイノベーションに興味を持つ学生の皆さんを主な対象とした双方向のオンライン・ライブイベント。スタートアップ企業の動向や重要トピックス、キーパーソンのオピニオンなど、幅広いジャンルを扱う。

イベントにはどなたでも参加いただける。ウェブ会議システム Zoom を利用するので、ご自宅からお気軽にご参加ください。

## ○ Tongali イノベーターズチャンネル海外編

【施策の対象 (Who/Target)】

どなたでも参加可、特に大学生・大学院生

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

COVID19の影響でオンラインウェビナーが増えたため、Tongaliでも気軽に参加できるオンライン番組を配信する。

〈Needs〉

海外スタートアップについて知りたいというニーズにこたえる。

〈取組〉

起業やイノベーションに興味を持つ学生を主な対象とし、国際的な話題を扱う。

## ○ Tongali スクール

### 【施策の対象 (Who/Target)】

大学生・大学院生・ポストドクター・中学生・高校生

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

起業家教育に対する興味やニーズのレベルが個々人で異なるため、どのステージからでも参加が可能

#### 〈Needs〉

学生の起業家教育受講のニーズにこたえるため。

#### 〈取組〉

社会課題解決やアイデア創出・アイデア実現をテーマに掲げ、ワークショップを通じて起業に必要なスキルを学びながら、将来の起業家・イノベーションリーダー候補 (Tongali 人材) を育成する。

## ○ Tongali ビジネスプランコンテスト

### 【施策の対象 (Who/Target)】

大学生・大学院生および中高生が代表者で構成されるチームまたは個人。

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

Tongali プロジェクトの2つのコンテストのうち、起業を本気で目指す学生を対象としたコンテスト

#### 〈Needs〉

大学生向けのビジネスコンテストが少ない東海地域で、学生の活躍の機会を提供する

#### 〈取組〉

学生発ベンチャーの創出と起業家育成を目的としたビジネスプランコンテスト。コンテストで選ばれた優秀なビジネスプランは、様々な賞とともに活動支援金を授与。また、メンターによるブラッシュアップを通して、確度の高いビジネスプランに仕上げ、今後のビジネスをサポートする。

## ○ リーン・ローンチパッド名古屋

### 【施策の対象 (Who/Target)】

東海地区の大学の学部生・大学院生

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

既存のビジネスプランをブラッシュアップするために、迅速に仮説検証する手法を提供する。

#### 〈Needs〉

投資家などの前で発表する DEMODAY に向けて、ビジネスプランをさらにブラッシュアップしたい。

〈取組〉

主にビジネスプランコンテスト入賞者を対象にしたシリコンバレー式の仮説検証プログラム。インタビュー調査を通じてアーリーアダプターや MVP を作成し、短期間で仮説検証サイクルを回すことにより、より確度の高いビジネスプランを作っていく。

## 〔名古屋大学〕

### ○ アントレプレナーシップ教育科目の必修化と起業支援

【施策の対象 (Who/Target)】

名古屋大学の学生全員および学内発スタートアップや研究室等

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

名古屋大学におけるイノベーション支援体制

〈Needs〉

ディープテック系スタートアップへの技術支援

〈取組〉

コワーキングスペースの設置および共用設備貸し出し等

### ○ IdeaStoa

【施策の対象 (Who/Target)】

- ・名古屋大学に關係する学生ベンチャー
- ・学生ベンチャーを応援したい企業

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

次世代を担うプレーヤー・アントレプレナーの発掘・育成。

〈Needs〉

学内におけるスタートアップやアントレプレナーとのタッチポイント、ラピッドプロトタイピング。

〈取組〉

新たな挑戦をする学生・研究者を対象に、コワーキング・ファブ・イベントスペースを解放。コミュニケーターが滞在し各プレーヤーと密なコミュニケーションを取りながら、然るべき支援者や情報へ接続している。加えて、「イノベーションの種」となるプロジェクトチームを発掘・支援するオリジナルのインキュベーションプログラムを展開。アカデミアならではの知見と、個々が抱える課題・関心を掛け合わせ、コミュニティハブとして機能しつつ、各種遠隔通信やファブ機器を揃え、取組の情報発信やラピッドプロトタイピングの支援を行っている。

## 〔三重大学〕

### ○ アントレプレナーシップ教育および起業活動支援

#### 【施策の対象（Who/Target）】

- ・三重大学の学生・教職員
- ・三重大学と連携しているスタートアップ企業

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

三重大学における学生・教職員へのアントレプレナーシップ教育および起業活動支援が求められている。

##### 〈Needs〉

- ・産業界と連携したアントレプレナーシップ教育および起業活動支援。
- ・起業家同士やサポーターとのネットワーキングやマッチング。

##### 〈取組〉

Tongali の参画機関として、自学内でのアントレプレナーシップ教育活動（授業、セミナー）や起業支援活動（学生・教職員からの起業相談、学内インキュベーション施設の入居企業への支援）に取り組んでいる。

## 〔名古屋市立大学〕

### ○ NCU Action Doors

#### 【施策の対象（Who/Target）】

学生・研究者を対象とした講義・セミナーの開催。

研究者に対してはスタートアップ創出プログラム申請に向けた個別の伴走支援を実施。

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

国や名古屋市の国際競争力維持、新規産業強化施策の一環として大学発ベンチャー創出が求められている。

##### 〈Needs〉

起業に関心がある研究者や学生からの相談対応、起業支援の要望。

##### 〈取組〉

起業に必要なアントレプレナーシップ醸成、マインドセットの転換を図る講義やセミナーを実施。アイデアのブラッシュアップ、ビジネスプラン策定のサポート等

## 〔名古屋商科大学〕

### ○ 実証実験エリア提供

#### 【施策の対象（Who/Target）】

アクセラレータープログラムに参加するスタートアップ等。

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

地域の社会的課題の解決を目的とした自動運転を含む先進モビリティサービス提供に資するデータの収集および活用のために必要な環境整備の確保。

〈Needs〉

愛知県（東部丘陵地区）における公共性・事業性を兼ね備えた MaaS 社会実装モデルとなる実証実験の支援。

〈取組〉

スタートアップが製品やサービスを実用化していく過程で必要となる実証実験ができる場を提供する。名古屋商科大学(日進/長久手キャンパス)内におけるパーソナル EV やドローン等による実証実験フィールドの提供。

## 〔名古屋国際中学校・高等学校〕

### ○ スタートアップ海外企業の職員子女等の教育の場の提供事業

【施策の対象（Who/Target）】

- ・海外帰国子女
- ・外国人起業家の子女
- ・海外から招聘される日本駐在員の子女

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

中部の経済産業を活性化させるための高度外国人材を積極的に招き入れるために、その子女を受け入れる教育機関の拡充が社会的に求められている。

〈Needs〉

高度外国人材の子女に対して国際的に評価された高等学校課程のカリキュラムを英語で実践する教育機関の整備。

〈取組〉

本事業では国際バカロレア教育を取り入れた男女共学校を設置しており、海外帰国子女、外国人起業家の子女、海外から招聘される日本駐在員の子女に対し、英語による教育の場を提供する。

### ○ 中高生を対象とした産学連携プラットフォーム「ConnectEd」提供事業

【施策の対象（Who/Target）】

- ・愛知県内の中学生および高校生
- ・スタートアップ（STATION Ai 入居者に限る）

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

Society5.0 社会の到来とともに中高生が新しい時代でイノベーティブな活動を創出するために、地域社会を理解するための教育環境の場の創出が急がれる。

〈Needs〉

新しい時代に応じたビジネスの新しい知識やスキルを中学・高校課程で身に付け、大学での高度な研究や学生による起業を推進するスキル・知識が必要である。

〈取組〉

学内および STATION Ai において、中学生および高校生が企業との連携や交流イベントを通じて、アントレプレナーシップの醸成を図る。さらに、海外のスタートアップや企業との交流促進を視野に入れ、英語コミュニケーション能力の向上を図るための取り組みを推進する。

## 〔藤田医科大学〕

### ○ 藤田医科大学におけるスタートアップ支援

【施策の対象 (Who/Target)】

スタートアップを希望する研究者、すでに起業したベンチャー、ベンチャーを研究面から支える研究機関

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

大学発バイオベンチャーの経営人材、運営資金、臨床試験等の支援体制の不足  
〈Needs〉

経営人材、運営資金、臨床試験等の支援体制

〈取組〉

アントレプレナーシップ教育コースを学内に設けるとともに、フジタ IT インパクトファンドを組成し、本学発および本学と協創関係にあるベンチャーへ出資を検討する体制を形成している。また、ベンチャーが開発中の医療サービスについて、本学大学病院を実証の場とした支援も展開中である。

## 〔名城大学社会連携センターPLAT〕

### ○ 産官学連携による 0→1 を生み出す能力開発プログラム

【施策の対象 (Who/Target)】

- ・ 起業を志す学部生・大学院生
- ・ 事業を創り出す能力を磨きたい学部生・大学院生

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

起業に関心はあるが、何からはじめたらよいかわからない、思いをともにする仲間やアドバイスをもらえるメンターとのつながりがないといった悩みを持つ学生や技術シーズの商業化に関心があるがノウハウやネットワークがない研究者に対して、起業支援体制やプログラム等の整備、学外の支援機関との連携の必要がある。

〈Needs〉

アイデア創出から事業化、そして起業後の支援を受けることができる環境、また起業家や支援者との日常的な繋がり。

〈取組〉

企業や自治体、プロスポーツクラブと連携し、リーダーシップ開発、社会連携プロジェクトなどを授業や課外活動として多数実施。自ら社会課題を発見し、周囲のリソースや環境の制限を越えて行動を起こし、新たな価値を生み出す精神(アントレプレナーシップ)を身につけ、在学中から多様な分野での活躍を期待している。多様な学生が学部・学年の枠を越えて集い学べるプログラムや学びのコミュニティが豊富にあるのが本学の特徴。ヤフーと連携した大学内ハッカソン「HackU 名城大学」、切削琢磨できる仲間やメンターとの出会いとアイデアの実現をサポートするプログラム「DRAFT」、起業に関心のある学生コミュニティ「MEIJO STARTUP CLUB」、起業やサービス開発のノウハウを学ぶアントレプレナー育成プログラム「EXPLORER」などがある。

天白キャンパスには、3DプリンターなどのFab機器を整備した起業活動拠点ものづくりスペース「M-STUDIO」を設置し、アントレプレナーシップ育成プログラムやモノづくりセミナーを開催。この拠点にて多様な交流が生まれることを目指すとともに、スタートアップ・エコシステム形成と起業活動を促進させる。

## 【中部大学】

### ○ スタートアップ支援

【施策の対象 (Who/Target)】

起業希望者／学生／研究者

【施策の内容 (What/Needs・How)】

〈背景・課題〉

従来から取り組んでいるスタートアップ、産官学連携およびアントレプレナーシップ教育の充実化を図る。

〈Needs〉

産官学連携およびアントレプレナーシップ教育の充実化

〈取組〉

学内にて起業に関する環境、雰囲気醸成

## 【一般社団法人中部圏イノベーション推進機構 (ナゴヤイノベーターズガレージ)】

### ○ Nagoya Innovator's Garage (ナゴヤイノベーターズガレージ) (再掲:P82)

## 〔Central Japan Startup Ecosystem Consortium〕

### ○ J-Startup CENTRAL（再掲：P84）

## 〔トヨタ不動産株式会社〕

### ○ なごのキャンパス

#### 【施策の対象（Who/Target）】

- ・ 起業希望者、学生、研究者
- ・ スタートアップ
- ・ スタートアップ、スタートアップとの連携希望者

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈取組〉

旧那古野小学校を新たな産業・ベンチャーを育成するために再生した施設。  
スタートアップの成長に合わせて、シードには「事業計画相談」や「企業からの資金提供」、アーリーには「ビジネスマッチングの機会」、企業の成長規模に合わせた「ワーキングスペースの提供」など、多岐にわたる支援を提供。

## 〔日本政策金融公庫国民生活事業〕

### ○ 公庫の創業支援メニュー

#### 【施策の対象（Who/Target）】

これから創業されるスタートアップ、創業後間もないスタートアップ

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈取組〉

スタートアップ経営者の方やこれから革新的な事業を始める方のために、情報を発信するスタートアップ支援ポータルサイト。このサイトを通じて、「世界を変える、未来をつくる」日本のスタートアップを応援。

スタートアップ経営者のインタビューやスタートアップの方にご利用いただける主な融資制度を案内。

##### 主な融資制度

1. 新規開業資金 ※名称が変更となる場合あり。

新たに事業を始める方または事業開始後おおむね7年以内の創業・スタートアップを支援

2. 資本性ローン

新規性・成長性がみられる等のスタートアップへ財務体質強化や、ベンチャーキャピタル・民間金融機関などからの資金調達の円滑化を支援

---

### (3) 革新的イノベーションによる社会課題解決の推進

#### 〔愛知県〕

#### ○ あいち環境イノベーションプロジェクト

##### 【施策の対象（Who/Target）】

環境系スタートアップ及び所属する大学・研究機関等、事業パートナーとなる企業、金融機関、VC等

##### 【施策の内容（What/Needs・How）】

###### 〈背景・課題〉

カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーなど環境分野の課題への対応が必要

###### 〈Needs〉

課題の対応に向け、スタートアップ等の有する技術・アイデアを活用

###### 〈取組〉

企業とのマッチング支援や実証フィールドの提供・紹介といった伴走支援を行うとともに、試験機や試作品等を製作し、実際の現場に導入して、適切な条件や手順を検証する実証実験を行うことで、最適な事業スキームを構築

#### ○ Aichi-Startup 推進ネットワーク会議（再掲：P61）

#### ○ あいちスポーツイノベーションプロジェクト

##### 【施策の対象（Who/Target）】

スポーツチーム、企業、大学等

##### 【施策の内容（What/Needs・How）】

###### 〈背景・課題〉

スポーツを通じた地域活性化、社会課題の解決

###### 〈Needs〉

スポーツの成長産業化、スポーツを通じた地域の活性化、新たなビジネスチャンスの創出

###### 〈取組〉

先端デジタル技術を活用したスポーツに関する新サービスの開発等

#### ○ あいちデジタルアイランドプロジェクト

##### 【施策の対象（Who/Target）】

当エリアの企業・自治体から提示されたテーマに対し、先端デジタル技術で企業の課題解決を行うテック企業・スタートアップ

##### 【施策の内容（What/Needs・How）】

###### 〈背景・課題〉

- ・あいち・とこなめスーパーシティ構想の具体化事業
- ・人材不足、航空需要回復、来訪客の多様化

###### 〈Needs〉

当エリア企業・施設の課題

〈取組〉

当エリアの企業・施設等の課題解決につながる先端技術・サービスとのマッチング

## ○ あいちデジタルヘルスプロジェクト

【施策の対象（Who/Target）】

高齢社会に起因する課題を有する自治体、介護施設等、課題を解決する技術・シーズを持つスタートアップ企業、大学等

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

超高齢化社会に起因する医療・介護費の負担増や、高齢者を支える人材の不足

〈Needs〉

超高齢化社会に起因する社会課題の解決

〈取組〉

デジタル技術を活用した新たなサービス・ソリューションの創出支援（マッチング支援、外部資金獲得支援等）

## ○ あいち農業イノベーションプロジェクト

【施策の対象（Who/Target）】

愛知県農業総合試験場、大学、スタートアップ等が連携して共同研究を推進

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

担い手の減少や高齢化といった従来からの課題に加え、カーボンニュートラルや新たなサプライチェーンの構築など様々な課題に対応する必要がある。

〈Needs〉

課題解決に向け、県、大学やスタートアップ等の連携による共同研究体制の強化を図る。

〈取組〉

①公募により選定したスタートアップ等と農業総合試験場が共同研究開発に取り組む「研究開発型」

②普及指導員がスタートアップ等と産地を結び、現場の「ほ場」で既存技術の応用や機器の改良、アプリの開発などを行い、新技術の迅速な導入を目指す「現場フィールド活用型」

## ○ あいちモビリティイノベーションプロジェクト

「空と道がつながる愛知モデル2030」

【施策の対象（Who/Target）】

ドローンや空飛ぶクルマ等の次世代空モビリティに関係する企業、大学、スタートアップ等

**【施策の内容（What/Needs・How）】**

〈背景・課題〉

物流クライシスの解決、人の移動手段の多様化と最適化、災害時にドローンが人々を助ける仕組みの構築

〈Needs〉

全国各自治体や運輸事業者からの期待

〈取組〉

次世代空モビリティ産業の集積、既存産業との融合を図り、次世代空モビリティ産業の基幹産業化を推進

**○ 革新事業創造事業費補助金**

**【施策の対象（Who/Target）】**

「革新事業創造提案プラットフォーム（愛称：A-IDEA）」へ提案され、革新事業として県の採択を受けた、民間主導で進めるプロジェクト

**【施策の内容（What/Needs・How）】**

〈背景・課題〉

愛知県が日本の成長エンジンとして、我が国の発展を力強くけん引していくためには、絶え間なくイノベーションを創出する仕組みを創出する推進体制を整え、様々な政策分野においてイノベーション創出の芽を矢継ぎ早に生み出していく必要がある。

〈Needs〉

社会実装に向けた実証研究等への支援。

〈取組〉

民間主導で行われるイノベーション創出プロジェクトに対する支援を実施

〈補助率〉1/2 以内、中小企業は 2/3 以内

〈補助限度額〉10,000 千円

**○ 革新事業創造提案プラットフォーム（愛称：A-IDEA）**

**【施策の対象（Who/Target）】**

産学官金の多様な主体から、イノベーション創出に向けた革新的プロジェクトのアイデアや技術・研究シーズを受け付ける。

**【施策の内容（What/Needs・How）】**

〈背景・課題〉

愛知県が日本の成長エンジンとして、我が国の発展を力強くけん引していくためには、絶え間なくイノベーションを創出する仕組みを創出する推進体制を整え、様々な政策分野においてイノベーション創出の芽を矢継ぎ早に生み出していく必要がある。

〈Needs〉

社会課題の解決と地域の活性化。

〈取組〉

民間提案を起点として、革新事業の創造につながるプロジェクトのアイデアの提案や、企業が持つ技術シーズ、大学・研究機関が持つ研究シーズ、行政

や金融機関が実施する支援施策をデータベース化とし、相互のマッチングを図ることにより、自律的なオープンイノベーションを促進する。

- 韓国慶尚南道支援機関連携事業（再掲：P63）
- シンガポール国立大学との連携プログラム（再掲：P64）
- スタートアップコンテスト開催事業（AICHI STARTUP BATTLE）（再掲：P91）
- スタートアップコンテスト開催事業（AICHI NEXT UNICORN LEAGUE）（再掲：P91）
- スペインマドリード州支援機関連携事業（再掲：P65）
- 知の拠点あいち重点研究プロジェクト（再掲：P65）
- ドイツ NRW 州支援機関連携事業（再掲：P67）
- フランススタートアップ支援機関連携事業（INSEAD Innovation Program for Aichi）（再掲：P68）
- フランススタートアップ支援機関連携事業（STATION F 連携事業）（再掲：P68）
- フランススタートアップ支援機関連携事業（Paris & Co との連携）

【施策の対象（Who/Target）】

スポーツイノベーションに関わる幅広い対象

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

愛知県のスポーツイノベーション施策の推進のため、海外の先進的な知見を取り入れる。

〈Needs〉

Paris&Co が有する先進的なスポーツイノベーションの知見を生かし、愛知県のスポーツイノベーション促進の一助とする。

〈取組〉

Paris&Co による愛知県のスポーツイノベーション関係者に対するインタビューを通じたスポーツイノベーション推進の方針や、スポーツイノベーション施策策定に係る個別のアドバイスを実施。

- ポルトガル支援機関連携事業（再掲：P69）

〔株式会社サイエンス・クリエイト〕

- 東三河スタートアップ推進協議会の運営（再掲：P70）

〔名古屋市〕

- スタートアップ等まちなか実証推進事業（再掲：P76）
- スタートアップブランド形成事業（再掲：P76）
- 先進技術社会実証支援事業（再掲：P77）

〔豊橋市〕

- Urban Innovation TOYOHASHI（再掲：P77）
- 共創コミュニティ創出支援事業（再掲：P78）
- スタートアップチャレンジ交付金（再掲：P107）
- TOYOHASHI AGRI MEET UP（再掲：P78）
- 未来産業創出支援事業補助金（再掲：P79）

〔愛知県雇用労働相談センター〕

- ベンチャー企業やグローバル企業の労務面からの支援（再掲：P73）

〔名古屋商科大学ビジネススクール〕

- デジタル変革&イノベーション

【施策の対象（Who/Target）】

- ・製造業等でモノづくりに携わるマネジメント人材。
- ・モノづくりに関連したスタートアップ人材。

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

デジタル化・コンピューター化によってモノづくりが革新する「インダストリー4.0」の時代に、モノづくり企業で働く方々は、長期的視点でのキャリアを伸ばしていく必要に迫られている。

〈Needs〉

ものづくりに関わる現場の技術職、管理職、経営者が新しい技術の時代に応じたビジネスの新しい知識やスキルを身に付ける必要がある。

〈取組〉

製造業がデジタル化/サービス化する中で、ものづくりに携わる組織のマネジメント人材には、IoT、AI、インダストリー4.0などの新たな技術/発想を正確に理解して業務や組織に落とし込む能力が求められている。「デジタル変革&イノベーション」では、専門MBAトラック（Specialized MBA）として、製造業などの組織でこうした産業構造などの変化に対応できるマネジメント能力を有する人材を育成する。

## 〔豊橋技術科学大学〕

### ○ スタートアップ推進室

【施策の対象（Who/Target）】

大学内の学生

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

研究シーズのステップアップと未来社会課題解決

〈Needs〉

未来創造社会からのバックキャスティング

〈取組〉

未来創造に向けての課題発見→解決→事業創出

## 〔独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）〕

### ○ チームNITEによるイノベーション支援

【施策の対象（Who/Target）】

企業、大学、研究機関、公設試 等

【施策の内容（What/Needs・How）】

〈背景・課題〉

①実績がないため自社の技術が実用化に至らない、製品やサービスを上市したが世の中に浸透していかない。

②先行事例がなく開発に行き詰まっている、安全面や法規制関連が不明である。

〈Needs〉

①市場や社会において製品やサービス、技術の価値が適切に評価される基準を構築したい。

②製品やサービスの創出時における研究開発上の課題や技術の社会実装における課題を解決したい。

〈取組〉

①標準化・適合性評価制度構築支援

標準化や認証・認定など適合性評価制度の活用による、製品等の特色に沿った評価基準の構築を支援し、製品等の差別化を図り、技術の実用化や市場への浸透を推進。

②研究開発・新技術社会実装支援

NITE が有するデータ（情報）、モノ（設備）、スキル（技術）、ヒト（人材）を活用したソリューションを提供することで課題解決を目指す。

**〔ウェルネスバレー推進協議会〕**

**○ ウェルネスバレー推進事業（再掲：P83）**

## (4) 事業承継・第二創業等を機会とする新ビジネス展開の促進

### 〔愛知県〕

○ Aichi-Startup 推進ネットワーク会議（再掲：P61）

○ あいちスタートアップ創業支援事業費補助金（起業支援金）（再掲：P86）

### 〔公益財団法人あいち産業振興機構〕

○ 経営技術専門家派遣事業

#### 【施策の対象（Who/Target）】

事業承継を予定している県内中小・小規模企業

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

- ◇何から始めたらいいのかわからない
- ◇継ぐ意欲がわからない経営状態
- ◇後継者の育成が不十分

##### 〈Needs〉

- ◇事業承継の状況把握・課題抽出・方針提示
- ◇継ぎたくなるような経営の磨き上げ
- ◇後継者に対する教育

##### 〈取組〉

事業承継フォローアップ事業において、経営環境や事業環境の変化により、事業承継計画について見直しが必要となった企業に対して専門家を派遣することで、事業承継の実行までを円滑にサポートする。

○ 後継者育成塾

#### 【施策の対象（Who/Target）】

事業承継を予定している県内中小・小規模企業

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

- ◇何から始めたらいいのかわからない
- ◇継ぐ意欲がわからない経営状態
- ◇後継者の育成が不十分

##### 〈Needs〉

- ◇事業承継の状況把握・課題抽出・方針提示
- ◇継ぎたくなるような経営の磨き上げ
- ◇後継者に対する教育

##### 〈取組〉

事業承継に必要な経営戦略や税務・法務について、グループワークを中心に学ぶ。

## ○ 事業承継フォローアップ事業

### 【施策の対象 (Who/Target)】

事業承継を予定している県内中小・小規模企業

### 【施策の内容 (What/Needs・How)】

#### 〈背景・課題〉

- ◇何から始めたらいいのかわからない
- ◇継ぐ意欲がわからない経営状態
- ◇後継者の育成が不十分

#### 〈Needs〉

- ◇事業承継の状況把握・課題抽出・方針提示
- ◇継ぎたくなるような経営の磨き上げ
- ◇後継者に対する教育

#### 〈取組〉

後継者育成塾の修了企業等に対し、その後の支援を行う。

## ○ 創業を支援するセミナー・相談事業 (再掲 : P69)

〔株式会社サイエンス・クリエイト〕

## ○ 東三河スタートアップ推進協議会の運営 (再掲 : P70)

〔名古屋市〕

## ○ スタートアップブランド形成事業 (再掲 : P76)

〔豊橋市〕

## ○ 共創コミュニティ創出支援事業 (再掲 : P78)

## ○ スタートアップチャレンジ交付金 (再掲 : P107)

## ○ 未来産業創出支援事業補助金 (再掲 : P79)

〔刈谷市〕

## ○ 刈谷イノベーション推進プラットフォーム (再掲 : P81)

## ○ 産業イノベーション推進事業 (再掲 : P81)

## 〔愛知県雇用労働相談センター〕

### ○ ベンチャー企業やグローバル企業の労務面からの支援（再掲：P73）

## 〔名古屋商科大学ビジネススクール〕

### ○ アントレセンタープログラム

#### 【施策の対象（Who/Target）】

事業承継を契機に新しい事業の立ち上げを目指す次世代経営者、短期間に新規事業を軌道に乗せることが求められている新規事業担当者、起業のアイデアを実現するための資金や起業チームがない個人起業家。

（注）参加方法は名古屋商科大学ビジネススクール戦略経営研究所・アントレセンターへの研究生としての参加となる。

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

ビジネスを取り巻く社会や経済環境の急速な変化に対応して（もしくは先取りして）基幹事業とは異なる新たな切り口での製品・サービス・市場の創出が求められている。また、企業が長期にわたって事業を存続していくためには、すなわちサステナビリティの観点から、第二創業等の新規事業に取り組みながら事業承継を行うことが必須課題となっている。

##### 〈Needs〉

インキュベーションセンターやアクセラレーター等の第三者機関による新規事業スタートアップ支援および第二創業支援。

##### 〈取組〉

MBA教育で培った教育ノウハウや人材ネットワークを活用して、新しいビジネスに挑戦する人材を育成するMBA流インキュベーションとして開設。事業構想、事業計画、事業構築、資金調達という4つのプロセスを通じて、12-24ヶ月間のロードマップの中で参加者に対するメンタリングを実施する。

また、コワーキングスペースの利用、マッチングイベントの実施、名古屋商科大学ビジネススクールのネットワークによるベンチャーキャピタルや金融機関の紹介などのサポートを受けることができる。

---

## (5) グローバル・エコシステム形成の推進

### 〔愛知県〕

- A2(Aichi-Austin) Innovation Kick-Start Program (再掲 : P59)
- あいちグローバルスタートアップ・エコシステム推進事業 (再掲 : P60)
- Aichi-Startup 推進ネットワーク会議 (再掲 : P61)
- 韓国慶尚南道支援機関連携事業 (再掲 : P63)
- シンガポール国立大学との連携プログラム (再掲 : P64)
- スペインマドリッド州支援機関連携事業 (再掲 : P65)
- ディープテック推進事業 (再掲 : P66)
- ドイツ NRW 州支援機関連携事業 (再掲 : P67)
- フランススタートアップ支援機関連携事業  
(IMT Atlantique との交流促進)  
【施策の対象 (Who/Target)】  
県内企大学関係者  
【施策の内容 (What/Needs・How)】  
〈背景・課題〉  
スタートアップ・エコシステムの確立・充実のために、スタートアップの先進地の有する知見を取り入れる必要がある。  
〈Needs〉  
フランスの先進的なスタートアップの知見を広く共有することで、地域全体のスタートアップ・エコシステムの形成を促進。  
〈取組〉  
フランストップクラスの工学系グランゼコールの IMT Atlantique と県内大学関係者の交流を促進。
- フランススタートアップ支援機関連携事業  
(愛知県インバウンドツアー) (再掲 : P67)
- フランススタートアップ支援機関連携事業  
(フランスエコシステムツアー) (再掲 : P68)
- ポルトガル支援機関連携事業 (再掲 : P69)

## 〔Central Japan Startup Ecosystem Consortium〕

### ○ スタートアップ地域連携グローバルイベント

#### 【施策の対象（Who/Target）】

・スタートアップ、事業会社、スタートアップ支援機関、大学、研究機関等

#### 【施策の内容（What/Needs・How）】

##### 〈背景・課題〉

本地域のスタートアップ・エコシステムの魅力を全国・グローバルに発信し、域外・グローバルのステークホルダーを誘引することで、本地域のブランド力強化やプレゼンス向上に繋げることが課題。

##### 〈Needs〉

域外・グローバルのステークホルダーを誘引し、本地域のスタートアップや事業会社との繋がりを持つこと。

##### 〈取組〉

域外・グローバルに遡及するイベントを開催。

## 〔愛知県雇用労働相談センター〕

### ○ ベンチャー企業やグローバル企業の労務面からの支援（再掲：P73）

## 〔独立行政法人国際協力機構（JICA）〕

### ○ 中小企業 SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）（再掲：P102）

## 〔独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）〕

### ○ 海外テックイベントへのスタートアップ参加支援（再掲：P102）

### ○ 起業家等の海外派遣プログラム-J-StarX-（再掲：P103）

### ○ グローバル・アクセラレーション・ハブ（GAH）（再掲：P103）

### ○ Global Startup Acceleration Program（GSAP）（再掲：P104）

### ○ J-Bridge（連携・協業のためのビジネスプラットフォーム）（再掲：P74）

### ○ 実証事業（パイロットプロジェクト支援）による支援（再掲：P74）

## 〔名古屋市〕

### ○ スタートアップブランド形成事業（再掲：P76）

〔Tongali（主幹機関：名古屋大学、協働機関：26 大学）〕

○ Tongali イノベーターズチャンネル海外編（再掲：P110）

# 第4章

## 進捗管理

### 第1項 進捗管理体制

今後、スタートアップを取り巻く環境変化とともに、愛知県内の産業経済も大きな動きが予想される中で、スタートアップの創出・育成・展開・誘致を目指す本戦略は、毎年度、関係者との連携を図りながら改定するローリングプランとし、本戦略に賛同した企業、大学、経済団体、支援機関、金融機関、行政、学識経験者で構成される Aichi-Startup 推進ネットワーク会議（以下、「ネットワーク会議」という。）が行う。

戦略改定プロセスの中で、ネットワーク会議のメンバーが実施する各事業間の整合性の確保、ポジショニング、連携・機能分担を図っていく。

本戦略に掲げる個別事業の進捗管理については、各事業主体の責任で行うこととし、策定主体であるネットワーク会議は、当該個別事業を細部にわたりマネジメントしていくことや、PDCA サイクルチェックなどを行うことはしない。ネットワーク会議は、あくまでも環境変化への柔軟な対応と個別事業間の連携・機能分担、個別事業のベクトルの方向性確保を主眼として、全体調整を中心に行うこととする。

### 第2項 Aichi-Startup 推進ネットワーク会議の運営

毎年度のローリングプランとしての戦略改定とともに、そのプロセスの中での事業間調整を、ネットワーク会議が担っていくこととする。

また、この会議のメンバーは、今後、このスタートアップ・エコシステム形成、イノベーション創出の取組に賛同した機関・団体が随時参加、拡大できる仕組みとしていく。

# おわりに

## エコシステム形成によるイノベーションの創出を目指して

Aichi-Startup 戦略は、Aichi-Startup 推進ネットワーク会議のメンバーが中心となり策定し、ローリングプランとして、この度、6 回目の改定となりました。

本戦略は、この地域において、スタートアップが自立的に生まれ、育ち、羽ばたき、そして、この地域に集う、新たな「エコシステム」を創り上げ、イノベーションを生み出すことを目的としております。

本ネットワーク会議の参加会員は立ち上げから約 7 年で 276 機関・団体以上も増え、現在 357 のメンバーでプロジェクトを推進しています。あらためて、この地域のスタートアップ支援のネットワークの広がりを実感しております。

今回の改定では、2024 年の戦略をブラッシュアップするとともに、昨年 10 月にグランドオープンした STATION Ai を全面的に活用した支援施策を盛り込みました。

日本の成長エンジンとして、さらには世界で先陣を切るスタートアップ・エコシステムを目指して、地域の産業競争力の強化はもとより、社会課題解決に向けソーシャルインパクトを強化し、地域が一丸となって絶え間ないイノベーション創出に取り組んでいく必要があります。

引き続き、この地域のために、Aichi-Startup 推進ネットワーク会議の会員を中心に関係機関・団体との連携を密にしながら、着実に本戦略を実行してまいります。

愛知県知事 大村秀章

## Aichi-Startup 推進ネットワーク会議設置要綱

### (名称)

第1条 本会は、Aichi-Startup 推進ネットワーク会議（以下、「推進ネットワーク会議」という。）という。

### (目的)

第2条 推進ネットワーク会議は、愛知県を含む地域のスタートアップ・エコシステムの構築によるイノベーション創出を目的とする。

### (事業)

第3条 推進ネットワーク会議は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行うものとする。

- (1) スタートアップ・エコシステム構築に係る地域の取組の情報共有と発信
- (2) 会員による個別事業の連携や共同事業等の実施
- (3) その他推進ネットワーク会議の目的を達成するために必要な事業

### (構成)

第4条 推進ネットワーク会議は、第2条の目的に賛同する企業、大学、経済団体、支援機関、金融機関、関係団体、学識経験者、行政機関等（以下、「会員」という。）で構成する。

- 2 推進ネットワーク会議の会員になろうとする者は、入会申込書を提出するものとする。
- 3 会員が推進ネットワーク会議を退会しようとするときは、その旨を届け出なければならない。

### (会長)

第5条 推進ネットワーク会議に、会長を置く。

- 2 会長は、愛知県知事をもってあてる。

### (職務)

第6条 会長は、推進ネットワーク会議を代表し、会務を総理する。

- 2 会長が事故等により不在のときは、会長が指名する者がその職務を代理する。

### (総会等)

第7条 推進ネットワーク会議に、総会を置く。

- 2 推進ネットワーク会議に、活動の方向性について検討等を行うためのコア会議、また、専門的事項について調査、研究等を行うためのワーキンググループを置くことができる。
- 3 推進ネットワーク会議総会、コア会議及びワーキンググループ（以下、「総会等」という。）の運営に関し必要な事項は、別に定める。

### (構成)

第8条 総会等は、会員をもって構成する。

(招集)

第9条 総会は、会長が招集する。

(庶務)

第10条 推進ネットワーク会議の事務局は、愛知県経済産業局スタートアップ推進課内に置く。

(雑則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、推進ネットワーク会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この要綱は、平成30年4月25日から施行する。

附則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、令和元年9月1日から施行する。

附則

この要綱は、令和元年11月1日から施行する。

附則

この要綱は、令和2年2月28日から施行する。

附則

この要綱は、令和2年12月21日から施行する。

Aichi-Startup 推進ネットワーク会議入会申込書

年 月 日

Aichi-Startup推進ネットワーク会議 会長 殿

機関名 フリガナ  
(和文)

(英文)

役職 (所属長) 名

氏名

【連絡先】

(部署名)

(担当者職氏名)

(住所)

(電話番号)

(FAX番号)

(メールアドレス)

Aichi-Startup 推進ネットワーク会議の趣旨に賛同し、入会を申し込みます。

なお、暴力団又は暴力団員と密接な関係を有していません。

Aichi-Startup 推進ネットワーク会議ポータルサイトへのリンク希望

あり (URL : \_\_\_\_\_) ・ なし

Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium への加入希望

あり ・ なし

愛知・名古屋及び浜松地域は内閣府からスタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」に認定されています。Aichi-Startup 推進ネットワーク会議へ入会される場合、拠点都市形成計画の策定主体である「Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium」への加入も推奨しています。

加入希望ありの場合、事務局である名古屋市へ記載情報を提供し、加入手続をいたします。

# Aichi-Startup 推進ネットワーク会議 会員名簿

357 団体・機関等 (2025 年 2 月 28 日時点)

区分	団体名	
企業等 (247)	あいおいニッセイ同和損保 (株)	(株) キャディ
	(株) AIKI リオテック	キャンピングカー株式会社
	愛三工業 (株)	桐山社会保険労務士事務所
	(株) ICMG	久野金属工業(株)
	アイシン (株)	(株) CURUCURU
	愛知国際会議展示場 (株)	来栖国際特許事務所
	Ibis (株)	(株) CloudGear
	(株) Acompany	(株) クレディセゾン
	ANPAN Inc	グローバルビジネスソリューションズ (株)
	AZAPA (株)	グロースリンク社会保険労務士法人
	(株) アックス	グロースリンク税理士法人
	(株) アドホック	グローバルランチャーズ (株)
	(株) アドライト	(株) ゲイン
	株式会社アメディア	(株) 光建
	(株) アルタ	小島プレス (株)
	(株) アルファシステム	(株) コケナワ
	(株) イデックスホールディングス	(株) コメ兵
	(株) イナック	志創醒研究所 LLC
	I N C L U S I V E (株)	(株) コスモテック
	(株) 宇佐美鋳油	(株) コーピー
	(株) UNERI	(株) コンテンツ庵
	Vanguard Industries(株)	ZAZA (株)
	(株) AMN	(株) さくら
	(株) エクシング	サクラ・ミライリソース
	(株) A G S コンサルティング	佐治税理士事務所
	(株) エクサウィザーズ	サスティナブル・ストーリー (株)
	S M C (株)	(株) サーラコーポレーション
	S M B C 日興証券 (株)	(株) 三弘
	(株) エナジーハーベスト	システムメトリックス(株)
	(株) NTT データ	(株) J&J 事業創造
	(株) NTT データ東海	(株) ジェイテクト
	(株) エヌ・ティ・ティピー・シーコミュニケーションズ	(株) ジェイトップ
	(株) エネファント	J. フロント リテイリング (株)
	エバーコネクト (株)	C N V (同)
	(株) エフエム愛知	(株) シー・エム・バー
	(株) エムエス製作所	敷島製パン (株)
	(株) M S センター名古屋	昭和リース (株)
	(株) M T G	(株) ジースヌーズ
	(株) LAcubed	篠原陽一税理士事務所
	L T V 特許事務所	(株) 商船三井
	A I A (株)	J A 三井リース (株)
	(株) オータケ	ジェイアールセントラルビル (株)
	岡谷鋼機 (株)	十六リース (株)
	(株) オプティマインド	城南法律事務所
	(株) オプトフィット	SyncMOF (株)
	OpenStreet (株)	(株) 新東通信
	オリンピア法律事務所	新日本法規出版 (株)
	弁理士法人オリベ特許事務所	シンフォニア・プロパティーマネージメント (株)
	ORTHOREBIRTH (株)	新明工業 (株)
	弁理士法人オンダ国際特許事務所	(株) 進和
快友国際特許事務所	スイマー (株)	
(株) カチノデ	(株) スイムテック	
(有) カツミ製作所	(株) SUGEHARA & NA Associates	
(株) 加藤工務店	(株) スタメン	
川崎重工業 (株)	STATION Ai (株)	
河村電器産業 (株)	弁護士法人 スピカ	
(株) CAMPFIRE Startups	(株) スピード	
(株) スペース二十四コミュニケーションズ	(株) 博報堂プロダクツ	
住友理工 (株)	(株) 働きごころ研究所	
(株) セカンドコンセプト	ファイザー・ファーマ株式会社	
セキスイハイム東海(株)	(株) ハッシン会議	
セレンディップ・コンサルティング (株)	弁理士法人服部国際特許事務所	

区分	団体名	
企業等 (247)	(有) ZERO ホールディングス	弁理士法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK
	(株) 善都	原田車両設計 (株)
	ソフトバンク (株)	ハーマンインターナショナル (株)
	損害保険ジャパン (株)	(株) 一旗
	(株) 高瀬金型	ピノベーション (株)
	瀧上工業 (株)	(株) 永感サプライ
	タメスコ (株)	ヒョウタン商事
	大日本コンサルタント (株)	(株) Photo electron Soul
	中央可鍛工業 (株)	(株) フォワードインターナショナル
	中央精機 (株)	(株) FUJI
	中京テレビ放送 (株)	(株) 富士インダストリーズ 中部支店
	(株) 知万宝	(株) 富士カーボン製造所
	中部精機 (株)	富士通 (株)
	中部電力 (株)	Plug and Play Japan (株)
	(株) 鳥屋書店	ブラザー工業 (株)
	(株) 帝国データバンク	Plus Fukushi (株)
	(株) テクニカルエージェント	ブレイン・ゲートプラス
	(株) テクノ中部	ふれAI
	テクノホライズン (株)	(株) フレンドマイクロブ
	テレビ愛知 (株)	プロトスター (株)
	(株) デンソー	(株) プロドローン
	(株) 電通 中部支社	(株) ヘルスケアシステムズ
	(株) 電通ライブ	(株) ホットスペース
	(株) 電通名鉄コミュニケーションズ	ホーユー (株)
	東海エイチアール (株)	(株) MARKコンサルタンツ
	弁護士法人 東海総合	(株) 前田技研
	(株) 東海テレビプロダクション	(株) 前田鉄工所
	東海テレビ放送 (株)	(株) マップフォー
	(株) 東海理化	Meister (株)
	東海旅客鉄道 (株)	学び舎mom (株)
	東京海上日動火災保険 (株)	丸糸 (株)
	東邦ガス (株)	丸紅 (株)
	東朋テクノロジー (株)	丸紅セーフネット (株)
	東和不動産 (株)	丸紅ネットワークソリューションズ (株)
	豊島 (株)	丸山洋一郎司法書士事務所
	豊田エンジニアリング (株)	三浦法律事務所
	豊田合成 (株)	三井住友海上火災保険 (株)
	豊田ケミカルエンジニアリング (株)	三菱自動車工業 (株)
	トヨタ車体 (株)	三菱重工業 (株) 宇宙事業部
	トヨタ自動車 (株)	三菱電機 (株)
	(株) 豊田自動織機	三菱UFJリサーチ&コンサルティング (株)
	豊田通商 (株)	(株) ミライプロジェクト
	トヨタテクニカルディベロップメント(株)	武蔵精密工業 (株)
	トヨタプロモーション (株)	明治安田生命名古屋本部
	(株) トライエッティング	(株) メイホーホールディングス
	トランコム (株)	盟和精工 (株)
	どんぐりピット (同)	メンタルコンパス (株)
中川法律経営事務所	(株) yaotomi	
名古屋テレビ放送 (株)	八洲建設 (株)	
日本航空 (株)	ライフイズテック (株)	
日本生命保険相互会社	菱電商事 (株)	
日本電気 (株)	(株) リードル	
日本特殊陶業 (株)	立地サポート行政書士事務所	
日本貨物鉄道 (株) 東海支社	(株) Liberaware	
日本ガイシ (株)	リンクウィズ (株)	
日東工業(株)	(株) Luup	
neuet (株)	合同会社 reviews	
ネットプロテクションズ (株)	(株) 八神製作所	
(株) ノリタケカンパニーリミテド	(株) ワークハピネス	
行政書士バードアイ大里事務所	(株) 和ロボ	
(株) Harmony For	(株) OnePile	
(株) 博展		

区分	団体名	
金融 機関等 (29)	愛知キャピタル(株)	(株)名古屋証券取引所
	(株)愛知銀行	名古屋市信用保証協会
	愛知県信用金庫協会	名古屋中小企業投資育成(株)
	愛知県信用保証協会	(株)日本政策金融公庫
	(株)MTG Ventures	NOBUNAGA キャピタルビレッジ(株)
	(株)大垣共立銀行	野村證券(株)
	(株)OKB キャピタル	浜松ホトニクス・コーポレート・ベンチャー・キャピタル(株)
	(株)商工組合中央金庫	フューチャーベンチャーキャピタル(株)
	(株)ジャフコ	碧海信用金庫
	(株)十六銀行	(株)みずほ銀行
	大和証券(株)	(株)三井住友銀行
	(株)中京銀行	三菱HCキャピタル(株)
	東海東京証券(株)	(株)三菱UFJ銀行
	東洋証券(株)	愛知信用金庫
	(株)名古屋銀行	
	団体等 (35)	愛知県雇用労働相談センター
(公財)あいち産業振興機構		中部ニュービジネス協議会
(一社)愛知県情報サービス産業協会		東海若手起業塾実行委員会
有限責任あずさ監査法人		有限責任監査法人トーマツ
一宮商工会議所		常滑商工会議所
EY 新日本有限責任監査法人		豊川総合用水土地改良区
大府商工会議所		(独)国立高等専門学校機構 豊田工業高等専門学校
春日井商工会議所		豊橋商工会議所
蒲郡商工会議所		(公財)名古屋産業振興公社
特定非営利活動法人くるくる		名古屋商工会議所
(独)国際協力機構中部センター		日本公認会計士協会
国際連合地域開発センター		(株)日本能率協会コンサルティング
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター		日本貿易振興機構(ジェトロ)名古屋貿易情報センター
監査法人コスモス		PwC Japan 有限責任監査法人
(株)サイエンス・クリエイト		(一社)Project INTEGRA
自然科学研究機構分子科学研究所		ミッドランド・インキュベーターズ
(独)製品評価技術基盤機構 中部支所	(一社)未来創造	
(独)中小企業基盤整備機構 中部本部		
行政 (22)	財務省東海財務局	豊田市
	総務省東海総合通信局	安城市
	中部経済産業局	知立市
	愛知県	西尾市
	名古屋市	常滑市
	豊橋市	稲沢市
	岡崎市	大府市
	半田市	日進市
	春日井市	北名古屋市
	豊川市	瀬戸市
	刈谷市	幸田町
大学等 (18)	愛知県立芸術大学	名古屋産業大学
	愛知県立大学	名古屋商科大学
	岐阜大学	名古屋市立大学
	椋山女学園大学	名古屋大学
	中京大学	日本福祉大学
	中部大学	藤田医科大学
	豊田工業大学	三重大学
	豊橋技術科学大学	名城大学
	名古屋工業大学	学校法人越原学園 名古屋女子大学
学識 (6)	愛知工業大学 大学事務局高大連携推進室 参事 間瀬 好康	三重大学 大学院工学研究科 国際・産学官連携部門長 (兼)電気電子工学専攻 教授 平井 淳之
	豊橋創造大学 経営学部 教授 鈴木 宏幸	情報経営イノベーション専門職大学 客員教員 苔縄 義宗
	名古屋大学大学院 情報学研究科 教授 安田 孝美	名古屋大学ディープテックシリアルイノベーションセンター 客員教授 柴山 政明